

173
265

世界地理問答全



022071-000-8

特61-192

世界地理問答

富山房

M27

ADA-0416



特

特 61

192

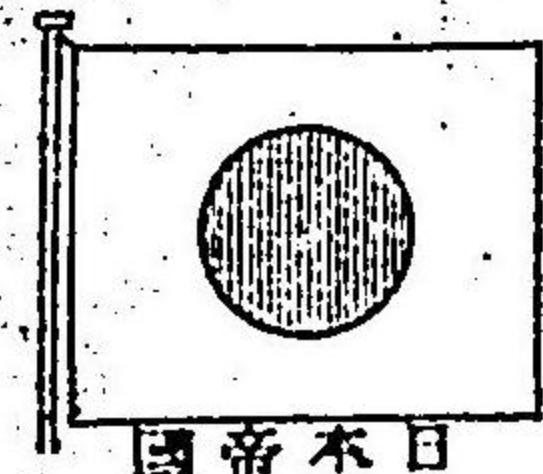
富山房編輯所編纂

世界地理問答
全

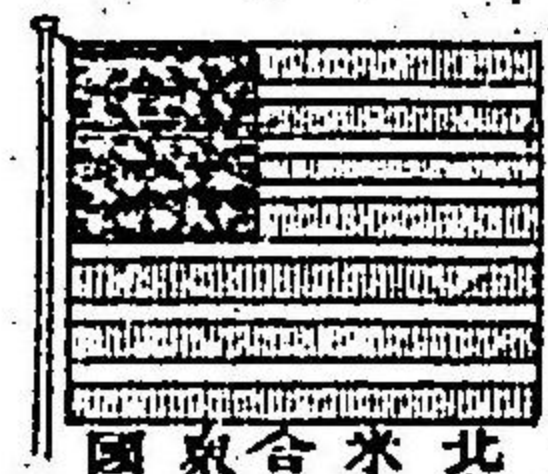
東京

富山房藏版

各 國 旗 章



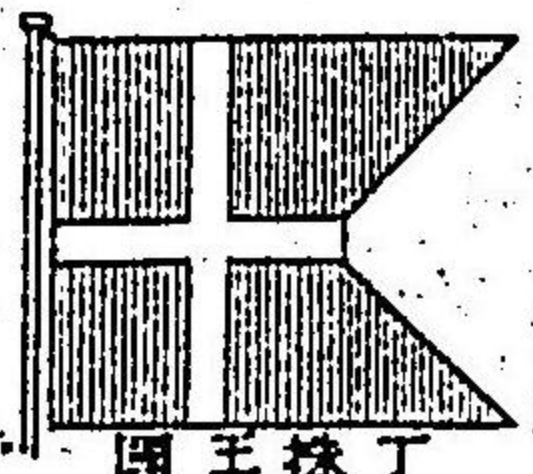
日本帝國



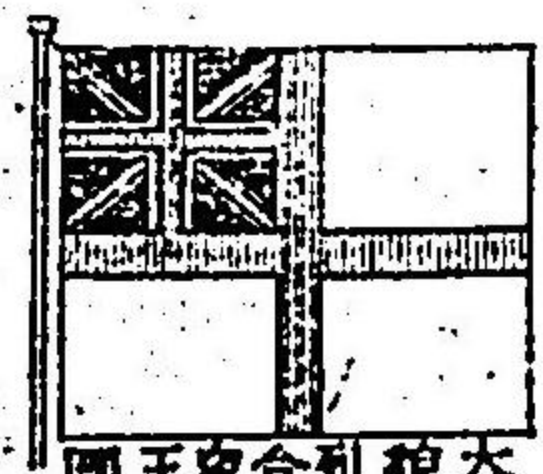
北美合眾國



瑞士共和國



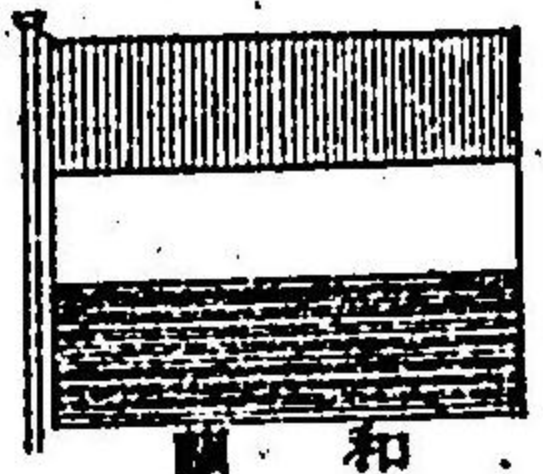
暹羅王國



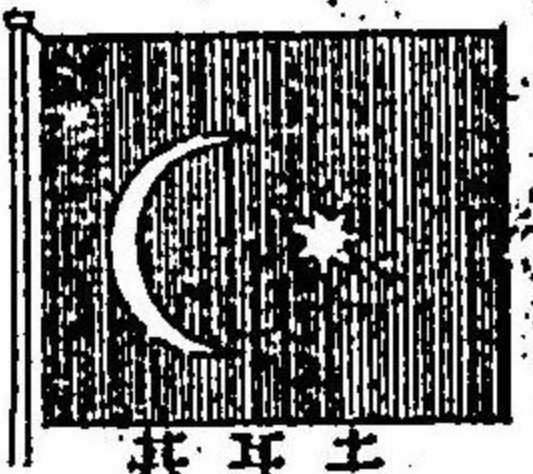
大英聯合王國



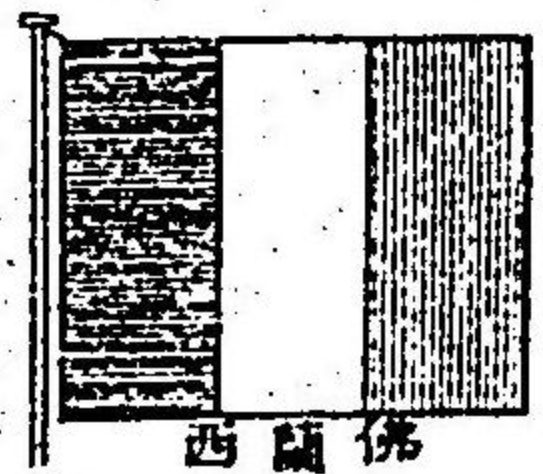
意大利王國



希臘



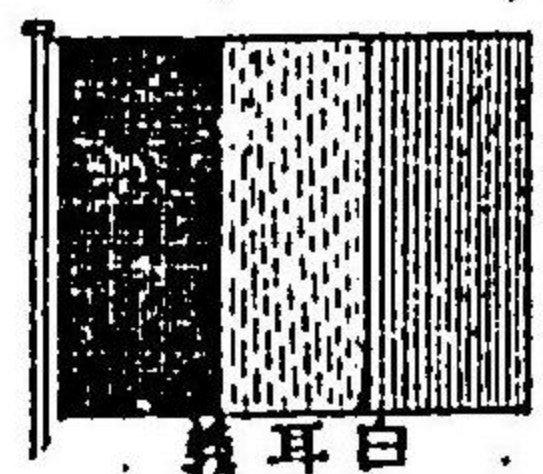
土耳其



佛蘭西



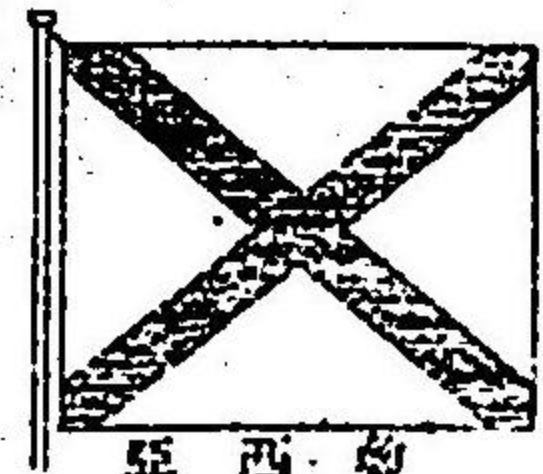
奧地利王國



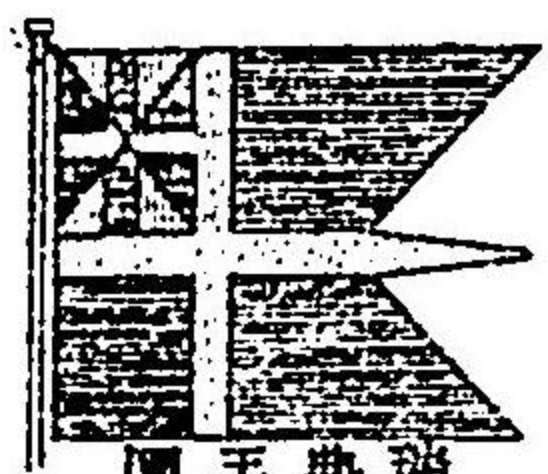
白耳國



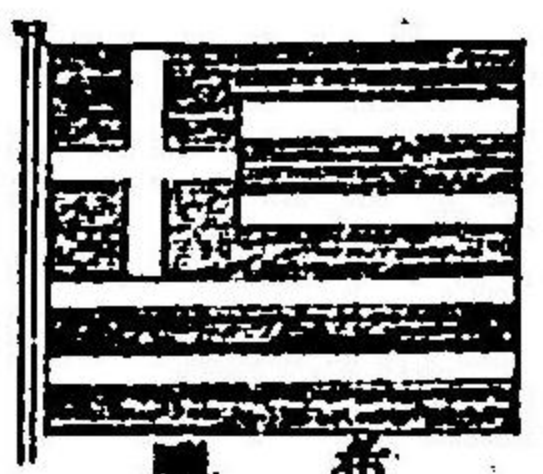
葡萄牙



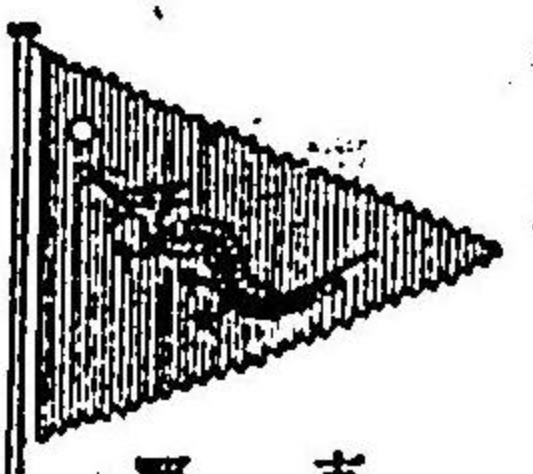
暹羅



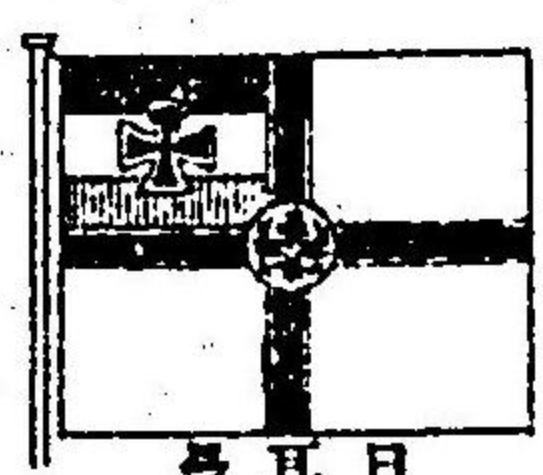
瑞典王國



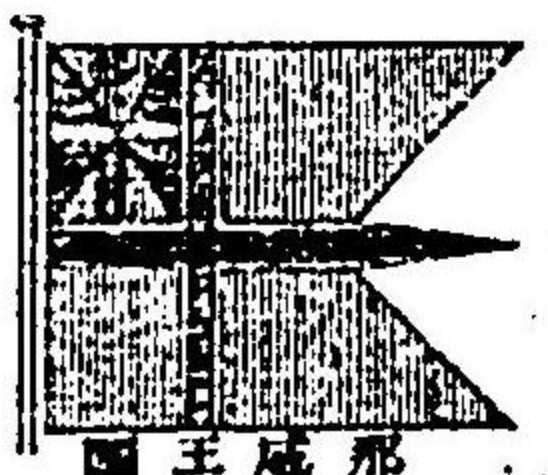
希臘



支那



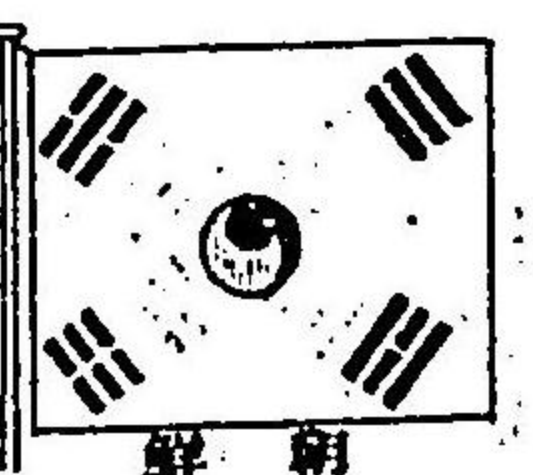
日耳曼



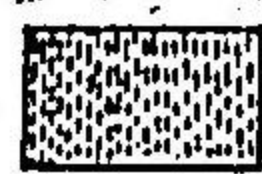
那威王國



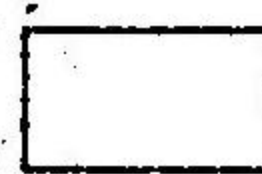
西班牙



朝鮮



黃



白



赤



青



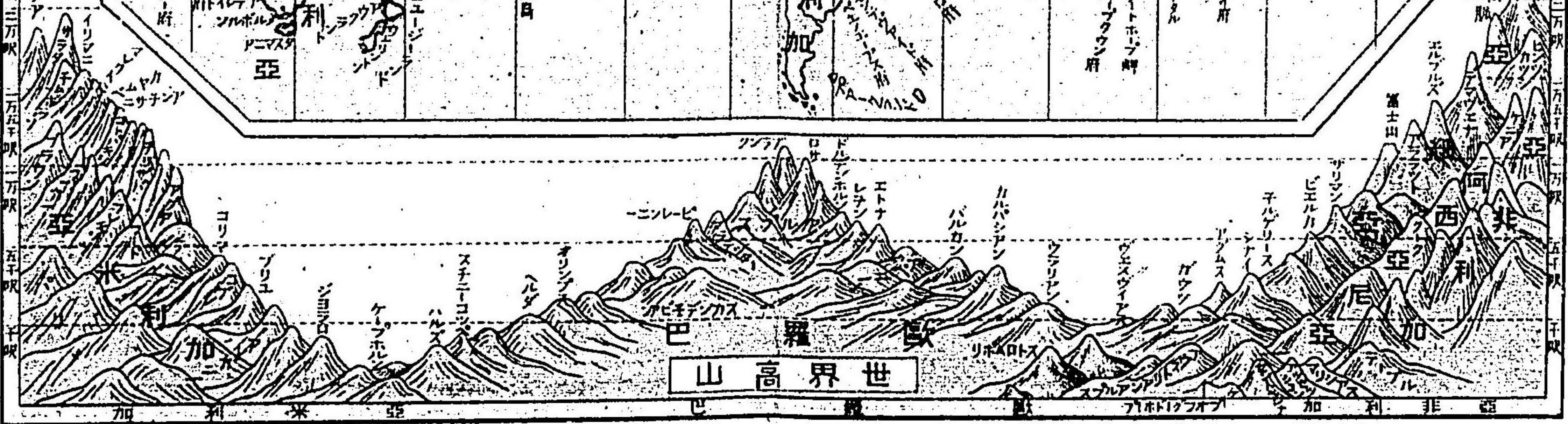
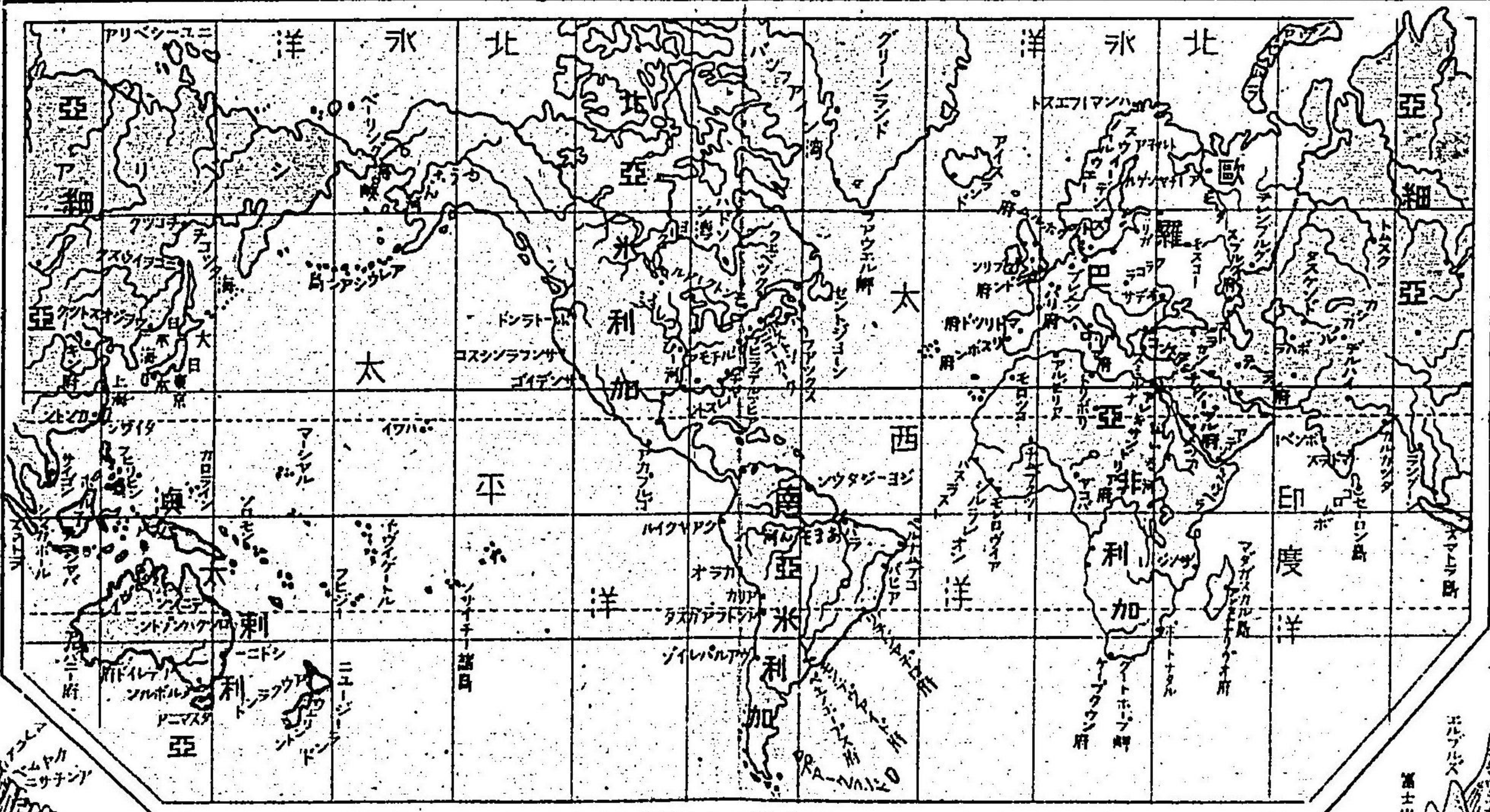
綠



黑

河大界世

加	利	米	亞	加	利	非	亞	巴	羅	歐	亞	洲	亞
アマゾン河 六千九百哩	マダガスカール河 一千四百哩	コンゴ河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩	ニール河 四千二百哩





緒言

世運旺進、人事頻繁、文物の敏速を要すること日月に加はる、是を以て我か普通教育の上に於ても之れに伴ふべき設備の要あるを信し、拙劣を顧みず敢て普通學問答全書を刊行せんとし、曩に第一篇を公にし、今又第二篇を續刊す、編者は實に大方の歡容を徳とするものなり、茲に本篇結構上一二の用意を述へて以て序に代へんとす

抑も本篇は中等の程度を以て擬する世界全般の地誌なり、記載の事項從て多きを要す、而して紙幅限りあるを奈何せん、故に文章は務めて冗長を避け、一事を叙するに方り他二三の事をも兼ね、字句も亦甚だ簡潔なり、然れども其の程度に於て要する所の事實は



緒言

世運旺進、人事頻繁、文物の敏速を要すること日月に加はる、是を以て我が普通教育の上に於ても之れに伴ふべき設備の要あるを信し、拙劣を顧みず敢て普通學問答全書を刊行せんとし、曩に第一篇を公にし、今又第二篇を續刊す、編者は實に大方の歡容を徳とするものなり、茲に本篇結構上一二の用意を述へて以て序に代へんとす

抑も本篇は中等の程度を以て擬する世界全般の地誌なり、記載の事項従て多きを要す、而して紙幅限りあるを奈何せん、故に文章は務めて冗長を避け、一事を叙するに方り他二三の事をも兼ね、字句も亦甚だ簡潔なり、然れども其の程度に於て要する所の事實は

敢て之を増損せず、是れ編者の最も苦心せし所なり

問題は前篇に於けるか如く、學科上一定の順序を逐ひ首尾一貫せる記事の上に於て、特に記憶を要すべき箇處にのみ間投せり

山川河海人名地名等の既に邦人の視聽に馴れたるものは慣用せる漢字を以て之を記し、傍線の如きも亦之を省き、其他は皆普通に讀み得誦し得べき即ち國字中近似せる發音を有する假字を以て之を表し、唯、字句の混亂を避けんか爲に片假字を用ゐ、且つ單線を施せり

其他東洋に關する記事を多くし、軍備を説き商業を論し、條約締結の年月を加へし如き亦編者用意の一端なり、看官夫れ諒焉

二十七年十二月

編者識

世界地理問答目次

富山房編纂

第一篇 舊世界

第一章 亞細亞洲

一頁

- (一) 亞細亞の形勢如何 (二) 諸大陸中最も多く各大陸と接近せるは何洲 (三) 世界中最も高き山嶽と最も低き窪地とを有するは何洲 (四) 亞細亞の境界を問ふ (五) 邦國の分割は如何 (六) 形狀及び序表は如何 (七) 海岸線は如何 (八) 海峡及び地峽の主なるものを挙げよ (九) 島嶼の主なるものを挙げよ (一〇) 本洲諸島嶼の面積如何 (一一) 本洲の地勢を略述せよ (一二) 世界最高の山を問ふ (一三) 世界の最低地を問ふ (一四) 高原地の摸樣如何 (一五) 世界最高の高原及び其位置は如何 (一六) 亞細亞洲中高原地の廣さは如何 (一七) 山脈及び其の趨勢如何 (一八) 本洲諸山脈の主軸は如何 (一九) 平原地の區分如何 (二〇) 本洲中平原の廣さ如何 (二一) 本洲中最大なる平原は如何 (二二) 砂漠の主なるものを挙げよ (二三) 本洲の河流の主なるものを示せ (二四) 亞細亞の河流の特相を問ふ (二五) 陸河の流域の廣

- (二六)湖沼の主なるものと擧げよ
- (二七)亞細亞洲の湖沼水面の高さ如何
- (二八)氣候の大體と記せ
- (二九)降雨の狀況如何
- (三〇)世界中最も乾燥の土地は何れ
- (三一)世界中最も濕潤の土地は何れ
- (三二)植物の種類と問ふ
- (三三)必要植物の本國とは何れなるや
- (三四)動物の種類と問ふ
- (三五)人口及び其の疎密
- (三六)亞細亞洲中人口最も稠密なる地方は如何
- (三七)人種は如何
- (三八)宗教の主なるものと示せ
- (三九)産業及び産物の主なるもの
- (四〇)商業及び航通の梗概と記せ
- (四一)商業上世界最古の地は何れなるや
- (四二)朝鮮の位置及び境界と問ふ
- (四三)朝鮮の廣袤人口及び區劃如何
- (四四)海岸及び島嶼の主なるもの
- (四五)地勢及び山岳の主なるものと擧げよ
- (四六)河流の主なるものと示せ
- (四七)朝鮮の氣候は如何
- (四八)朝鮮の土壤及び産物は如何
- (四九)商業及び條約國
- (五〇)朝鮮は何に由りて獨立國と認められたるや
- (五一)朝鮮輸出入の主要なるもの如何
- (五二)貿易港を列舉せよ
- (五三)首府及び其の他の都會と問ふ
- (五四)交通は如何
- (五五)政体及び政治は如何
- (五六)教育及び宗教は如何
- (五七)支那の面積人口及び區劃如何
- (五八)支那本部の形勢及び境界は如何
- (五九)萬里の長城の所在及び景況如何
- (六〇)支那本部の廣袤人口及び區劃如何
- (六一)海岸線及び島嶼の主なるものと示せ
- (六二)香港の所在及び景況如何
- (六三)支那本部の地勢及び山嶽と問ふ
- (六四)支那本部の河流湖沼と問ふ
- (六五)支那本部の氣候は如何
- (六六)支那本部の天産物と問ふ
- (六七)支那本部の礦物は如何
- (六八)支那本部の産業如何
- (六九)支那本部の商業は如何
- (七〇)支那本部の貿易港と問ふ
- (七一)支那本部の交通如何
- (七二)首府及び著名の都府と擧げよ
- (七三)政体及び陸海軍の狀況如何
- (七四)支那本

- 部の言語は如何
- (七五)支那本部の教育及び宗教如何
- (七六)全上の人種及び風俗如何
- (七七)滿州の形勢は如何
- (七八)滿州の風俗は如何
- (七九)滿州の分割は如何
- (八〇)清國勃興の地は如何
- (八一)滿州の要港都會は如何
- (八二)我が占領地の形勢如何
- (八三)蒙古の形勢
- (八四)蒙古の區劃は如何
- (八五)蒙古の河流及び湖沼は如何
- (八六)蒙古人の風俗は如何
- (八七)蒙古の政体は如何
- (八八)蒙古の都府及び貿易の有様如何
- (八九)蒙古の政体は如何
- (九〇)伊犁の形勢及び分割は如何
- (九一)新疆の河流は如何
- (九二)新疆の氣候及び産物は如何
- (九三)新疆の宗教は如何
- (九四)回疆の地勢及び地味と問ふ
- (九五)全氣候及び産物と問ふ
- (九六)全都府の主なるものと問ふ
- (九七)全宗教は如何
- (九八)西藏の形勢
- (九九)西藏の地勢は如何
- (一〇〇)全河流及び湖水の著名なるものと擧げよ
- (一〇一)全氣候及び地味は如何
- (一〇二)全宗教及び風俗は如何
- (一〇三)印度支那の位置及び區劃と問ふ
- (一〇四)印度支那の面積人口は如何
- (一〇五)印度支那の人口稀少なる所以と問ふ
- (一〇六)印度支那の海岸は如何
- (一〇七)印度支那の山嶽及び平原と問ふ
- (一〇八)印度支那の河流と擧げよ
- (一〇九)印度支那の氣候及び動植物如何
- (一一〇)印度支那の礦産は如何
- (一一一)印度支那の住民及び産業と問ふ
- (一一二)英領緬甸の形勢如何
- (一一三)英領緬甸の都府と問ふ
- (一一四)緬甸の形勢如何
- (一一五)緬甸の管轄は如何
- (一一六)印度支那中四周海に瀕せざる國名と問ふ
- (一一七)暹羅の形勢如何
- (一一八)暹羅の首府と問ふ
- (一一九)我が國と條約と締結せし年月と問ふ
- (一二〇)安南の形勢如何
- (一二一)東京の礦山は如何
- (一二二)安南の都府と問ふ
- (一二三)東滿洲の形勢如何
- (一二四)佛領交趾支那の形勢如何
- (一二五)馬來諸州の形勢如何
- (一二六)

- 海峽殖民地の形勢如何 (一三七) 印度の形勢と略述せよ (一三六) 位置廣袤及び人口を問ふ
- (一三九) 海岸線及び島嶼を問ふ (一三〇) 地勢及び地味は如何 (一三二) 高山大河及び湖沼を問ふ
- (一三三) 氣候は如何 (一三三) 印度の天産物を列記すへし (一三四) 産業は如何 (一三五) 商業は如何 (一三六) 輸出入の主要なるものは如何 (一三七) 都府は如何 (一三八) 交通は如何 (一三九) 人種及び言語を問ふ (一四〇) 政治は如何 (一四一) 宗教は如何 (一四二) 錫蘭島の形勢如何 (一四三) 錫蘭島の所屬は如何 (一四四) 佛領及び葡領の地を問ふ (一四五) 亞細亞各洲の區劃如何 (一四六) 西比利亞の形勢如何 (一四七) 西比利亞の地勢を問ふ (一四八) 舊世界の最北端と最東端 (一四九) 西比利亞の山河湖沼を問ふ (一五〇) 西比利亞の氣候及び地味如何 (一五一) 西比利亞の産業及び産物如何 (一五二) 西比利亞の住民及び宗教を問ふ (一五三) 西比利亞の區劃及び都府を問ふ (一五四) 中央亞細亞の形勢如何 (一五五) 中央亞細亞の地勢を問ふ (一五六) 中央亞細亞の河流及び湖水と舉げよ (一五七) 中央亞細亞の氣候及び産物を問ふ (一五八) 中央亞細亞の區劃及び都府を問ふ (一五九) 高加索の形勢如何 (一六〇) アララット山の所在を問ふ (一六一) 高加索の氣候及び産業を記せ (一六二) 林檎及び梨の本國とは何れぞ (一六三) 高加索の區劃及び都府を示せ (一六四) 亞細亞土耳其の位置及び境界如何 (一六五) 小亞細亞の位置及び海岸は如何 (一六六) 往古に於て知識財貨の交換中心とは何れなるや (一六七) 小亞細亞の地勢及び山河湖沼を問ふ (一六八) 小亞細亞の氣候産業及び住民如何 (一六九) 小亞細亞の區劃及び都府を問ふ (一七〇) 小亞細亞の歴史上の遺物を問ふ (一七一) シリヤの地勢及び山川を舉げよ (一七二) シリヤの區劃及び都府を問ふ (一七三) エーフレーツ、ダイグリス

- 河谷地方の形勢如何 (一七四) 亞刺比亞の形勢如何 (一七五) 世界第一の大半島は何れう (一七六) 亞刺比亞の氣候は如何 (一七七) 亞刺比亞の地勢及び山川を問ふ (一七八) 動植物及び産業を問ふ (一七九) 亞刺比亞人の富は何なるや (一八〇) 世界の非産業國とは何れう (一八一) 亞刺比亞の礦産は如何 (一八二) 交通及び商業の有様如何 (一八三) 區劃及び政治は如何 (一八四) 都府の有名なるものを舉げよ (一八五) 波斯の位置及び境界如何 (一八六) 地勢及び山川の主なるものを問ふ (一八七) 氣候及び産業は如何 (一八八) 住民及び宗教は如何 (一八九) 波斯人の風俗如何 (一九〇) 都府及び政体を問ふ (一九一) 亞富汗及び皮路斯坦の地勢を問ふ (一九二) 亞富汗の地勢及び山川 (一九三) 亞富汗の英國の爲に必要なる所以は如何 (一九四) 亞富汗の氣候及び地味如何 (一九五) 亞富汗の人口産業及び政治は如何 (一九六) 亞富汗の都府を問ふ (一九七) 亞富汗土耳其斯坦の形勢 (一九八) 皮路斯坦の形勢如何 (一九九) 皮路斯坦の住民及び都府を記せ

第二章 歐羅巴洲

六四頁

- (一) 歐羅巴の形勢と略述せよ (二) 位置及び境界は如何 (三) 面積及び海岸線の比較、(他洲との) (四) 内海及び南北海の比較如何 (五) 半島の著大なるものを舉げよ (六) 島嶼の主なものを記せ (七) 地勢の大略を示せ (八) 低野の大陸とは何れなるや (九) 本洲の山脈及び高峰を問ふ (一〇) 歐洲最高の山脈及び其の最高峰を問ふ (一一) 火山の著名なるものを記せ (一二) 平原及び高原は如何 (一三) 河流溝渠及び水路の有様如何 (一四) 歐洲の二大水

路さは何ぞ (一五)湖水の有名なるものを挙げよ (一六)氣候の大略を述べよ (一七)歐羅巴中砂漠地の有無如何 (一八)地味及び動植物は如何 (一九)動物と植物の比較如何 (二〇)礦物は如何 (二一)人口及び人種を問ふ (二二)言語の種類如何 (二三)宗教は如何 (二四)産業及び文明の進度如何 (二五)獨逸の教育は如何 (二六)移民の大數を問ふ (二七)歐洲中政體の種類を問ふ (二八)魯西亞の地勢及び山嶽を問ふ (二九)歐洲第二の高峯及び其の所在を問ふ (三〇)境界及び廣袤如何 (三一)河流の主要なるものを記せ (三二)魯西亞河流の特質如何 (三三)湖沼の主なるものを問ふ (三四)氣候は如何 (三五)植物及び地味は如何 (三六)魯西亞の富は何に據れるや (三七)動物の種類を挙げよ (三八)礦物は如何 (三九)世界第一の白金産地は何國なるや (四〇)産業の大要を記せ (四一)歐洲中家畜の最も多きは何國なるや (四二)都府の主なるものを記せ (四三)海港及び軍港を問ふ (四四)交通の概況を述べよ (四五)人口及び政体と問ふ (四六)宗教及び教育は如何 (四七)陸海軍の概況如何 (四八)バルカン半島の地勢如何 (四九)半島岬灣及び島嶼を問ふ (五〇)山嶽の主なるものを記せ (五一)河流の主なるものを (五二)氣候及び植物分布の大要を記せ (五三)住民及び宗教は如何 (五四)政治上の區劃を問ふ (五五)バルカン諸國の成立は如何 (五六)ホスニヤの形勢を問ふ (五七)モンテネグロの形勢は如何 (五八)セルビヤの形勢を記せ (五九)ルーマニアの形勢を示せ (六〇)ブルガリアの形勢は如何 (六一)東ルーメニアの形勢を問ふ (六二)土耳其の形勢は如何 (六三)土耳其の宗教は如何 (六四)土耳其の都府を挙げよ (六五)土都の風景如何 (六六)希臘の形勢は如何 (六七)世界の文學技藝の母たりしは何國なるや (六八)希臘の産業を問ふ (六九)希臘の都府を挙げよ (七〇)日耳曼の形勢及び境界を記せ (七一)商業上の地位は如何 (七二)地勢及び海岸の有様如何 (七三)河流の主なるものを挙げよ (七四)氣候及び植物は如何 (七五)産業及び産物を問ふ (七六)獨逸の礦物は如何 (七七)海港及び交通の便如何 (七八)主なる邦國及び都府 (七九)政体及び陸海軍は如何 (八〇)陸軍の強盛なる世界第一位に居るは何國なるや (八一)住民宗教及び教育は如何 (八二)世界第一の教育國とは何れなるや (八三)殖民地を挙げよ (八四)普魯士王國の形勢は如何 (八五)普魯士の都府及び海港を問ふ (八六)巴威里王國の形勢は如何 (八七)サクソン王國の形勢を問ふ (八八)獨逸中人口最も稠密なるは何洲なるや (八九)ウルデンベルヒ國の形勢を述べよ (九〇)地勢及び境界を問ふ (九一)山岳高原及び平原を挙げよ (九二)河流及び湖水を挙げよ (九三)氣候及び農業は如何 (九四)礦産の種類及び所在を問ふ (九五)歐洲第一の金山の所在を問ふ (九六)製造業商業及び交通は如何 (九七)區劃及び都府を示せ (九八)維也納府の光景如何 (九九)政体及び陸海軍の概況如何 (一〇〇)瑞西の形勢及び我が國と條約と締結せし年月は如何 (一〇一)山嶽及び高原を挙げよ (一〇二)河流及び湖水を挙げよ (一〇三)氣候及び農業は如何 (一〇四)産業は如何 (一〇五)交通及び都府は如何 (一〇六)人口政体及び軍事は如何 (一〇七)宗教及び教育は如何 (一〇八)伊太利の形勢及び條約締結の年月を問ふ (一〇九)形狀廣袤及び山岳を問ふ (一一〇)河流湖水は如何 (一一一)氣候及び農業は如何 (一一二)礦産及び製造業は如何 (一一三)伊太利の礦産物中最著名のものは何なるや (一一四)都府及び海港を記せ (一一五)美術の本土とは何國なるや (一一六)交通及び運河は如何

路さは何ぞ (一五)湖水の有名なるものを挙げよ (一六)氣候の大略を述べよ (一七)歐羅巴中砂漠地の有無如何 (一八)地味及び動植物は如何 (一九)動物と植物の比較如何 (二〇)礦物は如何 (二一)人口及び人種を問ふ (二二)言語の種類如何 (二三)宗教は如何 (二四)産業及び文明の進度如何 (二五)獨逸の教育は如何 (二六)移民の大數を問ふ (二七)歐洲中政體の種類を問ふ (二八)魯西亞の地勢及び山嶽を問ふ (二九)歐洲第二の高峯及び其の所在を問ふ (三〇)境界及び廣袤如何 (三一)河流の主要なるものを記せ (三二)魯西亞河流の特質如何 (三三)湖沼の主なるものを問ふ (三四)氣候は如何 (三五)植物及び地味は如何 (三六)魯西亞の富は何に據れるや (三七)動物の種類を挙げよ (三八)礦物は如何 (三九)世界第一の白金産地は何國なるや (四〇)産業の大要を記せ (四一)歐洲中家畜の最も多きは何國なるや (四二)都府の主なるものを記せ (四三)海港及び軍港を問ふ (四四)交通の概況を述べよ (四五)人口及び政体と問ふ (四六)宗教及び教育は如何 (四七)陸海軍の概況如何 (四八)バルカン半島の地勢如何 (四九)半島岬灣及び島嶼を問ふ (五〇)山嶽の主なるものを記せ (五一)河流の主なるものを (五二)氣候及び植物分布の大要を記せ (五三)住民及び宗教は如何 (五四)政治上の區劃を問ふ (五五)バルカン諸國の成立は如何 (五六)ホスニヤの形勢を問ふ (五七)モンテネグロの形勢は如何 (五八)セルビヤの形勢を記せ (五九)ルーマニアの形勢を示せ (六〇)ブルガリアの形勢は如何 (六一)東ルーメニアの形勢を問ふ (六二)土耳其の形勢は如何 (六三)土耳其の宗教は如何 (六四)土耳其の都府を挙げよ (六五)土都の風景如何 (六六)希臘の形勢は如何 (六七)世界の文學技藝の母たりしは何國なるや (六八)希臘の産業を問ふ (六九)希臘の都府を挙げよ (七〇)日耳曼の形勢及び境界を記せ (七一)商業上の地位は如何 (七二)地勢及び海岸の有様如何 (七三)河流の主なるものを挙げよ (七四)氣候及び植物は如何 (七五)産業及び産物を問ふ (七六)獨逸の礦物は如何 (七七)海港及び交通の便如何 (七八)主なる邦國及び都府 (七九)政体及び陸海軍は如何 (八〇)陸軍の強盛なる世界第一位に居るは何國なるや (八一)住民宗教及び教育は如何 (八二)世界第一の教育國とは何れなるや (八三)殖民地を挙げよ (八四)普魯士王國の形勢は如何 (八五)普魯士の都府及び海港を問ふ (八六)巴威里王國の形勢は如何 (八七)サクソン王國の形勢を問ふ (八八)獨逸中人口最も稠密なるは何洲なるや (八九)ウルデンベルヒ國の形勢を述べよ (九〇)地勢及び境界を問ふ (九一)山岳高原及び平原を挙げよ (九二)河流及び湖水を挙げよ (九三)氣候及び農業は如何 (九四)礦産の種類及び所在を問ふ (九五)歐洲第一の金山の所在を問ふ (九六)製造業商業及び交通は如何 (九七)區劃及び都府を示せ (九八)維也納府の光景如何 (九九)政体及び陸海軍の概況如何 (一〇〇)瑞西の形勢及び我が國と條約と締結せし年月は如何 (一〇一)山嶽及び高原を挙げよ (一〇二)河流及び湖水を挙げよ (一〇三)氣候及び農業は如何 (一〇四)産業は如何 (一〇五)交通及び都府は如何 (一〇六)人口政体及び軍事は如何 (一〇七)宗教及び教育は如何 (一〇八)伊太利の形勢及び條約締結の年月を問ふ (一〇九)形狀廣袤及び山岳を問ふ (一一〇)河流湖水は如何 (一一一)氣候及び農業は如何 (一一二)礦産及び製造業は如何 (一一三)伊太利の礦産物中最著名のものは何なるや (一一四)都府及び海港を記せ (一一五)美術の本土とは何國なるや (一一六)交通及び運河は如何

- (二七) 住民及び政治は如何 (二八) 殖民地の有無如何 (二九) 政体及び軍事は如何 (三〇) 宗教及び教育は如何 (三一) 形勢の略述及び條約締結の年月如何 (三二) 土地及び山河の景況如何 (三三) 海岸及び岬港は如何 (三四) 氣候及び産業は如何 (三五) 都府及び交通は如何 (三六) 政体及び風俗は如何 (三七) 宗教及び教育は如何 (三八) 殖民地と擧げよ (二九) 葡萄牙の形勢を略記せよ (三〇) 都府及び交通は如何 (三一) 政治及び陸海軍は如何 (三二) 宗教及び人種は如何 (三三) 殖民領地及び我國と條約を結ひし年月を擧げよ (三四) 佛蘭西の位置境界廣袤及び我國と條約を締結せる年月如何 (三五) 地勢及び山嶽を擧げよ (三六) 海岸及び島嶼を問ふ (三七) 川流及び湖水を問ふ (三八) 氣候及び農産を問ふ (三九) 世界第一の葡萄酒醸造國は何れなるや (四〇) 礦物及び製造業は如何 (四一) 商業及び交通は如何 (四二) 海港の主要なるものを問ふ (四三) 都府を列擧せよ (四四) 巴里の有様は如何 (四五) 住民及び宗教教育は如何 (四六) 政治及び區劃は如何 (四七) 殖民領地と記せ (四八) 白耳義の形勢及び條約の年月は如何 (四九) 製造及び産業は如何 (五〇) 英國に次く石炭産國は何れ (五一) 世界第一の農業國は何れなるや (五二) 交通は如何 (五三) 都府を列記せよ (五四) 政体及び陸軍は如何 (五五) 宗教及び教育は如何 (五六) 和蘭の形勢及風俗を問ふ (五七) 我邦と條約の年月は如何 (五八) 海岸及び島嶼を擧げよ (五九) 氣候及び産業は如何 (六〇) 都府を記せ (六一) 政府及び陸海軍は如何 (六二) 人口及び殖民領地と記せ (六三) 丁抹の形勢如何 (六四) 氣候及び産業を問ふ (六五) 歐洲中人口の割合に農産物の夥多なるは何國なるや (六六) 都府交通及び條約年月は如何

- (六七) 政体及び教育は如何 (六八) 殖民領地と擧げよ (六九) アイスランドの地勢は如何 (七〇) 形勢及び條約年月を問ふ (七一) 海岸及び島嶼を擧げよ (七二) 河流及び湖沼を問ふ (七三) 氣候及び産物を問ふ (七四) 交通は如何 (七五) 都府を擧げよ (七六) 政体及び政治は如何 (七七) 教育及び宗教は如何 (七八) 英吉利の地勢を略記せよ (七九) 位置及び氣候を問ふ (八〇) 地勢の大略を記せ (八一) 河流を列記せよ (八二) 産業及び産物を問ふ (八三) 英國中産業の變遷如何 (八四) 英國礦業の景況を問ふ (八五) 交通及び通商は如何 (八六) 世界第一の商業國は何れ (八七) 都府を列擧せよ (八八) 世界第一殷富の地は何れ (八九) 倫敦の繁華を形容せよ (九〇) 世界第一醜陋の地は何れ (九一) 人種風俗及び教育は如何 (九二) 政体海陸軍及び條約年月は如何 (九三) 殖民領地を問ふ

第三章 亞非利加洲

- (一) 亞非利加の地勢は如何 (二) 地勢及び砂漠は如何 (三) サハラの光景如何 (四) 河流湖沼及び山脈は如何 (五) 河流の最大なるものと最長なるものを擧げよ (六) 山の最高なるものを問ふ (七) 氣候及び動植物を問ふ (八) 礦物は如何 (九) 住民及び其の言語宗教は如何 (一〇) 殖民地を問ふ (一一) 埃及の形勢を問ふ (一二) 埃及の商業及び交通は如何 (一三) 蘇士運河の景況如何 (一四) 埃及の農業及び物産を問ふ (一五) 埃及の都府を問ふ (一六) ヌビア及び東方蘇丹の形勢を問ふ (一七) 全部府を記せ (一八) 全地方の物産及び通商は如何 (一九) アビシニアの形勢を記せ (二〇) マルバリー地方の地勢及び氣候は如何

- (三)モロッコの形勢を問ふ (三)アルゼリア及びチュニシスの形勢は如何 (三)トリポリ及びフエザンの形勢を問ふ (三)蘇丹の形勢を記せ (三)西部亞非利加の形勢を記せ (三)コンゴ自由國の形勢を問ふ (三)南部亞非利加の形勢如何 (三)ケープコロニアの形勢は如何 (三)亞非利加の最南端を何と云ふや (三)英國保護諸州を問ふ (三)ナムルの形勢は如何 (三)オレンツ自由國の形勢如何 (三)南亞非利加共和國の形勢は如何 (三)新共和國の形勢を記せ (三)ツールランドの形勢を示せ (三)本洲諸島嶼の形勢を問ふ (三)諸島中大西洋航行の要地を何と云ふや (三)諸島の所屬を問ふ

第二篇 新世界

第四章 北亞米利加洲……………一六一頁

- (一)北亞米利加の沿革及び形勢は如何 (二)地勢及び海岸は如何 (三)島嶼及び海峽地峽を擧げよ (四)山岳河湖は如何 (五)氣候及び動植物を問ふ (六)礦物は如何 (七)世界第一の礦産地は何れなるや (八)グリーンランドの形勢を問ふ (九)加奈陀の形勢を問ふ (一〇)加奈陀の都府及び交通は如何 (一一)世界第一水利の便ある國を問ふ (一二)ニエーハアウンドランドの形勢を問ふ (一三)合衆國の形勢及び我邦と條約と締結せし年月如何 (一四)合衆國の氣候及び産業は如何 (一五)合衆國の住民政体及び軍事は如何 (一六)合衆國の都府を問ふ (一七)新世界商工業の中心(一八)墨西哥の形勢及び我邦との修交條約の模様

第五章 南亞米利加洲……………一七七頁

- は如何 (二)世界第一の銀の産地を問ふ (三)墨西哥の住民及び都府を問ふ (四)エーカマンの形勢を問ふ (五)中央亞米利加の形勢を記せ (六)西印度諸島の形勢を問ふ (七)西班牙領西印度諸島の形勢は如何 (八)英領西印度諸島の形勢を問ふ (九)閩龍の第一發見地(一〇)他諸島の所屬を示せ (一一)ヘーチーの形勢は如何
- (一)南亞米利加の形勢は如何 (二)地勢及び山河を擧げよ(三)動植礦物の配布は如何 (四)住民及び文明の度は如何 (五)コロムビアの形勢は如何 (六)ヴェネチエーラの形勢を問ふ (七)ギアナの形勢を述へよ (八)ブラジルの形勢を問ふ (九)植物の多きこと世界第一なるは何れ (一〇)パラグエーの形勢を記せ (一一)ウルグエーの形勢は如何 (一二)アルゼンチン共和國の形勢を問ふ (一三)智利の形勢を述へよ (一四)ボリビアの形勢は如何 (一五)世界最大の山名を問ふ (一六)秘魯の形勢及び條約の年月を問ふ (一七)エクアドルの形勢は如何

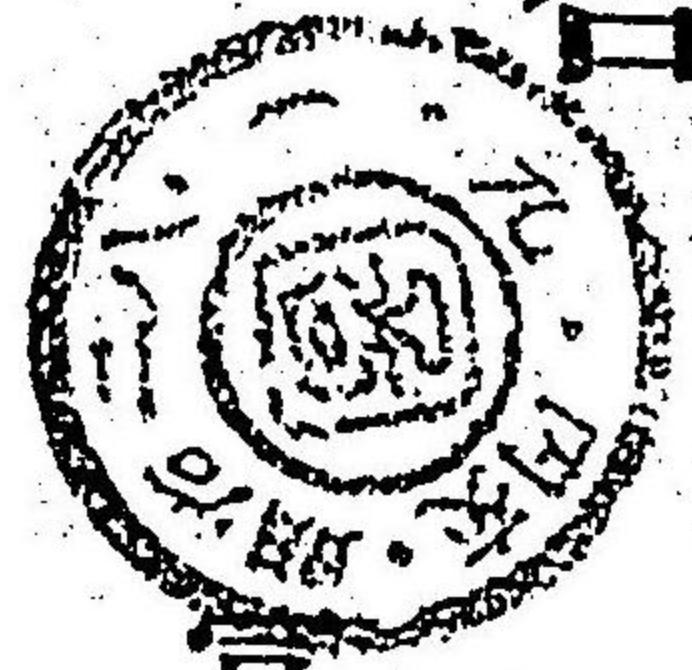
第六章 阿西亞尼亞……………一八六頁

- (一)澳斯太刺利亞の形勢を問ふ (二)氣候及び産物は如何 (三)特有の動植物を記せ (四)住民及び區劃は如何 (五)ビクトリアの形勢及び首府を問ふ (六)新南威勒士の形勢を記せ (七)クイーンズランドの形勢は如何 (八)南澳斯太刺利亞の形勢を問ふ (九)濠洲第一

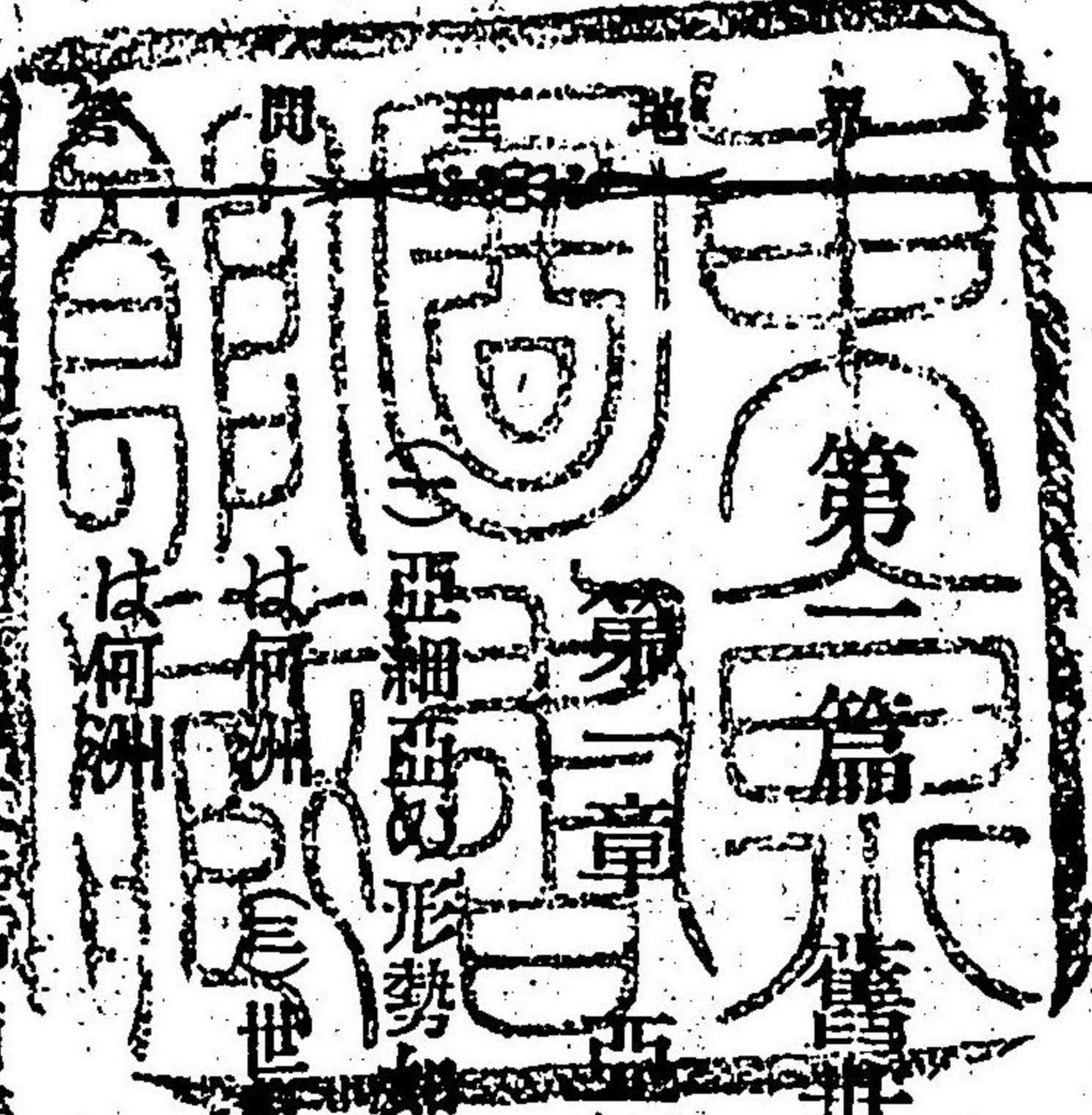
の物産を問ふ (二〇) 西澳新太刺利亞の形勢は如何 (二一) タスマニアの形勢を記せ (二二) 殖民地の遊覽所は何れ (二三) ニューシラランドの形勢は如何 (二四) 形状は如何 (二五) 特有の動物を問ふ (二六) マレーシアの形勢は如何 (二七) 世界第一の沃地は何れ (二八) 蘭領諸島の形勢は如何 (二九) 世界第二の大島を問ふ (三〇) 西班牙領諸島の形勢如何 (三一) ポリネシアの形勢を問ふ (三二) メラネシアの形勢如何 (三三) 世界最大の島を問ふ (三四) マイクロネシアの形勢如何 (三五) 太平洋中人口最稠密の地 (三六) ポリネシアの形勢を述べよ (三七) 布哇の形勢を記せ

世界地理問答終

世界地理問答



富山房編纂



第一篇 舊世界

第二章 亞細亞洲

亞細亞洲の形勢如何 (一) 諸大陸中最も多く各大陸と接近せる

は何洲 (二) 世界中最も高さ山嶽と最も低き窪地とを有する

は何洲

(1) 亞細亞洲は諸大陸中面積最も大にして地勢最も高く、又各大陸と最も多く相近けり、即ち歐羅巴及ひ亞非利加と相連り、北亞米利加と相距ること僅に數哩に過ぎず、且つ世界中最も高さ山岳と最も低き窪地とを有し、氣

候の差異物産の種類最も多く、其の地北は北緯七十八度二十五分即ち極を距る凡そ十一度半の地に起り、南は一度二十分にして赤道に達すへし（東經廿六度より百九十二度に至る）而して國語の種類も亦從て多し

(四) 亞細亞の境界を問ふ

北は北氷洋、東は大平洋、南は印度洋及び太平洋に臨み、西は其の境界線甚だ不規則にして「カラ」海より烏拉山脈、烏拉河、裏海、高加索山脈、黒海、マルモラ海、群島海、スエズ地峽等を経て紅海に至る、

(五) 邦國の分割は如何

現今大日本、朝鮮、支那、印度、皮耳路斯坦、阿富汗斯坦、土耳其斯坦、亞細亞魯西亞（西比利亞）、波斯、亞刺比亞及び亞細亞土耳其に大別す

(六) 形狀及び廣袤は如何

形狀は略は四角形をなし、東西五千九百九十哩南北五千三百五十哩、全面積千七百五十方哩にして地球上陸地の三分の一を占む

(七) 海岸線は如何

本洲は其の南海岸を以て半島の性質殊に著しとす、即ち亞刺比亞、印度及び支那印度の三大半島はベンガル灣亞刺比亞海及び波斯灣を包み、内地より大河之に流入して商業上頗る價值を有す、東海岸にはチョンチ、カムサツカ、及び朝鮮の三大半島、并に東部西比利亞、支那、及び交趾支那の三大凸形岸あり、又其の海岸と殆んど平行して千島群島のオコスツ海、日本諸島の日本海及び黃海、フィリッピン群島の支那海を包有するありと雖も、西海岸は唯裏海黒海地中海及び紅海に面し、小亞細亞の一大半島サイプラスの一小島を有し、北海岸はタイミルの一半島及びオビの半島ありのみ

之れを要するに海岸線の延長五萬一千哩、面積三百三十七方哩に付一哩の割合にして、他の諸大陸（亞非利加は例外）に比すれば甚だ短しとす

(八) 海峡及び地峽の主なるものを擧げよ

本洲の海峡は二三を除くの外大抵世界の航路通上重要なるものなり、今其の主なるものを舉ぐればベーリング、韃靼、ラ、ペーロス(宗谷)朝鮮、臺灣、マラッカ、ポーク、オーマン、バブ、エル、マンデブ、ダーダネルス、ボスポラス、サンダ、オルムズ等にしてクラ地峽はマレー半島を本土に接続し、スエズ地峽は亞非利加と本洲とを接続す

(九)島嶼の主なるものを挙げよ (一〇)本洲諸島嶼の面積如何

本洲に屬する諸島嶼の面積を合算すれば約ね百萬餘方哩に上り、全大陸の十分の六を占む、今其の主なるものを舉ぐれば左の如し

北氷洋 ニューサイベリア、ペーア

大平洋 樺太、日本諸島、臺灣、瓊州島、フィリッピン及びサンダ諸島

印度洋 錫蘭、アンダマン及ニコバー諸島ラツカチブ及マルヂブ諸島

地中海 サイプラス、ロトツ、コス、サモス及ミチレン

(一一)本洲の地勢を略述せよ (一二)世界最高の山を問ふ (一三)世

界の最低他を問ふ

本洲は此處に世界最高の山あれば彼處に世界最低の窪地あり、地勢著しく反對の現象を呈す、蓋しヒマラヤ山とカラコラム山との相合する所は本洲の中心點にして、彼の三大平原及び二大高原の如きは皆此の處より派出せるものなり、又東西南北に向て四大斜面地あり

其の最高なる所をゴリサンカー即ちエレベスト山とす、此山は唯、本洲に於て最高なるのみならず、世界に於て亦最高なるものとす、其の高さは二萬九千〇〇二呎にして我か富士山を二ツ重ねたるよりも尙ほ高し、而して最低の地は死海の沿邊にして、湖水の面は地中海より低きこと千二百十二呎なり、又印度の西部に一低地あり、西南風の期節には海水常に之れに漲るといふ

(一四)高原地の模様如何 (一五)世界最高の高原及び其位置は如何

(一六)亞細亞洲中高原地の廣さは如何

ヒマラヤ山より北東四千五百哩に擴るるを東部高原と稱し、平均一萬八千呎即ち三哩餘の高を有す、其最も高さ處は西藏高原にして崑崙山脈とヒマラヤ山との間に擴り世界最高のもなりといふ、其の西北をバミル高原とし、又其の北を蒙古高原とす、蒙古高原中にゴビ砂漠あり、東部高原の西に西部高原あり、ヒンヅーシューシユ及びスリマン山脈に起り、西方小亞細亞の高原に終る、イラン高原クルヂスタン高原アーメニア高原は其中の主なるものなり、此等の高原は本洲面積の五分の二を占む

(二七) 山脈及び其の趨勢如何 (二八) 本洲諸山脈の主軸は如何

本洲の山脈は概して平行し又西南より東北に走る、其の主軸は即ちヒマラヤ及びカラコラムにて作り、此より東に崑崙山及び天山を出し、西方にヒンヅーシューシユ山脈、南方にスリマン山脈を出す、此他重要なるものはアルタイ山脈興安嶺アーメニアの諸山トラス山レバノン諸山及び印度のガッツ連山等と爲す、其のレバノン、ガッツ及スリマン山脈は山勢南北に趨

るものなり

(二九) 平原地の區分如何 (三〇) 本洲中平原の廣さ如何 (三一) 本洲

中最大なる平原は如何

本洲の中央は悉く高地なれば平原は概ね周邊に偏在し、又特に大河の下流に沿ふを常とす、其の面積殆んど全洲の三分の一に當り、中に就て豊饒なるもの三瘠薄なるもの三あり、其の最大なるをサイベリア平原とし、殆んど本洲の七分の一を占む

一支那低地 本洲中東部に位し大太平洋に臨み、世界中人口最も多く又最も肥沃なるものなり

二印度支那低地 本洲の東南東京灣と暹羅灣との間に擴り、狭小なれども頗る豊饒なり

三印度低地 ガンデス、ブラマ、プートラ及びインダスの三大河之を貫流し、四方高地を以て圍繞せり

四シリヤ及び亞刺比亞低地 タイギリス、ユーフレイツ二河の邊及び波

斯灣の海岸地方より成る、概ね砂漠なり

五土耳其斯坦平原 深き低窪地にして裏海アラル海及びバルカシユ湖は即ち此地に在り、然れども概ね一物だも産せざる砂漠地なり

六西比利亞平原 殆んど西比利亞の一半を占む、オビ、イルチシユ、エニセイ及びヒレナ諸川の沿邊なり、北方はタンドラと稱し都府村落なく、唯海馬野獸の類之れに棲息し、寂寥^シ互寒不毛の曠野なり

七ペグ平原 マルタバン灣に臨める地方なり

(三)砂漠の主なるものを擧げよ

砂漠の一帶亞非利加より本洲の西南に入り、東北に向て連亘せり、其の大半は雨なく又一物の生するなし、今其の重要なる區別を擧ぐればシリア砂漠、メソポタミヤ砂漠、亞刺比亞大砂漠、大塩砂漠、マグラン及びサイヌタン砂漠、ター砂漠、ゴビ砂漠等なり

(三)本洲の河流の主なるものを示せ (四)亞細亞の河流の特相

を問ふ (五)陸河の流域の廣さ

本洲の河流は東半球中最大なるものなり、而して其の長流は皆中央大高原に發し北東南に分流す、又陸河なるものありて其の水決して海洋に流入せず、而して本洲の河流に二特相あり、一は大陸の中心より四方に分流すること、一は對河を有すること是なり

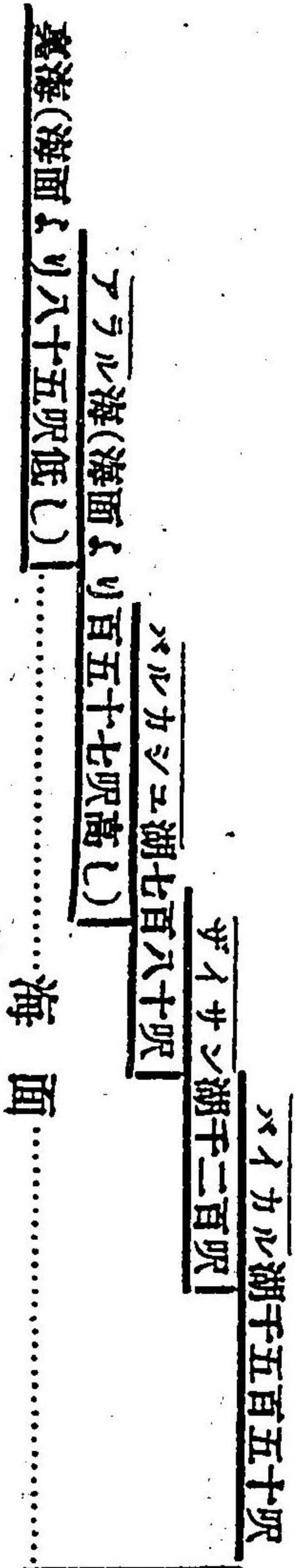
北方にオビ、エニセイ、レナ及び黒龍江あり(北極洋に注ぐ)オビ以下の三流は毎歲七月乃至九月間氷結せり、東南に黄河及び揚子江あり、南方にメコン(以上三者太平洋に注ぐ)サルモン、イラワデー(以上三者支那印度に在り)ブラマプートラ、ガンヂス、インダス(三者印度に在り)タイギリス、ユーフレイツ(亞細亞土耳其に在り)(以上七者印度洋に注ぐ)烏拉河(裏海に注ぐ)等あり

又陸河の本洲に在るものは頗る大にして、今單にゴビ砂漠の西方タリム

河の流るゝ土耳其斯坦低地のみにては尙ほ佛蘭西西班牙日耳曼英吉利を合したる廣さあり、之れに歐羅巴に連れる諸陸河の流域を合算せば約ね三百萬方哩に達し、歐羅巴全洲の面積よりも遙に大なりとす

(二六)湖沼の主なるものを挙げよ (二七)亞細亞洲の湖沼水面の高さ如何

本洲の湖沼多くは中央高原の北に在り、而して西藏高原に於ては大湖多く其の最も著名なるものをテングリ湖となす、又土耳其斯坦低地に於て最大なるものをロプノルと稱す、又此に一の注意すべきことあり、此洲の湖沼は西方より漸次東方に至るに従ひ次第に高地に存在し、水面實に階級を爲せり即ち左圖の如し



(二八)氣候の大体を記せ

本洲の地勢を審にするものは又必ず本洲の氣候の種々雜駁なるを知るへし、即ち或る處は酷熱乾燥、或る處は酷暑濕潤の氣候を有し、他の處は冬時零下六十五度の極寒に達し、又山岳の形勢に依り西方より東方に至るに従ひ殊に寒暑の差甚しきを見る、之を要するに亞細亞は實に極端の氣候を有する大陸と謂ふへし

(二九)降雨の状況如何 (三〇)世界中最も乾燥の土地は何れ (三一)世界中最も濕潤の土地は何れ

降雨の點に於ても本洲は亦頗る極端に走れり、即ちアラル海の北カラカム砂漠に於ては終歲無雨の極點に達し、アッサムの高地に於ては一ヶ月の雨量平均千三百五十佛里の極點に達す、又印度及び支那印度の南方斜面の地に至りては全大陸の全降雨量の一半に及ぶ

(三二)植物の種類を問ふ (三三)必要植物の本國とは何れなるや

本州は實に必要植物の本國と稱すへく、大小麥燕麥粟葱豌豆蠶豆赤根菜大根林檎梨梅櫻巴且杏杏桑覆盆子松柏落葉松樺樹白楊柳等最能く此大陸に適す、然れども亦其の極端を擧ぐればマンドラ地方に於ける二三吋の矮柳より、最も高大なる榕樹に至る各種の植物生長せり

(三三) 動物の種類を問ふ

本洲は氣候植物の種類多き如く動物の種類又極めて多く、哺乳類殊に肉食動物は他大陸より多しとす、即ち柔毛獸牛類巨大猛惡の野獸殊に恐るへき虎各種の鳥類有毒なる爬蟲牧畜すへき駱駝象印度牛馬馴鹿等は擧げて數ふへからず

(三五) 人口及び其の疎密 (三六) 亞細亞洲中人口最も稠密なる地方

は如何

人口は大凡八億四千萬なり、而して其の最も稠密なるは東方支那及び日本にして、降雨少き地方は人口も亦少く、其の最も稀薄あるは北方なり、

面積一方哩の平均は四十九人なり

(三七) 人種は如何

住民を大別して高加索人種蒙古人種の二とす、其中蒙古人種最も多く殆んど全人口の十分の七を占め、高加索人種は僅に十分一に過ぎず、他に又數種の人種あり、就中馬來人種を多しとす

(三八) 宗教の主なるものを示せ

本洲住民中殆んど五億六千萬(全世界人口の三分の一許)は皆佛教徒にして、殆んど一億九千萬は婆羅門教を奉ず、又回々教徒は九千萬、基督教徒は二千萬あり、西比利亞及び中央亞細亞の水草を逐ふて轉移する人民は「シヤマニズム」を奉ず

(三九) 産業及び産物の主なるもの

北方の住民は専ら漁獵に従事して獸皮を産し、中央部の住民は水草を逐ふて牧畜に従事し、東南部及び西方の高原地方に於ては定住坐業して并

に皮羊毛獸脂を出す、然れども全般より之を論ずれば其の主要なる職業は農業なり、又蒸氣機關を使用する製作業若くは美術的技工的の産物を出すは日本印度支那波斯及び小亞細亞に於て最も完美の域に達し、往々歐洲品に凌駕す、殊に養蠶製絲製茶事業に於ては世界獨歩と稱す

(四〇) 商業及び通航の梗概を記せ (四一) 商業上世界最古の地は何れなるや

本洲内地間の商業は世界最古にして其の起原遠く數千年の古に在り、此際交通は主として駱駝或は馬の脊に依りて行はれしか、其の後支那起り日本興り、終に汽船の發明ありて以來は歐米各國との貿易盛に行はれ、當時尙は魯西亞との間には陸上貿易盛に行はる、現今印度に於ては鐵道の延長殆んど二萬哩に達し、日本亦漸く其の長さを増し、支那も漸次其の計劃を起せり、殊に魯西亞は中央亞細亞及び西比利亞に鐵道を布設するに汲々とし、東洋の天地革新の期近からんとす

又電線は大陸の北部及び南部に於て東西洋を連絡せり

(1) 大日本帝國(日本地理問答に詳し)

(2) 朝鮮王國(一名高麗^{コリア})

(四二) 朝鮮の位置及び境界を問ふ

朝鮮は本洲の東北部に在りて日本海と黄海との間に斗出せる半島國なり北は鴨綠江長白山圖們江を以て滿州の盛京省吉林省及び魯領に連り、東南は日本海及び對馬海峽を隔て、日本と相對し、西は黄海に臨みて支那本部の山東江蘇二省に面す

(四三) 朝鮮の廣袤人口及び區劃如何

面積八萬二千方哩(日本の十分の六)之れを八道に分割す、曰く京畿忠清全羅慶尙咸鏡平安黃海江原是なり、各道又州府郡縣に細別す、人口は詳かならざれども大凡二千餘萬あり、一方哩約ね百二十八人の割合とす

(四四) 海岸及び島嶼の主なるもの

東海岸は屈曲少けれども西南岸は出入甚た多く港浦從て多し、灣の主なるもの東方に永興灣延日灣あり、西方に大同灣シヨール灣バシル灣あり、島嶼の主なるものは南方五十哩許の海上に在る濟洲島を最大とし、南海岸に絶影、巨濟、南海、巨文、雲龍等あり、西海岸に江華、喬桐、高鸞、珍島、豐島等あり、巨文島は西人之をポルトハミルトンと稱し、清佛戰爭の際英人之を占領せしことあり

(四三) 地勢及び山岳の主なるものを擧げよ

全國山多く唯西南部のみ稍々平坦なり、山嶽の主なるものは北境の長白山白頭山より漸次南方に及びて江原道の鐵嶺金剛山大關嶺、慶尙道に近き大白山となり、夫より西南に轉して小白山鳥嶺德裕山智異山となる、濟洲島の漢羅山も亦白頭山に次ける高山なり

(四四) 河流の主なるものを示せ

國中最大の鴨綠江及び圖們江は共に長白山に發し、前者は西流して高麗

灣に注ぎ後者は東流して日本海に入る、鴨綠江口より上流に至る二三十哩間は大船巨舶を通すべし、其の他主要なるものは大同江臨津江漢江錦江金海川洛東江等あり、殊に漢江は殆んど國の中央を横流し、京畿江原慶尙三道を貫き舟楫の利少からず、その下流の北岸に京城あり、河口に江華島あり島の東岸には砲臺の設あり

(四五) 朝鮮の氣候は如何

温帯に在りと雖も中和を失し暑強く寒亦極めて烈し、冬期は河川港浦の氷結するもの多く、夏日は蠟燭自ら彎曲す、又夏期に於ては西南風大雨を帶ひ來り、泥濘行路を阻むことあり

(四六) 朝鮮の土壤及び産物は如何

慶尙全羅二道は肥沃にして人工亦大に進みたれども、咸鏡江原の諸道に至ては土地嶮阻にして産業未だ開けず、之れを全班より論するも動物礦物木材等の天産物に富むと雖も製造品の如きは誠に微々たり、今其の主

要なるものを擧ぐれば米麥砂金銅鐵芋人參虎豹皮牛皮牛角等なり

(四九) 商業及び條約國 (五〇) 朝鮮は何に由りて獨立國と認められ
たるや (五一) 朝鮮輸出入の主要なるもの如何

此國は千八百七十六年(我か明治九年八月)に我か大日本帝國と、八十二年に支那及び合衆國と、八十三年に獨逸及び英吉利と、八十四年に伊太利及び魯西亞と、八十六年に佛蘭西と條約を締結し、此等の條約に於て獨立國として待遇せられたると同時に外國貿易の爲めに仁川釜山及び元山の三港を開きたり、爾來此國の主なる取引國は日本にして之に次くを支那とし魯西亞又之に亞く、輸出物の主要なるものは蠶豆牛皮及び米にして輸入物は木綿織物、毛織物、小間物、金屬及び其他の雜品等なり

(五一) 貿易港を列擧せよ

其一仁川港は牛島の西海岸に在り仁川府に屬し濟物浦と稱す、我か長崎港を距る航程四百五十哩なり、其二釜山浦は慶尙道に在り我か長崎を距る

百六十四哩、昔時より我か對馬國主宗氏との通商地にして港内廣濶大船の碇泊に適す、其三元山津は咸鏡道の南岸に在り今尙は一貧郷たるに過ぎずと雖も土壤膏腴農産に適す、長崎を距る海上四百六十哩なり

(五二) 首府及び其の他の都會を問ふ

首府を漢陽と稱し仁川の東方内地十七哩許に在り、人口凡そ二十五萬、王城は白岳山麓に位し景福宮と稱す、其の他開城府、平壤府、江華府、公州、大丘、全州、海州、咸興、蔚山、義州等各道に點在す、平壤、義州、咸興、牙山は嘗て我か陸軍が大に支那兵を破りたる所なり

(五三) 交通は如何

此國未だ鐵道の設なく道路橋梁修らず、内地の運輸は一ら牛馬を以てす電信三條皆漢陽に起りて各方に向ふ、即ち一は北方支那の國境に至り、一は南方釜山に達し、他は元山津に至りて東北地方に通す

(五四) 政体及び政治は如何

政体は君主專制にして現國王を李熙^{リキ}と曰ふ、明治廿七年支那の干渉を脱して一はら日本政府の保護に倚り、逐次内政の改革に従事せり

(五) 教育及び宗教は如何

儒教は上流社會に行はれ佛教は現時漸く衰へて昔日の觀ある、耶蘇教徒亦少からず、此國に特別の文字あり我か國の片假名に類す、然れども官府の文書及び上流社會は専ら支那文字を用う、國俗我か邦人を忌むを甚しく動もすれば、我か居留民に害を加ふ明治二十七年六月内亂の際我邦軍隊を派して居留民を保護し、又清の干渉に對して此國獨立の体面を保護せんを務めたり、爾後彼の感情も亦大に革まるものあるべきなり

(3) 支那帝國

明治四年七月條約締結

(五七) 支那の面積人口及び區劃如何

亞細亞の東部に在りて大約四百萬方哩(全洲の四分の一)の大區域を占め之を我か日本に比するときは殆んど三十倍の大きさにして人口大約四億二

千三百八十八萬なり、土地を分つて五區となす、支那本部滿洲蒙古伊犁西藏是なり

(五八) 支那本部の形勢及び境界は如何 (五九) 萬里の長城の所在及び景況如何

支那の東南部に在りて國富み人口密なり、北は蒙古及び滿洲に連り、東は黃海及び太平洋に面し、南は支那海安南暹羅に界し、西は緬甸及び西藏に接す、其の北方蒙古に接する所に萬里の長城あり、二千餘年前秦始皇帝匈奴を防ぐ爲に築きたるものにして延長二千哩、二重若くは三重の所あり、高さ二十呎より三十呎に至り、幅は其の頂上に於て二十五呎なり

(六〇) 支那本部の廣袤人口及び區劃如何

面積百三十三萬餘方哩人口三億八千六百萬にして、一方哩に二百八十八人の割合なり、國內を十九省に分ち、直隸、山東、山西、陝西、甘肅、江蘇、安徽、浙江、江西、福建、河南、湖北、湖南、四川、廣東、廣西、雲南、

貴州、臺灣といふ

(六) 海岸線及び島嶼の主なるものを示せ (七) 香港の所在及び
景況如何

海岸線頗る長く大凡五千哩あり、平均二百六十方哩に海岸一哩の割合なり、島嶼の重要なものを擧げんに支那海の東北門に臺灣島あり、支那領中最も我が國に接近せるものにして、長さ殆んど二百四十哩に達し長大の竹を産す、廣東灣の東南に瓊洲島あり山間は礦物を産し低地は農産を出す、廣東河口葡領の澳門の對岸に香港島あり、島小なりと雖も人口二十萬あり、千八百四十一年英吉利に割與せし處にして支那貿易の大半は皆此地に於て爲すものあり

(八) 支那本部の地勢及び山嶽を問ふ

東方沿海の地より西境に至るに従ひ地勢次第に高度を増す、西方崑崙山に連りて雪嶺雲嶺岷山等の連山あり、夫より東方に向つて北嶺及び南嶺

を出す、北嶺中に劍山、漢南、終南、太華、方城、桐柏等諸山あり、南嶺中に越城、大庾、九嶷、武夷等諸山あり

(九) 支那本部の河流湖沼を問ふ

東半球第二の大河揚子江は源を西藏の中部崑崙山南に發し、東流して上海の北に注ぐ全長三千五百哩、河口より宜昌に至る一千哩間舟楫を通すへし、河道の近傍に湖沼多し、其の主要なる者を鄱陽洞庭二湖とす、揚子江に次く者を黄河とす、源を崑崙山脈の東端に發し、支那本部の西北隅に流れ北折して蒙古に入り、更に南して支那本部に入り、又東して直隸灣に注ぐ、長さ二千哩下流は水患多し、此二河の外廣東河北河白河珠江東、西、北、江の合流漢江湘江錢塘江甌江東北江西江沅江永定河等あり

(十) 支那本部の氣候は如何

一般に寒暑の差甚しく又俄に變化し易し、八九月の頃沿岸には颶風襲來の恐あり、近海亦激浪怒濤の虞あり

(六) 支那本部の天産物を問ふ (七) 支那本部の礦物は如何

植物は南嶺以南には椰子芭蕉鳳梨荔枝龍眼佛手柑楊梅橄欖等の熱帶植物あり、夫より北方黄河以南の地は五穀茶棉甘蔗等多く、梅漆桑樟栗松竹柳等能く生長し、以北は大麥小麥豆類烟草麻を産し、又葡萄梨柿胡桃等あり、動物は通常の家畜家禽及び魚介の外南部に犀野猪狼あり、西南部及び瓊州邊には大なる猿猴あり、又水牛羚羊山鼠刺蝟狐兔水獺等は各地に普ねし、礦物中鐵は其の質最も良好にして銅青銅と共に世界第一の名あり、石炭は全國至る處に産し四川省のみにても炭田の廣さ十萬方哩と號し、まさに世界の商業を動かすへきも採掘の方法未だ完からず

(六八) 支那本部の産業如何

古來農業を以て第一とす、然れども製造業もまた盛ならざるにあらず、絹木綿製茶陶器漆器彫刻等は古來最も名あるものなり

(六九) 支那本部の商業は如何

内地貿易は世界最古の地たり、然れども外國貿易未だ盛ならず、其の取引は英國及び英國殖民地にして、輸出の重なるものは茶及び絹、輸入は主に木綿及び鴉片とす、米も亦内國産のみにては國人の需要を充すに足らずして暹羅安南地方より盛に輸入せり

(七〇) 支那本部の貿易港を問ふ

外國貿易の要港現に二十三あり、牛莊(滿州)天津、芝罘、重慶、宜昌、漢江、九江、蕪湖、南京、鎮江、上海、寧波、温州、福州、淡水、鵝籠、臺灣、打狗、廈門、汕頭、廣東、瓊州、北海是あり、就中最も盛なるものを天津、上海、福州、廈門、廣東とす、此他英領なる香港葡領なる澳門あり

(七一) 支那本部の交通如何

河流國道縦横に交錯し、運河又天津に起りて黄河、楊子江を貫穿し南方抗州に至るを以て交通至て便利なり、鐵道は未だ洽からずと雖も太沽より蘆台に至り、又開平炭坑に至る線路は既に竣工し、天津北京間及び

北京漢江間は着手せられ、臺灣島亦其の企あり、電線は既に全國に普く、滿州線并に福建臺灣間の海底線竣工を告げ、又魯西亞との契約に係る西比利亞電線の連絡も亦將さに成らんとす

(七) 首府及び著名の都府を擧げよ

此國大都頗る多く、人口百萬以上を有するもの數多あり、十萬以上のものを數ふれば其の數百にして足らず、首府を北京(順天府)といひ人口百五十萬王城の在る所を滿洲街と稱し高壁を以て南方支那街と區分せり、其の他都府の有名なるものは抗洲府、濟南、開封、蘇洲府、安慶、貴楊、雲南、長沙、成都、興安、漢陽、長安、洛陽、武漢城、襄陽(開港場を除けり)等とす

(七) 政体及び陸海軍の狀況如何

君主專制にして現帝を戰愷と曰ふ、實に支那帝國の主にして又國教及び支那諸族の長なりとす、各省には總督巡撫等を置き之を統轄す、陸軍は兵數百四十餘萬、海軍は軍人大凡六千二百人軍艦數十艘を有すれども日清

戰爭に於て其の能く爲すなきを示し、鎮遠定遠等の諸軍艦破壊若くは捕拿されたるもの多し

(七) 支那本部の言語は如何

各地言語を異にし邦人間尙ほ意を通するに苦むとあり、獨り官話を以て汎通の語とす

(七) 支那本部の教育及び宗教如何

人民の過半は佛教を奉し、上流社會は儒教を奉し、又道教(老子の教)を奉するものあり、此國の文學は世界中最も古く、現今尙ほ深く學問を貴重せり、凡そ官吏たらんとするものは皆文學上の試験を経ざるへからず、然れども其の學習する所のものは主として四書五經の類にして、泰西の學術言語を研究するか如きは近年漸く行るゝ所なり

(七) 全上の人種及び風俗如何

支那人は純然たる蒙古人種たり、民俗能く禮讓を尊ひ長上を敬す、然れ

とも又頑迷無智尊大にして自ら中國中華と稱し、文明の何たるを知らざるもの多し、然れども務めて勞役に服し節儉にして貯蓄心に富めり

- (七) 滿州の形勢は如何
- (六) 滿州の風俗は如何
- (七) 滿州の分劃は如何
- (八) 清國勃興の地は如何
- (八) 滿州の要港都會は如何
- (九) 我が占領地の形勢如何

滿州は支那本部の北方に位し黒龍江朝鮮及び遼東灣と、興安嶺及び西比利亞との間に介れる面積三十六萬餘方哩人口千二百萬を有する地方なり、地勢一般に山多けれども又水利に富み概して豊饒なり、純粹の滿州人は一定の業務なく漁獵遊牧を以て生涯を終るものあれども、勤勉なる支那人の此地方に來るもの多きを以て南部は事々支那本部に類似し、北部は魯船の松花江及び嫩江を遡り齊々哈爾に至るを以て魯西亞の風習に近似せり、州を盛京吉林黒龍江の三省に分割す、盛京省は即ち清の太祖勃興の地にして其の首府を奉天府と云ふ、牛莊は此省の要港たり、其の他

都邑の有名なるものは松花江畔のキリンウラ黒龍江邊のサガレンウラ(以上港)興京、營子、^{インツァー}フン、ワン、チン、盛京、鳳凰廳、九連城、金州等なり、關東半島の旅順口には堅牢なる砲臺及び巨大の船渠あり、此所より安東縣一帶に亘り皆我軍の占領地たり、宗教は回教及び佛教を奉す

- (八) 蒙古の形勢
- (九) 蒙古の區劃は如何
- (十) 蒙古の河流及び湖沼は如何
- (十一) 蒙古人の風俗は如何
- (十二) 言語及び宗教は如何
- (十三) 蒙古の都府及び貿易の有様如何
- (十四) 蒙古の政体は如何

蒙古は興安嶺及び陰山とアルタイ連山との間にある中凹なる地方にして中に一大砂漠を有す、土人は之れをゴビと呼び支那人之れを瀚海と稱す、沙漠以南長城に至るまでを内蒙古といひ、漠北アルタイ山に至るまでを外蒙古といふ、此邊の水流は或は黒龍江に注ぎ或は低窪なる湖水に注ぐ、又此地方最大の湖水コノゴルはセレンガ及びアンガラ二河に依りて

其の水をエニセイ河に注ぐ、西南の高地は一般に青海地方と稱し、西藏高原に連るものにして黄河の水源實に此地に在り

氣候夏短く且つ甚た熱く、冬期は長く且つ甚た寒し、東方は支那人數多之れに住し小麦粟鴉片等を耕作すれども、蒙古人帳幕を携へ水草を逐ふて隨所に轉徙し牛羊山羊駱駝等を牧畜す、其の言語は支那語西藏語及ひ土耳其語の混合なり、宗教は西藏流の佛教にして僧侶の數非常に多く、

ウールガ 此地方最大の都府人口四萬許 のみにても其の數一萬に及ふといふ

マイマツチンは魯領に近く、西比利亞のキヤクタと相對して清魯貿易の要地とす、西方のコプト及ひウーリヤスタイも亦貿易盛なり、各部落は酋長之れを分轄し悉く支那政府の配下に屬す

(九〇)伊犁の形勢及び分割は如何 (九二)新疆の河流は如何 (九三)

新疆の氣候及び産物は如何 (九四)新疆の宗教は如何 (九五)

回疆の地勢及び地味を問ふ (九六)全氣候及び産物を問ふ

(九六)全都府の主なるものを問ふ (九七)全宗教は如何

伊犁は一に西域と稱し天山山脈の爲に南北に分かる、其の北なるを新疆又は天山北路とし、南なるを回疆又は天山南路とす

新疆は又一名をツンガリヤと稱し西方に傾斜したる肥沃の地なり、故に其の水流はイルチシユ河オビ河に注ぎ、若くはエミル河イリ河となりて西比利亞内地の無口湖に注ぐ、此地方冬期は唯二月のみにして米麥菓實を生ずること夥しく、イリ河邊のクールヂヤ府の如きは青々たる樹園内に立てり、支那鎮臺の在營兵及びカルマツク族は佛教を奉し、キルギス族は回教を奉す、而して人民の半は遊牧に従事せり

回疆又一名を東方土耳其斯坦といひ地勢皿形をなせり、其の最低の地は即ち域内の水を集むるロフ湖あり、湖邊及び東方の地は殆んど沙漠なれども、西方塔里木河の灌漑する地方は肥沃にして米麥菓實を産す、域内夏は長くして暑く冬は寒強く河水凍合す、言語は土耳其の一方言にして宗

教は重に回教なり、都府の主なるものをヤルカンド、カシユガル、アクス、カラシアル、クーチエー(庫車)等とす此地方より毛布絹布の産出あり

(九) 西藏の形勢 (九) 西藏の地勢は如何 (一〇) 全河流及び湖水の著名なるものを挙げよ (一一) 全氣候及び地味は如何

(一二) 全宗教及び風俗は如何

西藏は崑崙ヒマラヤ兩連山の間にある地球上空氣の最も稀薄に、地盤の最も隆起せる地方なり、カラコラム山脈其の西方に聳じ、サンポ、プラマプートラ兩河其の南方を流れ、揚子江東方に駛走す、テングリ湖(長四十五哩巾二十五哩)は一萬五千呎の上に湛へ、數多の陸河之れに流入す、面積凡そ六十五萬一千八百哩人口六百萬あり、此國終年空氣乾燥し、冬長く寒甚しきを以てテングリ湖面は五月間氷結し、耕地なく又材木なし、故に此地方の富は牛馬山羊等の家畜なりとす
住民は蒙古人種なれども自ら特別の言語を用う、宗教は喇嘛と稱し佛教

の一種にして黄教紅教の二派に分かる、其の教長を「ダライラマ」と曰ひ、域内の首都ラッサ(人口五萬其の中僧侶二萬人)に住し、又政治上の首長たり、支那政府より派遣せる駐劄大臣も亦此地に館せり、而して僧侶は大抵富み且奢り、一般の住民は商估に巧なるに拘らす甚た貧困なり

(4) 印度支那

(一三) 印度支那の位置及び區劃を問ふ

ベンガル灣と支那海との間に横はり、大抵熱帶中に在る大半島にして中に緬甸(英領)安南(佛國の保護國)の二帝國、暹羅(獨立)東滿寨(佛國の保護國)の二王國、英領緬甸、佛領交趾支那、馬來諸洲(獨立)海峽殖民地(英領)等の區別あり

(一四) 印度支那の面積人口は如何 (一五) 印度支那の人口稀少なる所以を問ふ

面積凡そ八十七萬二千方哩人口三千六百萬ありて一方哩約ね四十五人の

割合なり、斯く人口の稀少なるは其の地山嶽多きと、森林の深く且大なる
と、及び人命の不安全なるに依れり

(二〇六) 印度支那の海岸は如何

マルタバン灣暹羅灣東京灣チグレース岬ロムニア岬等屈曲出入シトルラ
ー、タンタレム、ラヴェアナ、チヨンシーロン諸島近海に基布し、大河の
河口亦三角洲あり、マラッカ海峡はマレー半島とスマトラ島とを分つ

(二〇七) 印度支那の山嶽及び平原を問ふ

ヨマ連山パトコイ山脈暹羅山脈マチンツーンギー、スノーイー安南連山
等を現時著名のものとし、其の他未だ探検を経ず従て名稱を詳にせず、平
原の地は頗る肥沃にして其の有名なるものをイラワデー河の大三角洲な
るペグ平原、メナン河谷の暹羅平原、東京全部とソンカの三角洲とを併
せたる東京平原となす

(二〇七) 印度支那の河流を擧げよ

イラワデー 千二百哩 サルエン 全 メコン、カムボヂア、メナン、ソンカ等を有
名としメピン、トンキン、河底江、李仙江等ありて大抵南流す

(二〇九) 印度支那の氣候及び動植物如何

氣候酷熱にして濕氣甚しく、三角洲の地は大に健康に害あり、森林には麻
栗樹護謨樹「ガツマペルチャ」及び竹其の他の熱帯樹木あり、低地には米
を産し、又木綿烟草砂糖藍茶珈琲香料等を出す、此地方の動物は虎豹犀象
野猪鰐魚を普通とし、猿猴蛇等森林中に住す

(二一〇) 印度支那の礦産は如何

暹羅に金礦あり、緬甸に紅寶石礦山あり、馬來半島に錫坑あり、概して
礦産に富めども採掘未だ盛ならず

(二一一) 印度支那の住民及び産業を問ふ

住民は概して蒙古人種なれども、東蒲塞及び暹羅に高加索人種あり、又馬
來種の住するありて専ら佛教を奉ず、生業は農桑を主とし、金銀細工彫刻

鑛術等に巧なり

(二三)英領緬甸の形勢如何 (二四)英領緬甸の都府を問ふ

英領緬甸はヘンガル灣に沿へる狹長の地にしてアラカン、ベク、テナセリムの三州に分つ、首府ラングーン(人口十四萬)はベク州に在り、イラワデー河口に臨み、ベンガル灣中カルカッタに亞ける要港なり、ムールマイ、プルムも此地方の都會なり

(二四)緬甸の形勢如何 (二五)緬甸の管轄は如何 (二六)印度支

那中四周海に濱せざる國名を問ふ

緬甸は土地豊饒人口二百萬を有する一帝國なれども、千八百八十六年英國に併吞せられ、現今印度政府の管轄に屬す、首府をマンダレー(人口八萬)と曰ひイラワデー河に臨む、此國又礦物に富みイラワデー河の舟運によりて貿易盛なり、著名の都府をアバ、バモとす、國の周邊海に濱せず

(二七)暹羅の形勢如何 (二八)暹羅の首府を問ふ (二九)我が國

と條約を締結せし年月を問ふ

暹羅は國人之を「テロイ」と稱し、緬甸安南の間に介在してメナム河の全流域及びメコン河谷の一部を包有せる豊饒の一王國なり、南北の二部に分ち又四十一洲に小分す、人口六百萬明治廿一年一月我が國と條約を締結せり、國の大半は深林を以て蔽はれ耕地は全面積の二十分一に過ぎず、然れども米を輸出すること夥し、首府はメナム河口に在りてバンコック(人口五十萬)と稱す、東西航行の要港たり

(三〇)安南の形勢如何 (三一)東京の礦山は如何 (三二)安南の

都府を問ふ

安南は支那海に沿へる帝國なれども今は佛蘭西の保護國たり、人口凡千五百萬國中最も豊富殷富なる部を東京及び交趾支那とす、ソンカ河の三角洲此に在り殊に東京には十七の鐵鑛と十四の金鑛とあり、首府をヒュ
人口十
六萬と云ひ海岸に近く佛國の砲臺あり、東京の首府はハノイ

して、海岸を距る百哩許の内地にあれども商業頗る繁盛なり

(二三) 東蒲寨の形勢如何

嘗て強大なる一王國なりしか安南暹羅佛蘭西の攻撃によりて其の版圖を縮少し、現今人口百萬に過ぎず、此地メコンの下流に沿ひトンテサプ湖と三角洲との間に横る、首府をナンバムと云ふ

(二四) 佛領交趾支那の形勢如何

主としてメコンの三角洲より成り、首府をサイゴンといふ、メコン河口に在りて米麻栗樹木綿等を産す

(二五) 馬來諸州の形勢如何

諸州皆小にして多くは英國保護の下に立つ、酋長は自ら「ラジャ」と稱せり、ペラック及びシヨホールは最も著名の州なり

(二六) 海峽殖民地の形勢如何

東西航通の要地にしてマラッカ海峽のプロベナン島より新嘉波に至る英

領の諸小州より成る、就中マラッカ州は諸州中最も古く且つ大なるものにして、マラッカ府は貿易頗る盛なり、新嘉坡州は長さ二十七哩幅十四哩の島嶼にして世界商業の二中心點たり、新嘉坡府人口十萬は東方及び南方の航路の集る所にして印度及び印度支那貿易上の全權を握り、其の造船所及び埠頭には各國の船艦輻湊せり

(5) 印 度

(二七) 印度の形勢を略述せよ

印度一名をヒンドスタンと稱し、最古の文學と文明とを有し、數千年前の風習階級を繼續し、又最も美麗なる建築裝飾器具等を有し、土地豊饒にして人口亦夥しく、一時各國の垂涎する所なりしか終に英國の所轄に屬せり、而して直接に英國の版圖たるもの十二州と、之れか管轄に屬する百五十餘の封建國とより成る

(二八) 位置廣袤及び人口を問ふ

印度はヒマラヤ山を底邊となしコモリン岬(北緯二度)を頂角となせる印度洋中の一大半島なり、面積百五十七萬餘方里人口二億六千萬あり、内百萬餘方哩二億の人口は直接に英國の版圖に屬するものなり

(二五) 海岸線及び島嶼を問ふ

沿海は風濤荒く且つ簡單にして海岸線の延長三千六百里に ます、從て良港乏しとす、殊にオリッサ、ゴルコンダ、コロマンデル、コンカン、マラバルの沿岸を然りとす、島嶼の著名なるものは錫蘭島、ラツカチブ、マルヂブ、アンダマン及びニコバー群島等とす

(二六) 地勢及び地味は如何

ヒマラヤ連山山地及びヴィンヂア連山の南方は山地又は高地にしてブラマプートラ、ガンヂス及び印度二大河の河谷は廣大なる平地とす、而して東方ゴーツ連山より海岸地方を除けば全國極めて豊饒なり

(二七) 高山大河及び湖沼を問ふ

山の著名なるものをヒマラヤ、東西ゴーツ、ヴィンヂア、パツカイ、カルダモ、スライマン、アラカン、ロマ、ベグ、ロマ、テナッセリム、ロマ等とし、河の北方平地を流るるものをインダス、ガンヂス及びブラマプートラ等とし、南方高原中西に在るものをネルブツタ、タプチー、東に在るものをマハナツデー、ゴダヴェリー、シリシナ、カウベリー等とす、湖水は大なるものなくコラップ、キルカ等を除けば、唯、河流の膨脹したるに過ぎず

(二八) 氣候は如何

地勢によりて一樣ならずと雖も概するに炎熱強く、暑熱(三月より六月まで)降雨(六月より十月まで)寒冷(十月より三月まで)三季節の循環するもののみ

(二九) 印度の天産物を列記すへし

植物に於てはアッサムの連岡及びテラー沿地には熱帯の植物多くシンド

の乾燥地には亞刺比亞に於けるか如き植物を産し、高地には温帯の植物並に穀類あり、又ヒマラヤ山麓より頂上に至るの間には地球上各帯の植物あり、山岳の斜面地には麻栗樹竹其の他の樹木森林をなし、椰樹は海岸の低地に生長す、動物は駱駝印度牛及びカシユミア山羊を始めとし虎、豹、犀、象、無鬣獅子、鬣狗、狼、熊、鹿、水牛、野驢、猿猴及び各種の毒蛇等あり、礦物は動植物に比すれば頗る少く、鐵銅錫は最も少く石炭は多けれども品質不良なり、獨り鹽の採掘を大なりとす、其の他又金剛石あり、金はマインソール地方に産出す

(二四) 産業は如何

生業の主要なるものは農業にして、紡織業は近時大に衰頽し只ボンベールに於て木棉の紡績及び織業盛に、ベンガルに於て麻布製造の盛なるのみ、又金銀銅鐵象牙等の細工に巧なるもの多し

(二五) 商業は如何

(二六) 輸出入の主要なるものは如何

貨物集散の中心點をボンベール及びカルカッタとし、東西各國との貿易毎歲莫大の額に上る、輸出の主なるものは穀類生棉鴉片種痘獸皮麻布茶藍及び珈琲等とし、輸入の主なるものを木綿製造品貴金屬鐵器絹砂糖飲料器械及び石炭等とす、商船凡そ五千餘艘あり

(二七) 都府は如何

全國の首府をカルカッタ(人口九十萬)とす英政廳の所在地にしてフーグリー河に臨み東西航通の要港なり、其の他ボンベール、マドラス、ハイダラバッド、ラツクノー、ベナレース等も頗る著名のものなり

(二八) 交通は如何

近時大に道路橋梁を改修し昔日の觀を留めず、加ふるに諸大都府(カルカッタ、ボンベール、マドラス等)の間には鐵道を布設し、其の延長殆んど二萬哩に垂んとし、河道運河の舟航すへさもの又千三百哩あり、郵便線路の延長五十六萬哩に達し電信線路も亦三萬六千哩に及ぶ、交通の便多言を

要せざるなり

(三九) 人種及び言語を問ふ

人種はヒンヅー及びドラビダンの二種に大別す、而してヒンヅー人はヒンダスタニー或はベンガリー語を用ひ、ドラビダンはテルグ語又はタミル語を用ふ

(四〇) 政治は如何

英領には總督ありて女帝を代表し印度全体を管轄し、又直接に或る小地方を治む、土人領には殆んど政体と稱すへきものなく、多少の貢賦を英政廳に納む

(四一) 宗教は如何

住民の四分の三は皆婆羅門教を奉し、北方五十萬餘人は回教を奉せり、佛教は本土に於ては略は其の跡を絶てりと雖もヒマラヤ近傍及び錫蘭島に於ては之れを信する者多く、耶蘇教は未だ二百萬人に至らすといふ

(四二) 錫蘭島の形勢如何 (四三) 錫蘭島の所屬は如何

佛教祖釋迦牟尼所生の地にして面積二萬五千方里あり、アダムス橋と名くる珊瑚島を以て本土と相接すれども總督廳下に屬せず、直接に龍動の殖民省の管轄に歸す、首府をコロンボと曰ひ舊都カンデーとの間に鐵道あり、ポイント、デ、ガールは東西航通の要港あり

(四四) 佛領及び葡領の地を問ふ

英國以外の領地少許あり、ボンヂヂェリー港(マドラスの南方に在り)マールエ(マラバルの海岸)及びチャンダーナゴール(フリーリ河畔の都會)は佛領にして、ゴア(マラバルの海岸)タムマン港(ボンベールの北方に在り)及びチュー島(カンベール灣に在り)は葡領なり

(6) 亞細亞魯西亞

(四五) 亞細亞魯西亞の區劃如何

魯西亞は其の本土歐羅巴に在りと雖も年々亞細亞の内地に其の領地を擴

め、今尙ほ汲々として擴張に従事せり、之れを彼得帝の時に比すれば殆んど二百五十萬方哩の版圖を増せりといふ、今亞細亞に於ける魯領の地を大別して三となす西比利亞、中央亞細亞、高加索是なり

(二四) 西比利亞の形勢如何

西比利亞は亞細亞の北方北氷洋に面する魯領中最も重要なものにして面積四百八十三萬方哩の大地方なれども其の過半は未だ文明に至らず、人口の如きも僅に五百萬にして平均一方哩に一人の割合なり、然れども其の南方は將來商業の發達すへき望十分なり

(二五) 西比利亞の地勢を問ふ (二六) 舊世界の最北端と最東端

國の過半は一大平原にして西北方に漸低し、東南部は連山高地多し、北氷洋の沿岸は寒氣強く一年の大半は氷結す、岬の主要なる者は舊大陸の最北端をなせる北東岬、同最東端たる東岬及びカムチャツカの南端なるロパツカ岬等にして、灣にはオビ、エニセイ、マイミル、カタンガ、アナチル

韃靼灣等なり、島嶼は化石象牙を産するを以て有名なるリアコウ諸島、新西比利亞、ベリア諸島は北氷洋に在り、セントローレンス、ベリング諸島、アリュウシアン諸島はベリング海に在り

(二七) 西比利亞の山河湖沼を問ふ

山脈の著大なるものをアルタイ、ヤブロンノイ及びヒスタノオイとす、皆東南境に在り、西北境には烏拉嶺あり、河の著名なるものをオビ、エニセイ、レナ及び黒龍江とす、黒龍江は東流して韃靼灣に入り、他は皆北流して北氷洋に入る、諸川の支流縱横貫通し舟を行へき流程合して三萬哩と號す、湖水の大なるものをバイカル湖といふ、亞細亞洲中淡水湖の最大なるものなり

(二八) 西比利亞の氣候及び地味如何

西南部を除くの外は概して沍寒なり、北方の河水は氷結して終年解けず、ベルコヤンヌは世界極寒の地と稱す、寒暖計夏は五十六度に上ること

あれども他は氷點下六十五度に下れり、南方の高原は雜草茂生し豐饒なる穀田あり、又森林地方にはコニファー其の他の樹木を生し、「マンドラ」に於ては唯蒼苔牧草を生するのみ

(二五) 西比利亞の産業及び産物如何

南部地方に於ては農業及び牧畜に従事すれども、概して之れを云へば漁獵及び礦業を主要の生業とす、毛皮を得へき動物の種類約ね五十種に達し毎歳百萬頭の捕獲あり、河湖は頗る魚族に富みアナデル河の鱒は殊に著名なり、年々獲たる魚類は皆乾燥してセント、ピータースボルグに送る、礦物の主要なるものを金とし銀銅之に次ぐ

(二五) 西比利亞の住民及び宗教を問ふ

住民の五分の四は皆魯人にして多くは本國より流竄せられたるものに係る、其の土人は蒙古人芬蘭人及び韃靼人に屬し概ねシヤマニズムを奉ず

(二五) 西比利亞の區劃及び都府を問ふ

余土を八區に分ち概ね其の都府の名を以て稱し、都府又皆其の所在の河に由て名を得たり、中に就て人口二萬以上を有するものをトムスク、イルクツク、オムスク、ト、ホルスクの四とす、浦鹽斯德は東南隅に在りて日本海に臨み大平洋に於ける主要の軍港たり

(二五) 中央亞細亞の形勢如何

此地北は西比利亞に接し、南は波斯及び阿富汗に界し、西はウラル河及び裏海に臨み面積百餘萬方哩人口五百萬に上る、魯國は凡そ三百餘年の年月を以て漸次に之れを占領し、裏海邊より直にサマルカンドに達する中央亞細亞鐵道は千八百八十八年五月(二十七日)を以て開通せり

(二五) 中央亞細亞の地勢を問ふ

全土殆んど砂漠及び平原にして、天山の側及びパミル高原の西斜面に風光明媚の山地あり、又キルギス高原セミレチンスク高原カラカム砂漠キシルカム砂漠ウストウルト高原等皆荒漠の地なり

(二五) 中央亞細亞の河流及び湖水を擧げよ

西方アラル海に注ぐものをアム及びシル河とし、バルカシコ湖に注ぐ七河中最大なるをイリ河とし、オビ河に流入するをイルチツシユ河とす

(二六) 中央亞細亞の氣候及び産物を問ふ

氣候は極寒酷暑なり、唯河水の近傍は果穀を産し、降雨の恵に依る地方は雜草茂生して牧畜に適するのみ

(二七) 中央亞細亞の區劃及び都府を問ふ

全土を九區に分ち大抵河流の名を命す、其の歴史上の關係を有するものは西土耳其斯坦、コータンド、キバ及びボツカラとす、タシユケンドは西土耳其斯坦の首府にして全域中最大のものなり、サマルカンドは中央亞細亞鐵道の盡くる所に在り

(二八) 高加索の形勢如何 (二九) アララット山の所在を問ふ

魯國に之れを高加索と稱するもの地理學上には高加索山脈を以て内外の

二部に分ち、内部は歐羅巴の部に置き外部は亞細亞の部に置く、共に裏海及び黒海の間にある地峽にして面積合して十八萬四千方哩人口六百五十萬あり、シール河(裏海に注ぐ)谷を隔てて、アメリニヤ高原に接し、魯西亞土耳其と波斯との境には古來有名のアララット山一萬七千呎屹立し、内部にシパン河あり(黒海に注ぐ)外部にテレンク河(裏海に注ぐ)あり

(三〇) 高加索の氣候及び産業を記せ (三一) 林檎及び梨の本國とは何れぞ

氣候は内外部及び高低によりて差われども概して乾燥寒冷なり、然れども林檎及び梨は此地方を以て本國と稱すへし、又よく大小麥及び葡萄を産し、南方は桂樹橙佛手柑及び桑を生ず、而して農業は主要の産業なり

(三二) 高加索の區劃及び都府を示せ

内部を三州に外部を八州に區分す、内部のスタヴロポリ州外部のチフリス、エリバン諸州を有名とす、都府の大なるものチフリス(十一萬)スタヴ

ロボル(四萬)ボチ、バツ(七萬)カルス及びエリバン等あり、鐵道一はアゾウ海頭よりウラチカウカツズに至り(内部)一は黒海の沿岸ボチよりチフリスを經裏海沿岸のバツに至る

(7) 亞細亞土耳其

(二六) 亞細亞土耳其の位置及び境界如何

土耳其帝(サルタン)は歐洲に於ける本土以外亞拉比亞に於て海岸地方を有し、又西方亞細亞に於て波斯灣より地中海に至る大領地を有せり、之れを亞細亞土耳其と稱し小亞細亞、シリア及びコーフレーツタイグリス河谷の三部より成る、其の地北は黒海に枕み、東は外部高加索及び波斯に界し、南は亞刺比亞及び地中海に面し、西は群島海に臨めり

(二五) 小亞細亞の位置及び海岸は如何 (二六) 往古に於て知識財

交貨の換中心とは何れなるや

アレーメニヤ及びシルヂスタン高原より西方に突出したる大半島地にして

黒海群島海及びレヴァントの間に横り、港灣の出入甚た多く西方海上は島嶼の散在亦頗る多し、是を以て數千年間學問及び商業の交換所として其の名世に高し

岬灣の主要なる者は黒海のインヂェー岬、西海岸のバマ岬アドラメーチ灣スミルナ灣スカラノバ灣、南海岸のアナモール岬、スカンデルーン灣、アダリア灣等にして、島の大なるものは群島海中のミチレン、チヨー、サモス、コス、ローツ等とす、レバント海岸に近きサイプラス島は現今英國の版圖に屬せり

(二七) 小亞細亞の地勢及び山河湖沼を問ふ

全土皆二三千呎の高原にして黒海及び地中海岸に向て徐々に下り、内地は大抵砂漠なり、國境の山脈をトラス、アンチトラス及びボンチツク海岸山脈とす、河の最大なる者をキシル、イルマツク(黒海に注ぐ)とし、湖水の最大なるものを無口のバン碯湖とす

(二六) 小亞細亞の氣候産業及び住民如何
 氣候は乾燥にして寒暑の差甚し、産業の主なるものは農業にして、木綿鴉片果實葡萄酒及び絹を産す、鐵道は現時四百哩に過ぎざれども海岸諸都府の繁盛と共に漸次延長の運に向ふ、而して商業其の他の職業上の實權は主に希臘人及びアーメニヤ人の手に在れども、國の實權を握るものはオスマンリ土耳其人なり、全土の人口合して七百萬、各都府には必ず四五種の國民あり

(二六) 小亞細亞の區劃及び都府を問ふ (二七) 小亞細亞の歴史上の遺物を問ふ

全土をアーチヘラゴトレピゾンド等の九區に分つ、大都府をスミルナ(二十萬)とす、レバントは商業の中心なり、其の他トレピゾンド及びアダマも亦現時有名の都會なり、而して往古盛時の遺物を存するは世界無双にしてトロイ、スミルナ、エフイサス、ミレタスの如き往時の大都趾は西海

岸に在り、サーヂス、フィラデルフィア、ラオヂシ等は内部の平原及び高地の邊に在り

(二七) シリヤの地勢及び山川を擧げよ

シリヤはシナイの半島よりスカンデルン灣に至る狹長の山地にして、其の海岸をレバントと稱し、其の南部をパレスタインと稱す、面積五萬方哩(日本の三分一)人口三百萬あり、北方に於ける二山脈は高谷を擁し、南方に於ける二山脈は低谷を包み、斜面は地中海に短く砂漠に長し、アンチオク及び死海の間に在るバーベツツ府趾の邊より四大河を出す、シヨルダン、オロンツ、レオンツ及びアバナ是なり、北方エルベカア高谷を挾めるはレバノン、アンチレバノン二山脈にして、南方のエルゴール(ヨルダン河谷) 高谷を挾めるはジュテア及びサマリヤ山脈なり、湖水の大なるものはタイベリアス及び死海とす

(二七) シリヤの區劃及び都府を問ふ

域内をアレツボ、レバノン及びシリアの三部に分ち、其の首府をアレツボ、タメルエル、カマア及びダマスカスと云ふ、ダマスカス(人口廿二萬)は域内の最大都會にして隊商貿易の大中心たり、其の港をベールートと云ふ、其の他スカンデルーン、シエルサレム等の都府あり

(二七) ユーフレーツ、タイグリス河谷地方の形勢如何

此地方は高原地と低地とより成る、其の北方の高地はアーメニヤ及びシルヂスタンにして、南方の低地はメソポタミヤ及びイラク、アラビアなり、タイグリス河(千百哩)及びユーフレーツ河(千七百哩)はアーメニヤ高原に發しメソポタミヤの地を流れ、合してシャット、エル、アラブ(百哩)となり波斯灣に注ぐ、域内を五區に分ちエルズ、ルーム、バン、テールベカア、バグダッド及びバクンラアといふ、各部の首府は洲と同名なり

(8) 亞刺比亞

(二七) 亞刺比亞の形勢如何 (二七) 世界第一の大半島は何れそ

(二七) 亞刺比亞の氣候は如何

亞刺比亞は亞細亞の西南に位せる世界第一の大半島(面積百廿六萬方哩)にして、其の狀四角形をなし海岸の出入極めて少し、此地舊世界の正中に位するを以て、氣候酷熱域内多くは無雨の砂漠地若くは山地なるにも拘らず、昔時は有名なる貿易場たり

(二七) 亞刺比亞の地勢及び山川を問ふ

域内整然として紆曲なく、中央高原砂漠帶西、南、及び東南端の海岸山脈等此國を組織す、高原の地はチツドと稱し二三の山脈東西に之れを横斷す、沙漠の北に在るものをチツド、中央に在るをダアナ、南方に在るを亞刺比亞大沙漠とす、此國には河流なく又湖水なし、唯降雨期に於て細流を作すものあれども常に乾燥せり

(二七) 動物及び産業を問ふ (二七) 亞刺比亞人の富は何なるや

(二八) 世界の非産業國とは何れそ (二八) 亞刺比亞の礦産

は如何

亞刺比亞は氣候の亞非利加に類似するのみならず、植物も亦蘇丹地方に似たり、波斯棗珈琲香料藥用植物は最も價值ある者にして、沿海の地は大
小麥粟其他の果實を産す、然れども殆んど森林なきを以て野獸は極めて
少く、豹大野猫狼鬣狗等は山地に住し、駝鳥羚羊等は砂漠中の沃地に在
り、人民は馬駱駝山羊の類を以て富となし、エメン地方少許の織物業
金銀繡箔業を除けば全土全く世界の非産業國を以て稱せらる、全國又礦
物なく唯少量の鉛を産するのみ

(二八二)交通及び商業の有様如何

此國は河流なく湖沼なく又道路なし、只隊商道路なるものありて池泉の
多少によりて其の方向を定む、故に内地貿易は多少行はるゝも外國貿易
は頗る少額なり、而して隊商道路の中心はメデナ、メツカの二府なり

(二八三)區劃及び政治は如何

域内を八區に分つエルハツサ、オーマン、ハツドラモート、エメン、エ
ルヘジャツズ、チジド、ジエベルシヨマア、シナイ是なり、而して或は獨立
のものあり或は外國に隸屬するものあり
(二八四)都府の有名なるものを擧げよ
マスカットを最大としサナ之れに次く、又最も有名なるものをマホメツ
トの生地なるメツカ及び其の墳墓地なるメデナとし、其の他アデン、モ
カ、リマド、ヘール等の小都府あり

(9)波斯

(二八五)波斯の位置及び境界如何

波斯は國稱をイランと云ひ平均五千呎の高原地に在り、北は裏海及び
魯領に接し、東は阿富汗及び皮路直坦に界し、南は波斯灣に臨み、西は亞
細亞土耳其に至る、面積六十二萬八千方哩あり

(二八六)地勢及び山川の主なるものを問ふ

全國高原にして北方及び南部は山多く、東部は沙漠にして南方沿海地方に多少の平地あり、南方に於て最も高さ山脈をシーチナツトと云ひ、北方に於てはエルブルツと稱す、エルブルツ中の高峰はデマベント（一萬八千五百七十呎）と云ひ常に硫烟を吐く、河流の舟行すへきもの唯一ありカルンと稱す、運河によりてシャツテルアラブ河と相連る、其の他は大抵陸河にして其の水海に注かす、湖水の大なるものをウルミヤア礮湖とす、四千五百七十呎の高地に在りて水甚だ淺し

(二八七) 氣候及び産業は如何

中央に於ては冬の極て寒く夏は極て暑し、高原及び海岸は炎熱殊に甚しく且つ乾燥なり、而して東方は一帶不毛に屬すれども、北方斜面の如き水濕ある處には肥沃の地少からず、住民の三分の二は皆農業を務め、又能く陶器毛氈肩巾其の他の裝飾品を製造す、鐵道二十四哩電線四千餘哩を有すれども、外國貿易の如きは未だ見るへきものなし

(二八八) 住民及び宗教は如何 (二八九) 波斯人の風俗如何

人口大凡八百萬（一方哩十二人）あり、主としてアーリヤン種に屬すれども北方及び東方に數多の蒙古種ありて遊牧を事とす、波斯人は東方の巴里人と稱し皆禮儀を重んじ風俗頗る善良なり、宗教は重に回教とす

(二九〇) 都府及び政体を問ふ

都府は首府テヘラン（廿一萬）を最大とし、ダブリツ（十八萬）イスパハン（六萬）メシエツド（全上）バルフルシユ（全上）之に次ぐ、此國は純粹なる專制帝國にして王をシャーエヤンシー（王中の王）と稱し、參政官及び大臣之れを輔佐す、然れども遊牧の人民（人口の三分一）には權力甚だ微なり、陸軍は五萬三千餘の兵員より成り、海軍は小軍艦三艘軍人大凡三百人より成る、此國は國債を有せず

(10) 亞富汗及び皮路斯坦

(二九一) 亞富汗及び皮路斯坦の地勢を問ふ

此二國はイラン高原地の東部に於て、亞富汗は一層山岳多し

(二九二)亞富汗の地勢及び山川 (二九三)亞富汗の英國の爲に必要な
る所以は如何

全土の面積廿七萬八千方哩、大抵峻嶮なる山嶽を以て蔽はる、北は西土
耳其坦に界し、東南はカフオリスタン印度及びベルヂスタンに接し、西は
波斯に劃る、山の有名なるものをヒンヅーシーヌ山脈及びスリマン連
山とす、スリマン山は即ちイラン高原の東端をなすものなり、此國は印度
より中央亞細亞に通ずる要路に當るを以て英國の爲には最も重要なる所
とす、今其の通路の有名なるものを擧ぐればカイベル山路クラム山路ホ
ーラン山路等なり

(二九四)阿富汗の氣候及び地味如何

高地は寒氣激烈に、低地は炎熱燃く如く、寒暑の差亦甚し、地味は概ね
瘠地にして溪澗及び低地には沃地少からすと雖も、全面積の五分一に足

らず、獅子豹の小なるものヒンヅーシーヌ山に徘徊し、狼熊も亦棲めり

(二九五)阿富汗の人種産業及び政治は如何

人口殆んど五百萬、多くはアーリヤンなれども又蒙古種或は混合種あり、
住民は概ね牧畜を事とし又絹布及び毛氈を産す、皆駱駝或は馬背を以て
運搬す、國土の位置よりすれば商業頗る盛大なるへさに、戦亂及び虐政の
爲に大に阻害されたり、カブルの「アミーア」(君長)は英政府の承認を經
て阿富汗全土の國王たり、現王の名をアブドル、ラアマンといふ

(二九六)阿富汗の都府を問ふ

都府の重要なるものをカブル^{五萬}ヘラツド^{五萬}及びカンダハールとす、皆軍
備上主要の地たり、その他グズニ及びシエラバットも有名なり

(二九七)阿富汗土耳其斯坦の形勢

ヒンヅーシーヌ山とアマダリア河との間に列國の權衡上重要なる一國
あり、阿富汗土耳其斯坦といふ、魯英兩國の合意を以て阿富汗の「アミー

ア」の統轄に歸したり、住民は皆トルコマンにして國は數多の十州に分かる、其の最も有名なるものをバルッ(昔時のパントリア)とす

(二六)皮路斯坦の形勢如何

イラン高原の東南部及びヒシンドの低地より成る人口稀薄(二百萬)の砂漠地にして、國王^{ガン}ツダダッド女は印度政府の干涉の爲に其の臣下となる

(二九)皮路斯坦の住民及び都府を記せ

東部及び西部に住するものはベルスと稱し其の先アーリヤンに出て、中部に住するものはブラウニスと稱し蒙古人の子孫なり、共に回教を奉す、首府をケラットとし、軍事上重要な都府をケツタとす

第二章 歐羅巴洲

(一)歐羅巴の形勢を略述せよ

本洲は五大洲中最少(面積二百七十萬方哩)なるものにして、一見すれば亞

細亞大陸に附着せる一大半島たるに過ぎずと雖も、亞細亞を離るゝに従ひて益々半島的の性質を逞ふし、形勢の變化及び海岸線の延長甚しく、全長一萬七千哩平均面積百九十方哩に付海岸線一哩の割合なり、又世界諸大陸の中位に在るを以て夙に文明の中心を爲し、貿易交通の燒點たり

(二)位置及び境界は如何

三面海に臨み、唯、烏拉山及び高加索山を以て亞細亞と限る、大陸の最北端をノードキン岬といひ(マゲロー島の北岬は尙ほ北方に在り)極西端をロカ岬といひ最南端をマリフ岬とす

(三)面積及び海岸線の比較、(他洲との)

本洲は地球上陸地の十四分の一を占むるに過ぎず、亞細亞は即ち此の五倍に當り、亞非利加は三倍に相當す、而して海岸線延長の割合は亞細亞の三倍なり

(四)内海及び南北海の比較如何

南方に裏海黒海地中海あり、北方に白海バルチック海北海あり、今其中最も重要なる地中海と北方の地中海と稱せらるるバルチック海との比較を示さん

地中海

●海甚だ深く岸高し

●秋冬降雨の地方に在り

●割合に河流の注入少し

●温度高く蒸發大く且つ速なり終年氷結せず

●蒸發の爲め水面低く大西洋より潮流常に流入す

●其の水大洋よりも鹹味甚し

バルチック海

●海甚だ浅く岸低し

●年中無雨の地方に在り

●大河の注入甚だ多し

●温度低く蒸發少し十二月より四月に至る迄氷結す

●大河注入の爲め水面高く潮流常に獨逸洋に流出す

●水甚だ淡く鹽分僅に大洋の四分一のみ

(五)半島の著大なるものを擧げよ

全洲已に半島なれども、尙ほ各部の主要なるものを擧ぐれば、バルカン、

クリミア、希臘、以太利、アイベリアン又はスバニシ、チヨトツランド(テムマール)、スカンヂチヴァイアン等なり

(六)島嶼の主なるものを記せ

世界中本洲の如く數多重要な島嶼を有するものあらざるなり、而して南に在るものは皆最も豐饒にして、其の他のものも亦悉く文明及び商業の踏石を以て目せらる、今其の最も重要なるものを擧ぐれば左の如し

北氷洋中にはジャンメイエン、ウエーガッツ、ノワゼムフラあり
大西洋には那威の海岸にロフオデン群島あり、アイスランド及びフアロ
ー群島あり、ブリチシユ諸島あり、佛蘭西の海岸に海峽諸島あり、葡萄
牙の西方九百哩にアゾール群島あり
バルチック海の入口に丁抹諸島即ちジールランド、フォーチン等あり、又
ルーチン及びホルノルムあり、オランダ及びゴツナランドあり、マゴ
及びオーセルありアランド群島あり

地中海にはバレアリツク諸島あり、其の最大なるものをマジョルカとす、
その他コルシカ、サルヂニヤ、エルバ、シ、リ、マ、マルタ島あり、希臘
の西にアイオニアン群島あり、多島海にサイクレーツ、スホレーツあり、
その他カンヂア及びサイプラス(亞細亞)あり

(七)地勢の大略を示せ (八)低野の大陸とは何れなるや

アルプス山系其他の低山脈あり斷續せる丘陵あり高原あり平原あり谿谷
ありと雖も、然れども概して低地多く全面積の三分の二は殆んど低地と
稱すへし、又東經廿七度を以て全洲を東西に分ては西方は參差錯雜なれ
ども東方は平坦一樣なり、故に歐洲は低野の大陸と稱すへし

(九)本洲の山脈及び高峰を問ふ (一〇)歐洲最高の山脈及び其の

最高峰を問ふ

山脈の主なるもの皆洲の南及び西北部に在り、即ちシーラ、チヴァダ山
脈(西班牙)ピレニ、ス連山(佛蘭西西班牙の境)アルプス連山ガルバシア

ン連山バルカン山脈及びスカンヂチピア群山等とす、高加索山及び烏拉
山は歐亞二洲の境を限る

シーラ、チヅダの最高峰はムルハセン(一一六六〇)呎なり、ヒレニースの
一部は雪線以上に在りて隧道を穿つを得ず、鐵道亦之れを避く、最高峯を
チゾー(一二六八呎)とす

アルプスは伊太利と佛蘭西及び獨逸との限界をなし、歐洲最高の山脈に
して高峯多くは雪を戴く、伊太利の骨梁をなせるアペニン山脈は此の
支脈なり、最高峰をモンブラン(一五七八四呎)といひサポイに在り
カルパシアンはダニュープ河畔のプレツスブルグよりオルソバに至るま
て大馬蹄形を爲し、以て匈牙利の大平原を包み東風を遮る

バルカンはアドリッチック海より黒海に亘る山脈の總稱にして、其の主脈
はブルガリヤとルーメニヤとを分割す、最高峰は平均六千五百呎なり
スカンヂネビヤは同名地方に於ける低山脈の總稱なり、南部の最高峯は

八千四百呎(モンブランの半)にして、北部の最高なるスリテルマは五千三百二十呎に過ぎず

(二)火山の著名なるものを記せ

歐洲の火山はヘッラ山を除くの外地中海中の島嶼或は半島に限れり、火山の主なるものをヘッラ、エトナ、ベスピュス及びストロムモリとす、然れども中央佛蘭西、獨逸の西北部、東方ピレニース等にも又數多の噴火山あり

オレフシヨカル(六千四百十呎)はアイスランド二千座中の最高峰なり、エトナ(一〇八四〇呎)はシ、リー島中の最高峰なり、ベスピュス(四一六〇呎)はネーブル灣頭圓錐状のものなり、ストロンボリはリパリ諸島の中に在りて五分毎に蒸氣を噴出す

(三)平原及び高原は如何

大平原はピレニース山脈よりウラル山の間を攢り全土の三分二を占む、

此平原露西亞に於て最も廣し、然れども洲の西部に於ては往々高原あり、其の主なるものを西班牙の高原、瑞西及び巴威里高原、トランシルバニヤの高原及びバルカン高原とす、此等の高原及び山地の間に雜る平原あり即ちハンガリー、ウラキヤ及びブルガリヤ、ロンバルデー、ラングエドツク、上ライン、ボヘミヤ及びアンダルシヤの平原是等なり

(三)河流溝渠及び水路の有様如何 (四)歐洲の二大水路とは

何ぞ

本洲は河流甚だ多く又能く全面に配布し四方に分注す、而して皆濼流多くして航行に適し河口に良港を有す、又溝渠は濼流と濼流とを結合し縦横錯綜以て運漕に便せり

北氷洋に注く所の大河をベツチヨラ河とし、大西洋に注く最大河をローアル河とし、バルチック海に注くものをビスチユラ河とし、北海に注くものをライン河(八百哩本洲第二)とし、地中海に注くものをローン河、

黒海に注ぐをダニユープ河(八百哩本洲第一)及びニール河、アソウ海に注ぐをドン河、裏海に注ぐをヴォルガ河とす、皆重要な河流なり

ダニユープ河は獨逸の南部に發してアルプス山系と駢走し、埃地利匈牙利等數多の國土人民及び國語を通過して東流し、實に東歐の一大道路をなす、ライン河は西歐の大水路としてアルプス山脈とチザアランドとの間の高原を西北流し、數多の國民に貿易及び旅行上の便利を與ふ

(二五)湖水の有名なるものを擧よ

湖水の大なるもの、東北部の低原に在るをラドガ湖オチガ湖の二とし、西南高原中アルプス山の北に在るものをゼチバ湖コンスタンヌ湖とし、南に在るものをガルダ湖マジョール湖とす、高原中に在るものは甚だ深く且景色絶佳に、低地に在るものは岸低く水淺し

(二六)氣候の大略を述べよ (二七)歐羅巴中砂漠地の有無如何

洲の東北部を除くの外全域皆温帶中に在り(最南點も北回歸線を距る九

度)西南各地に深く灣入せるは温氣及濕氣の倉庫と稱せらるゝ大西洋にして、夫より吹き來る西南風を遮るへき横嶺なし、是を以て寒暑共に中和を得、降雨多くして且規則正しく、全緯度に於ける他の大陸よりは温暖なり、然れども此温和は南より北に至るに従て減し、西より東に至るに従て一層退却す、特に記憶すへきは本洲中一の沙漠なきこと是なり

(二八)地味及び動植物は如何 (二九)動物と植物の比較如何

土壤は極北部の外概して肥沃なりと雖も、普魯西英佛及び西班牙の或部分には耕作に適せざる所あり、洲の南端各部には常緑なる熱帶植物を産すれども、他は大小麥燕麥裸麥玉蜀黍葡萄其の他各種の果實各種の木材等皆温帶的植物なり、斯く歐洲は農業の適地なるを以て野生動物は著く其の數を減せり、然れども尙ほ野猪熊熊の如きは獨逸森林アルプス山或はピレニース山に見、野牛は魯西亞の大森林に多く、羚羊及び山羊はアルプス及びガルバシアンの高處に見れども、山羊は漸く其種を盡さんとし、

海狸も亦其の跡を絶たんとす、然れども牛馬羊等の家畜に至ては益々多く且つ良種を産す

(三〇) 礦物は如何

本洲は礦物に富めり、就中鐵石炭(共に英國、本土の西北部の諸國、魯西亞)鉛(獨逸、西班牙、英國)銅(西班牙獨逸英國)及ひ鹽(カルバシアン山、英國)を最も多しとす、其の他魯西亞の金、西班牙の水銀、英吉利の錫等有名なり、然れども貴金屬は概ね皆他大陸の輸入を仰ぐ

(三一) 人口及ひ人種を問ふ

人口三億六千萬あり、其の最も稀薄なるは東北部にして、最も稠密なるは西部なり、此等の住民は殆んど全く高加索及ひ蒙古の二人種に屬するものにして、高加索は全人口の二十分の十九を占む、高加索種に四大別あり獨逸種羅馬種スレロプ種及ひセルチック種是なり、蒙古種に又三大族あり芬蘭人匈牙利人及ひ土耳其人は是なり、又東北に於けるサモイド人

及び東南平原のカルマツク人も蒙古種に屬す、歐洲には又殆んど六百萬の猶太人あり、此種はセミチック派に屬するものにして波蘭地地利獨逸及ひルーマニヤに最も多く住めり

(三二) 言語の種類如何

歐洲の言語は、インドヨーロッパ印度歐羅巴即ちアーリヤン派に屬す、但し土耳其語の一派は之れに屬せず、アーリヤン派は又別ちてチュートニック、羅馬、スラボニック及ひセルチックの四種とす

(三三) 宗教は如何

歐羅巴は概して基督教を奉せり、然れども又回教(七百萬)猶太教(六百萬)蕃教(約二十萬)等の信者あり、基督教は又舊教(二億五千萬)新教(八千五百萬)希臘教(八千萬)の三大派に分る

(三四) 産業及ひ文明の進度如何 (三五) 獨逸の教育は如何 (三六)

移住民の大數を問ふ

産業の最下級なる漁獵業は唯、ラブレンド人に限り、遊牧者は五十萬許のカルマツク人及びキルギス韃靼人に限れり、其他の産業の主なるものは農桑業、商工業航海業にして、學術技藝の進歩に至つては世界其の比を見ざるなり、教育の最も普及せるは獨逸にして英國之に次く、獨逸は實に教育上最も苦心し最も勉勵し又最も多額の金圓を費せり、移住民を最も多く出せるは英國にして獨逸之に次く、蓋し歐洲諸國より他大陸に移住したるもの無慮三億五千萬人即ち全世界住民の一半にして土地も亦全陸地の一半を所有せり

(二七) 歐洲中政體の種類を問ふ

立憲制十四國共和制四國君主專制二國あり、憲法の最も發達せるは英國にして獨逸埃地利等の諸國皆之れに則る、共和國の大なるは佛蘭西にして瑞西は聯合共和國なり、當時英吉利獨逸魯西亞佛蘭西埃地利及び伊太利を歐洲の六大強國と稱す

(1) 魯西亞

- (二八) 魯西亞の地勢及び山嶽を問ふ
- (二九) 歐洲第二の高峯及び其の所在を問ふ

魯西亞は南方の暖海より北方の氷海に擴れる一大平原にして、紆餘屈曲せる川流其の間に錯綜す、平原の北方はダンドラにして其の南を北方魯西亞低原とし、其の次を北方魯西亞高原とす、又其の南にステップ砂原あり、南方裏海の邊も亦低窪地なり、高原は國の中央を横過するヴァルダイ分水岡及び北方に二三の高原あれども、其の高度甚しからず、澤地は非常に多く國內到る處之を見ざるなし、唯、南境コーカサス山脈のクリミヤの南部を走る所を最も峻峻なりとす、此邊又絶景の稱あり、脈中の最高峯をエルブルツ(二八五七〇呎)とす、アルプスを除けば歐洲最高のも
のなり、東北の烏拉山は甚た高からず

(三〇) 境界及び廣袤如何

北は那威及び北氷洋、東南は烏拉山烏拉河カラ河裏海高加索山及び黒海を以て亞細亞に界し、西は瑞典バルチック海及び普魯士埃地利に接す、南北二千四百哩東西千八百哩にして面積二百〇九萬方哩（波蘭及びフィンランドを合す）大約我邦の十四倍に相當す

(三二) 河流の主要なるものを記せ (三三) 魯西亞河流の特質如何

域内川流の頗る多く河身の長さど屈曲の大なるを以て著る、而して此國は運河の接續によりて河流を上下して南方の黒海、裏海、アゾウ海等より北方の白海或はバルチック海に至るを得へし、北氷洋に注ぐものをベツチヨラ、メーゼン、ドヴィナ、オチガの諸河とし、バルチック海に注ぐものをネバ、ツナ、ニイメン、ウイヌツラ諸河とし、黒海に注ぐものをニースタア、ニール、ドン諸河とし、裏海に注ぐものをボルガ、ウラルの諸河とす、就中ボルガ、ニール、ドンの三川を最も主要なりとす、然れども此國の東南部に在るものは水量少く、海に達するまでに

皆陸地の吸収する所となり、又一般に冬期氷結するを常とす

(三三) 湖沼の主なるものを問ふ

全土澤地多し、殊に北西部は歐洲最大の湖水を有せり、ラドガ、オチガ、ペーパス、イルメン等是なり、又芬蘭地方は全面連絡せる數多の湖沼を以て蔽はる、其の最大なるものをサイマ湖となす

(三四) 氣候は如何

一般に寒氣強く雨量少し、南部は夏期炎熱極て強く又極北の地にて夏月頗る炎暑強し

(三五) 植物及び地味は如何 (三六) 魯西亞の富は何に據れるや

北方サモエド人の住する數千方哩の地方は即ちダンドラにして蘚苔及び灌木の外樹木を生せず、其の南方は松柏及び樺等の森林にして晝尙は暗く木材及び樹脂等を産す、國の中央二億四千萬エーレル（全土の三分の一）の地は所謂黒土フラスツクランドにして、カルパシアン連山と烏拉山脈との間に亘り、

深さ三呎より廿呎に至る(植物の腐敗せる)糞土地なり、此地の穀類は七十年り、深間肥料なくして生長すへく、魯國の富は主として之れに據るものなり、大麥、小麥、裸麥、大麻、亞麻等最も善く生長す、黒海の近傍及ヒクリミヤの南部は玉蜀黍及ヒ葡萄を産す

(三七)動物の種類を挙げよ

歐洲の野獸と稱すへきものは大抵此國に棲息せり、即ち白熊(北海)柔毛獸(北方)熊、狼、大野猫、狐(芬蘭)赤熊、野猪、鹿、牛(森林)等なり

(三八)礦物は如何 (三九)世界第一の白金産地は何國なるや

中央烏拉山の東斜面は金鐵及ヒ銅を産し、白金は世界第一の多量なり、磁石鐵は極東の地に在り、石炭はモスコの近傍ドネツツ地方及ヒ烏拉山に産す

(四〇)産業の大要を記せ (四二)歐洲中家畜の最も多きは何國な

るや

人民の九割は農業を務む、故に世界に於て合衆國に亞ける穀物生産地にして小麥は輸出全額の二分一より多し、其の他の製造業は微々振はす、唯漁獵牧畜を盛とす、家畜の多きことは歐洲中第一にして就中馬を最も多しとす、商業は主に内地地的なり

(四三)都府の主なるものを記せ

首府をセント、ピーターズブルグ(百萬)といふ、千七百三年彼得帝の建設せし所にして廣さ四十方哩、ネバ河口に跨りて宮殿官廳宏麗を極む、其のネウスキプロスペント(長三哩)は歐洲最大街路の稱あり、此府の海港はシロンスタット(堅牢なる砲台あり)なりしが、近年運河の開鑿によりて直に貿易を行ふを得、之れに次くものをモスコウといふ即ち此國の舊都なり、其の他ウルソウ、リガ、オデッサ、カザン、キーウ、サラトツフ等又有名なり

(四四)海港及ヒ軍港を問ふ

バルチック海のセント、ピータアスブルグは此國最大の海港にして、外國貿易の一半は皆此港に於てす、之に次くものをオデッサ及びリガとす、裏海に於て重要なものをアストラカンを爲す、アルカンドルは此國最古の開港場なり、又海軍兵器製造所の主要なるものはバルチック海のニコレーフ、シロンタット、黒海中のセバストポール、バツーム等とす

(四)交通の概況を述へよ

國中道路甚だ悪しく、黒土地方は一層甚し、是れ石なきを以てなり、雨天の時は一貨車に六馬を用うるごとあり、然れども水路の長さ二萬四千哩(内四百哩は運河)あり、鐵道二萬哩あり、鐵道の中心はモスコウにして之れより五大線路を派す、電線路亦九萬哩、商船二千四百十八艘あり

(五)人口及び政体を問ふ

人口八千八百萬(一方哩四十二人)にして、黒土地方は一方哩百人を容る、政体は君主專制なれども芬蘭は魯帝を戴きて立憲政を行へり、現帝は

嘗つて我が國に來遊せられしニコラス親王なり、此國の帝室は毎に殘虐なる虚無黨の窘むる所となる

(四六)宗教及び教育は如何

國教は希臘教にして國帝之れか首長たり、此國には大學の數八あり、中學は頗る多く農學校礦山學校商業學校其他の専門學校亦多し、然れども小學の就學兒童二百萬に過ぎず、讀書を能くするもの一割二分のみ

(四七)陸海軍の概況如何

陸軍は歐洲中最も強大なるもの、一に居り、常備兵八十四萬三千人戰時殆ど二百五十萬の壯丁を得へし、軍艦は九十八艘内甲鐵艦四十五艘あり、其他水雷艇亦頗る多し

(2)バルカン半島

(四八)バルカン半島の地勢如何

バルカン半島は北方セーブ河及びタニユーブ河を以て限界とし、南方に

突出したる不規則なる高原的大半島なり、南方に至るに従つて益々半島の性質を逞ふし、又無数の島嶼を現出す

(四九) 半島岬灣及ひ島嶼を問ふ

半島の北部に在るものはコンスタンチノール、ガリポリ、チャルシデスにして南部に在るものは北希臘、中央希臘、南希臘の諸半島なり、灣の主要なるものはサロス、オルファニ、サロニキ、ボロ、エーシナ、コリンス、パトラス、アルタにして、岬の主要なるものはコロナ、マタパソ、リンゲッタなり、島の大なるものはカンチア、クリート及ひコーピアにして、群島の主要なるものは多島海中のサイクレーツ、スポレーツ、アイオニヤン海中のアイオニアン諸島等なり

(五〇) 山嶽の主なるものを記せ

山嶽はチャアター山脈を主軸とし夫より四方に派出せり、其の西北に走るものをイリツクアルプス、ダイナリツクアルプスとし、南に走るもの

をピンドダス山脈とす、其の北に走つてダニユープ河の一支チモツクより黒海エミチー岬に至るものをバルガン大山脈とす、ドブルツジャ高原其の中に在り、南及ひ東南に走るものをデスホトダーとす、又ヒンダス山脈に平行してテツサツー平原の東方を限る一山脈あり、オリンプス(九七五〇呎バルカンの最高峯) オツサ、ピーリアン及ひオスリスは此山脈の高峯なり、又モレアの中央アルカチアの高原より四小半島に各山脈を派出す、其の最高峯をテーゲタスとす、テーゲタスの極端は即ちバルガンの最南端マタバン岬なり

(五一) 河流の主なるもの

河流は到る所皆小にして南方に行くに随ひ愈々小なり、其の北方にモラヴァ及ひイヌカア、南方にマリツア、ストルマー及ひバーダーは最も重要なものなり

(五二) 氣候及ひ植物分布の大要を記せ

北方は寒暑の差甚しけれども南部は温和なり、降雨は概して多けれども希臘に於ては夏期殆んど降雨なきをあり、植物は高山に松柏類あり、低山地には山毛櫸及び櫟等あり、溪谷には橄欖及び橙を生ず

(五) 住民及び宗教は如何

人口甚だ稀少にして平均一方哩に七十人の割合なり、而して全人口の過半はストラポニツク種にして、東方に在てはブルガリア人、西方に在てはセルビア人なり、その他アルバニア地方のアルバニヤ人、希臘、クリート及び其の他の諸島に住する希臘人、及び半島の土地所有者たる土耳其人(全人口の七分の一)等の四種族に分る、又此地方に於て商業を營むものは概ね猶太人及びアルメニヤ人なり

希臘人及びストラポニア人は希臘教を奉し、土耳其人は回教を信す

(五) 政治上の區劃を問ふ (五) バルガン諸國の成立は如何

バルカン半島に國を爲すものは、一ポスニヤ及びヘルツェコビナ(名目上

土耳其に屬すれども其の實境地利政府保護の下に立てり、二モンテネグロ(獨立小侯國)、三セルヴィア王國、四ルーマニヤ王國、五ブルガリア侯國(獨立なれども貢賦を土耳其帝に納る)、六東ルーメニア(名目上土耳其に屬すれども一の耶蘇教支配者を有せり)、七土耳其(今は僅にルーメニヤ及びアルバニアの二地方より成る)、八希臘等なり、是皆千八百三十年希臘王國の建設以後土耳其より分立せしものなり

(五) ポスニヤの形勢を問ふ

今はセルビヤ人之に住すれども土地所有者は回教徒なり、首府をサラジエバといふ、ヘルツェコビナも今此國の一部をなせり

(五) モンテネグロの形勢は如何

土地小なれども要害の地にして、二百年間土耳其と戦争の後千八百七十八年列國の承認を得て獨立せり、首府をセツチンジといふ、舉國民皆兵の稱あり

(五八)セルビヤの形勢を記せ

此國は十四世紀に在りては強大なる一王國にしてダニユーブ河よりモレ
アに至る大版圖を有せしが、其の後土耳其人の破る所となれり、而して
千八百八十三年に至り再び一王國となる、河の主要なるものをモラバ河
とす大都府皆此沿岸に在り、首府をベルグレード(人口四萬五千)といふ、
宗教は希臘教なり、國民(二百萬)は兵士にあらされは牧畜者にして盛に
豚を飼養して他邦に輸出す

(五九)ルーマニアの形勢を示せ

此國(人口六百万)はダニユーブ、ブルース兩河の間に位し、千八百六十
一年土耳其より分離し八十一年王國となれり、河の大なるものをアルタ
及びセレスとし、都府の大なるをブカレスト(首府廿三萬)ジャツシー及
ヒガラツツ等とす、輸出の主要なるものは穀物なり

(六〇)ブルガリアの形勢は如何

此國は千八百七十八年ベルリン條約に由りて侯國を組成せし土耳其の分
離國なり、首府をソフィア(二萬)といひ、國民(三百萬)は農牧を務む、
宗教は希臘教なれども土耳其人(人口の三割)は回教を奉す

(六一)東ルーマニアの形勢を問ふ

又ベルリン條約によりて建設せし人口百萬に充たさる一小國なり、首府
をフィリツポポリス(三萬五千)といひ、住民は農業に従事す

(六二)土耳其の形勢は如何 (六三)土耳其の宗教は如何

十七世紀に於てはバルカン半島匈牙利の全部トランシルバニア、モルダ
ビア及び黒海の全海岸を包有せる強盛なる一帝國なりしが、千六百七十
六年以來次第に衰微し、今は僅にアドリアチツツ海と黒海との間に狭少
なる土地を有するのみ、人口五百萬概ね土耳其人にして回教を奉す

(六四)土耳其の都府を擧げよ (六五)土都の風景如何

首府コンスタンチノーブル(九十萬)は世界大都府の一にしてマルモラ海

と金角港との間なる絶景の半島上に在り、其の地黒海と地中海との航路及び歐亞二洲の大徑路の交叉する所なるを以て商業上重要な地位を占む、街衢は多く狹陋不潔なれども外観實に美を極む、之れに次く都府をアドリアノーブル及びサラロニカとし、其他ガリポリ、セレス、マウントアンス、カサンリク、カンチア等あり

(六六) 希臘の形勢は如何 (六七) 世界の文學技藝の母たりしは何國なるや

希臘は往昔世界に先つて文明の域に進み、文學は世上肩を比ふるものなく技術工藝の母と稱せられしか、其の後土耳其の滅す所となり永く其の版圖に屬したり、然れども今世紀に至り千八百二十一年九年間の戦争を経終に千八百三十年其の獨立を布告し、英佛魯三國保護の下に立つこととなり、爾後六十三年には英國之れにアイオニアン諸島を與へ、八十一年には諸強國の力を藉りてテッサリーの過半及びエピラスの一部を土

耳其より奪へり、全面積二萬五千方哩人口二百萬あり、現時陸軍二萬六千餘人、海軍三千三百餘人軍艦二十一艘あり

(六八) 希臘の産業を問ふ

産業の主要なるものを農業及び航業とし盛に乾葡萄を輸出す、航業は此國數千年來の經驗によるものにして八十艘の汽船三千餘の帆船六千許の小船(合計二萬千五百四十一噸)を有し、鐵道六百一哩を有せり

(六九) 希臘の都府を擧げよ

首府アゼンスの外ピアリス、パトラス、ヘルモポリス等は國中の大都府にして、今や漸く繁盛に赴かんとするものコーフ、ザンテ、ラリツサ等あり

(3) 日耳曼 (文久二年十二月條約締結)

(七〇) 日耳曼の形勢及び境界を記せ

日耳曼は歐洲の中央バルチック海と瑞西山脈との間に位し、諸大國間の

平和を保持する重要なる一大帝國（單に日耳曼と汎稱するときは澳地利をも含む）にして、面積二十一萬二千方哩（日本の一倍半）内に四王國六大公國五公國七侯國及び三自由市府を含む、東南は魯西亞ホヘミヤ塊地利及び瑞西に界し、西北は佛蘭西白耳義和蘭丁抹に接し又バルチック海に臨む

(七) 商業上の地位は如何

獨逸は諸大地と境を接し鐵道の便によりて自由に陸上貿易をなすことを得るのみならず、バルチック海に面してバルチック諸國と往來し、獨逸洋に濱して英米諸國と交通すること自在なり

(七) 地勢及び海岸の有様如何

下日耳曼(北)の地は歐洲大平原の地に屬し、上日耳曼(南)は山地高原多く又處々に低地ありて河川徐に之に流る、又バルチックの海岸は一般に低平に、北海の沿岸は堤防及びホルターを有し特に平坦にして豊饒なり

(七) 河流の主なるものを擧げよ

河流の大なるものをヴァイスチユラ、オーデル、エルベ、ラインとし、之れに次くものをエムス、ウエーセル、プレゲル、ニーメン等とす

(七) 氣候及び植物は如何

寒暑の差東より西に進み北より南に至るに従つて甚しきを加ふ、濕氣は北より南に至るに従つて減少す、地味概して肥沃ならず耕作に堪ふる地は全面積の半に過ぎず、他は皆牧畜地及び森林地なり

(七) 産業及び産物を問ふ (七) 獨逸の礦物は如何

産業の主なるものを農業(牧畜も)とし裸麥の産出を特に多しとす、工業の主なるものは鐵及び鋼鐵業にして歐洲中英國に次くものなり、之れに次くを織物業とす、エルツゲベルヒ山は鉛錫銀及び銅を産す、サクソンニのケムニッツ炭田は國中第一なり、普領シレシヤのリーゼンケブルヒ山麓は石炭鐵及び亞鉛を産し、ブレ斯拉ウは製造盛なり、ハルツ地方は

各種の礦物を産し石炭及び鐵は無限の有様なり

(七七)海港及び交通の便如何

ハンブルグ、ブレメン、ダンチッヒ及びルーベックは此國の大港なり、鐵道線路の延長は二萬七千哩に達しドレスデン、フランクフルト及びコロンの地は最も錯綜せり、電線路の延長又凡そ五萬七千哩郵信の數十三萬に上るといふ、此他河川の舟航すべきあり運河又千五百哩に達し、碎石道路の如き殆んど七萬哩あり、商船の數三千六百三十五艘なり

(七八)主なる邦國及び都府 (各括弧内のものを其の首府の名とす)

此國を組織する主要なる邦國は普魯士(ベルリン)巴威里(ミューニッヒ)サクソン(ドレスデン)ウルテンベルヒ(スタットガート)の四王國、アルサスロルレーン帝領(ストラスブルグ)、バーデン(カルスルー)ヘッスダルムルタット(ダルムスタット)メクレンブルヒスウェリン(スウェリン)サクスワイマル(ワイマル)メクレンブルヒストレリッツ(ストレリッツ)オルデ

ンブルヒ(オルデンプルヒ)の六大公國等なり、都府の十萬以上の人口を有するもの二十六(内十三は普魯西にあり)以下五萬に至るもの又廿七あり

(七九)政体及び陸海軍は如何 (八〇)陸軍の強盛なる世界第一位

に居るは何國なるや

政体は立憲帝政にして世界中最も我が國に類似するものなり、而して日耳曼帝は普魯士王(現王はウイルヘルム二世)にして宣戰講和の權を有し(陸軍大元帥)陸軍々人四十九萬千九百五十五人(常備は五萬)戰時に在つては二百五十萬乃至六百萬の精兵を得へく、世界第一の稱あり、海軍々人一萬八千餘軍艦七十七艘(甲鐵艦十四艘)を有す、議會に二種あり一を聯邦議會とし一を帝國議會とす、前者は各州撰出の議員を以て組織し、後者は人民より撰出せる議員を以て組織す

(八一)住民宗教及び教育は如何 (八二)世界第一の教育國とは何

れなるや

全國を平均して一方哩の人口二百二十六人(サクソンは五百四十三人)總計四千八百萬の中六分強はルーテル派(新教)に屬し他は舊教を奉ず、國民の性正直勇敢皆勤勉にして愛國の情に富めり、教育は強迫主義を持し北部の如きは讀書に不能なるも百分の一に至らず、大學校の數合せて二十一皆盛大を極む、蓋し世界第一の教育國なり

(八三) 殖民地を擧げよ

亞非利加の東岸に十萬方哩の殖民地を有し、尙ほ其の西岸及び西南岸に領地の擴張を務む、又ニユーギニアの北方に七萬方哩あり、太平洋中のピスマーシク群島又其の版圖に入れり

(八四) 普魯士王國の形勢は如何

世界第一の陸軍國なる普魯士は又日耳曼第一の強國と稱せられ面積日耳曼の三分二を占め人口又其の五分三(二千萬)を有す、域内を東西普魯士、

シレシヤ、ブランデンブルヒ、サクソニー、來因普魯士、ヘッスナッツウ等の十二に分ち、住民の多數(百分の七十五)は農業に従事し他は商工礦業に務め、皆勤勉忍耐の稱あり

(八五) 普魯士の都府及び海港を問ふ

國の首府ベルリン(百五十萬)は又帝國の首府にして、荒漠なる砂原中に立てりと雖も商業上の要地にして各方の鐵道皆此に集り、製造業亦盛なり、其の他都府の主要なるものはブレスラウ、コロン、フランクフォート、ユニッスベルヒ、ハノーヴァエル及びツツセルドルフ等にして、海港の主要なるものはステツチン及びダンチツヒ等なり

(八六) 巴威里王國の形勢は如何

廣袤及び人口(五百五十萬)に於ては日耳曼中第二位に居れども、雜草森林等の茂生せる高原多く、北部メーン河の流域に屬する地及び其の他の土地を合せて全積の一半に達する耕地を有するのみ、然れども住民の大

半は農業に従事し他は皆製造業礦業に従事し、鐵道三千三百哩を有せり、都府の主要なるものはミューニッヒ、ニューレンベルヒ、アウグスブルヒ、ウルツベルヒ等なり

(八七) サクソン王國の形勢を問ふ (八八) 獨逸中人口最も稠密なるは何洲なるや

エルツゲビルゲ山の北向斜面に位する小國(第三位)なれども、人口(三百廿五萬)の稠密五百四十三人の割合なるは獨逸中第一に位す、此の國は工業最も盛(人口の三分二)にして農業礦業(主に銀)飼羊業等之に次く、都府の大なるものをドレスデン(首府)ライプチツヒ及びケムニツツとす

(八九) ウルデンベルヒ國の形勢を述へよ

ラウヒアルプス嶮山の兩側に位する小國にして、南はダニユーブ河北はチツカア河の流域に屬し、穀田果圃頗る多く面積の五分三は耕地に適し、住民(二百萬)は農業を主とす、都府の主要なるものをスマットガー

ト(首府)及びウルムとす

(4) 澳地利匈牙利 (明治四年十二月條約締結)

(九〇) 地勢及び境界を問ふ

澳地利匈牙利は山川陵谷高原平野等錯雜せる歐洲第三位の大國(二十四萬一千方哩日本の一・六倍)にして、獨逸マギヤー伊太利スラボニア等の諸國民より成り、國語の數二十種に及び貨幣六種を用ゐ、公國大公國王國及び侯國の集合なり、東南は魯西亞ルーマニア、セルビア、モンテネグロに界し又アドリアチツク海に臨み、西北は伊太利瑞西日耳曼及び魯西亞に接す、海岸は甚だ短く殊にマルマシア海岸は嶄巖峭立商業上の價值なく、唯イストリスにはトリエストなる海港あり

(九二) 山岳高原及び平原を擧げよ

此國は瑞西に次で歐洲中山多き國なり、即ち國の四分三は山地にしてアルプス山の一半は殆んど全域に蟠幅す、北にはアルプス、小カルパシアン

兩山脈を連接する山脈あり、南にジュアンアルプス山脈あり、西北のボヘミア高原はボヘミアンフォレスト、エルツ山、リーゼン山、及びモラビアンフォレストの爲めに圍まれ、東方ダニュープの沃野はトランシルバニアアンアルプスに連亘するカルパシアン大山脈に繞らる、平原の肥沃なるものをツルネル、維也納、小匈牙利及び大匈牙利の四平原とす

(九二) 河流及び湖水を擧げよ

ダニュープ河(千七百五十哩)はパツツウより此國に入り、域内を流るること八百四十六哩なり、之れに次くものをコースター、ヴァイスチユラ、エルベ及びアダヂシの諸川とす、湖水の最大なるものはバートンにして、之れに亞くはノイシードレル湖(夏時は乾涸す)とす

(九三) 氣候及び農業は如何

南部海岸の地は温暖なれども東北部は寒氣強く中間は中歐の氣候にして葡萄小麥等に適す、耕地は土地の三分一にして人口(四千萬)の十分六は

農業に従事す

(九四) 礦産の種類及び所在を問ふ (九五) 歐洲第一の金山の所在を

問ふ

諸礦物の多きこと獨逸に異ならず、ボヘミアのエルツ山は銀鉛鐵及び石炭を産し、トランシルバニアは歐洲第一の金山にして、水銀はカルニオラのアイドリアに産し、ウイールシカ、サルツブルグは鹽(此國第一の産物)を産す

(九六) 製造業商業及び交通は如何

製造業は獨逸語を用ふるボヘミア、モラビア、シレシヤ、スチリア地方に於て最も發達し、匈牙利に至れば甚だ少く、タルマシヤに至りては皆無の姿なり、商業は陸地的内國貿易を盛なりとす、鐵道の長さ一萬六千七百餘里、電線路四萬餘哩あり

(九七) 區劃及び都府を示せ

(九八) 維也納府の光景如何

此國區劃甚た多しと雖も、其の重要なるものを上下澳地利、サルツブルグ、チロル、ボヘミヤ、モラビヤ、シレシヤ、ガリシヤ、タルマシヤ、匈牙利等とす、維也納(百萬)は埃地利にあり、國中の首府にして又世界大都府の一に數へらる、府はダニユーブ河に臨み絹天鷲絨磁器の製造盛なり、府の中央にセントステブンスの大寺ありて四百五十三呎の高塔を峙つ、又世界有名の醫學校あり大學校あり、之れに次く都府をペツス(五十萬) プラীগ、トクエスト(海港) レムベルグ、グラーツ等とす

(九) 政体及び陸海軍の概況如何

埃地利は一帝國にして匈牙利は一王國なり、共に議會及び行政部を有す、而して埃地利帝は常に匈牙利王にして即位の際は必ず其の舊都プレツスブルグに往く、然れども軍事及び外交上には二國別異なきなり、陸軍は平時凡そ三十二萬を備へ戰時は二百萬を得へく、海軍は軍艦四十五艘内甲鐵艦あり、トリエストは兵器製造場にしてボラは重要な軍港なり

(5) 瑞 西

(一〇〇) 瑞西の形勢及び我が國と條約を締結せし年月は如何

此國は歐洲の中央に在る小共和國(面積十六萬方哩)にして、三分二は高山三分一は高原より成り、軍事上よりすれば自然の一城寨にして又高尚美麗なる天景を有せる國土なり、其の地東北は埃地利及び獨逸に接し、西南は佛蘭西及び伊太利に界す、慶應元年五月我が國と條約を結へり

(一〇一) 山嶽及び高原を擧げよ

此國の高原地は平均千三百呎に達し處々に絶景の丘陵を有す、大陸最大の貯水所なるアルプス山は即ち此高原より起るものなり、ペンナインアルプスは上ローン河谷の南を走り、レボンチナルプス其の東に横りてライン、ローン及びポー河の分水界を爲し、ベルニースアルプスはアル河及び上ローン河の分水界を爲す、國中の最高峰はマッテルホーンにして高さ一萬五千呎に達す

(一〇三) 河流及び湖水を擧げよ

河流はライン、ローン、ボア及びダニューブの上流及びアール河のあるのみにして、自國の川流と稱すべきものなく、湖水は數多きと深く且大なる絶景なることによりて其の名全歐に著し、而して其の最大なるをゼネバ、コンスタンス、ニユーシヤテル、マジヨール、リューセルン及びツリーツヒ等とす

(一〇四) 氣候及び農業は如何

高山は四時白雪を戴き降下するに從て次第に温度を加ふ、而して全土(六百萬エークル)の二分一は不生産地にして其の他尙ほ岩石地及び森林地あり、耕地は百五十萬エークルに及ばず、然れども其の耕耘に適する地は極めて豊饒なり

(一〇五) 産業は如何

此國は土瀝青及び少許の鐵の外殆んど礦物なく、石炭の如きは皆無に屬

し、穀物の産出も亦國民の需用に給らず、富は唯森林及び牧場より成れり、然れども西及び北方に於ては水力を利用して専ら製造業に従事し爲に國の殷富を爲す、其の最も盛なるは絹(ツリーツヒ及びパール)及び木綿(グラルーフ、ツリーツヒ及びセントゴール)とし、時計(ニユーシヤテル地方)及び寶石細工之れに次ぐ、商業又地勢に關せず甚だ盛なり

(一〇六) 交通及び都府は如何

此國道路能く備りアルプス山を超ゆる大道は世界の奇觀なり、鐵道の延長殆んど二千哩面積に比すれば實に世界第一なり、電信線路四千五百哩書信亦年々一億通に達す、都府の大なるものをゼネバ、バーン、ベルン(首府)ローゼン、ツリーツヒ、シヨードフォンツ及びセントゴールとす

(一〇七) 人口政体及び軍事は如何

人口凡そ三百萬(一方哩二百人)國會は上下兩院制にして共に民撰に係る、陸軍は男子廿二歳より卅二歳の間にて之れに服し、戦時は其の數

二十二萬を得へし、此國海軍の設なし

(二〇七) 宗教及び教育は如何

國民の六分餘は新教を奉し他は舊教を奉す、各郡各々小學教師養成の爲に師範學校を有し、又四個の大學校を有せり、ツリーツヒ大學は歐洲中完備せるもの一たり

(6) 伊 太 利

(二〇八) 伊太利の形勢及び條約締結の年月を問ふ

伊太利は氣候温和天氣清朝に、又明媚の風景を具へたる狹長の半島國にして、詩歌音樂美術建築の精巧を以て宇内に鳴り、世界第一の畫工及び詩人を出し、世界の技術家は皆此國に心酔せり、北は佛蘭西瑞西及び澳地利に接し、東はアドリアチック海に面し、南西は地中海に臨む、アルプス山より來るアペニン山脈國の脊梁をなせとも、沿海の地及びポー河の流域は平坦にして海岸線極めて長く良港從つて多し、北境のアルスプ山

には三大隧道(モンセニ、セントゴタード、アルベルグ)を通し、海陸貿易の良位を占む、慶應三年九月我が國と條約を締結せり

(二〇九) 形狀廣袤及び山岳を問ふ

國の形は長靴の如し、チリユカ岬は其の踵にして、スパルチヴェント岬は其の趾、タラント灣は其の跗なり、南北七百哩幅平均百哩サルチニア、シ、リー二島を合せて面積十一萬六千二百二方哩あり、アペニン連山中の高峯をモンテコルノといひ、高さ九千五百四十五呎あり、火山ヴェスヴィアス、リパリ諸島及びエトナは全歐に有名なり

(二一〇) 河流湖水は如何

大河唯一あるのみポー河是なり、その他アルノ、タイバア等は歴史上有名なれども灌溉舟楫の用をなさず、アヂシエ河は略は澳地利に在り、湖水の主要なるものはダーダ、マシヨール、コモ等にして、其の水皆ポー河に注ぐ

(二二) 氣候及び農業は如何
 氣候は概して温暖に地味概して豊饒なり、全土の百分の九十八は植物の生育に適し、ポー河の流域なるロンバルデー地方は世界に於て豊饒なる地方の一なり、海岸及び島嶼に於ては半熱帯植物を生ず、産業の主たるものは農業にして、穀物、葡萄酒及び油は主要の産物なり、養蠶は北方の地に盛にして絹を産すること夥しく、大麻亞麻の製産亦多量なり、此國の氣候は年中麻布を着するに適せり、北方の地は又牧場多く乾酪の製造盛なり

(二三) 礦産及び製造業は如何 (二四) 伊太利の礦産物中最著名の

ものは何なるや

此國真正の石炭を産せされども堅硬炭を産する所あり、重要なる礦物は鐵にしてエルバに大礦山あり、銅はマスカーニに産し鉛はサルジニアに出づ、而して富の主たるものはシ、リーに産する硫黄なり、カーララ(此

地の産は純白にして肖像用として宇内に冠たり) マッサ等より大理石を産す、工業の主要なるものは毛布、木綿、鑄鐵、土器等なれども概するに其の規模小なり

(二四) 都府及び海港を記せ (二五) 美術の本土とは何國なるや

首府羅馬(廿八萬)は國中第三の都會なれども、往時羅馬大帝國の首都にして美術の本土と稱せらる、繪畫、彫刻、建築等各種技藝の模範を有すること世界無雙なり、其のコリシアム、セントピーター寺及びヴァチカン宮を三大建築物と稱す、その他ネーブルス、ミラン、チューリン、パライモ、ゼノア、フロレンス、ベニス、ボローニヤ等皆有名の大都會にしてゼノア、レグホーン、アンコナ、スペツチヤ(海軍造兵所あり) プリンヂシ、オスチア等は主要なる海港なり

(二六) 交通及び運河は如何

鐵道は一萬三千キロメートル餘(一キロメートルは我か九丁八間四尺餘)

電線路は三萬六千キロメートル餘あり、ロンバルデーの運河は主として灌漑の用に供すれども、チアナ運河はアルノ及びタイバア河を連絡し、ベニス府の運河は其の數二百五十に達せり

(二七) 住民及び政治は如何 (二八) 殖民地の有無如何

人口三千萬 (一方哩三百六十人) 歐洲諸大國中最も稠密なるものなり、而して國民皆其の本國を愛し嘗て移住するものなく隨て一の殖民地なし、唯南米ブエノスアイルスに少許の伊太利人あり

(二九) 政体及び軍事は如何

政体は立憲王國にして議會は上下兩院より成り、現王をウムベルト一世といふ、大臣ありて國政を總攬す、陸軍は二十七萬六千餘あり、戦時は百萬を得へく、海軍又頗る強大にして二萬の軍人六十九艘の軍艦を有せり、其中甲鐵艦十艘(丙二艘は世界最大)なり

(三〇) 宗教及び教育は如何

宗教は自由なれども主に舊教を奉ず、教育は未だ普及せず讀書を能くするもの殆んど六割二分なりといふ、然れども方今小學校の數六萬専門學校四百餘大學校七校あり

(7) 西班牙

(三一) 形勢の略述及び條約締結の年月如何

西班牙は歐洲の西南アイベリア半島の大部分を占め、西南は葡萄牙を包み、東北はピレニースの大山脈を以て大陸と劃り、東南は地中海に面し、西北は大西洋に臨めり、昔時は最強大の一國なりしか今は世界最弱國の一となりたり、其の地降雨頗る多きも熱風の流通甚しきを以て殆んど砂漠の如く、頗る大なる河あり又小なる河あり、温帶の植物あり又熱帶の植物あり、住民千七百萬亦最も勤勉なるものと頗る懶惰なるものとあり、其の面積十九萬一千方哩バリアック諸島カナリー諸島及び北亞米利加に於ける一領地を合すれば凡そ十九萬八千方哩、海岸線は面積七十二方哩

に一哩の割合なり、明治三年三月我邦と條約を締結す

(二三) 土地及び山河の景況如何

地勢一般に高く唯、西南部に平地あり、又エブロー河の近傍及び東部海岸に一帶の平地ありて豊饒なりと雖も中央部は瘠地多し、山の主要なるものは北境のピレニース及び之れと連れるカンタブリアン南方のシーラネバダとす、又中央山脈の主要なるものをシーラデガダラマ、シーラデトレド及びシーラモレナ等とす、河の大なるもの五ありエブロー(地中海に注ぐ) ドーロ、テーガス、カデアナ及びガダルキバー(以上大西洋)是なり、その他ミンホー(大西洋)セグラ(地中海)及びズガー(全上)等の小流あり、湖水の重要なるもの東岸に五あり、其の最大なるものをヴァレンシナといふ、明治三年三月我國と條約を結べり

(二三) 海岸及び岬港は如何

海岸線の長さ葡萄牙を併せて約二千三百哩(九十八方哩に一哩の割合)北

方にオルテガル岬、西方にフィニステル、ローカ、セントヒント岬、南方にタリファ岬東岸にガダ、パロス及びマルチン岬あり、南端のジブラルタル海峡は地中海の要衝にして今は英國の所管に屬す、港の主港なるものはバルセロナ、マラガ、カヂス、及パレンシアとす、コルナ、カルセジナ、バルセロナ及びフェロルには海軍造兵所あり

(二四) 氣候及び産業は如何

東南部の氣候は四時春の如く、中央の高原は寒暑共に甚しく、西南は稍、熱帯の氣候を帶ふ、人民の七割三分は農業に従事すれども耕地は面積の半に至らず、メリノ地方は飼羊の頭數凡そ六百萬あり、漁業は頗る盛なれども製造及び商業は微々振はす

(二五) 都府及び交通は如何

首府マドリッド(五十萬)はテーガス河の一支マンザナレス河に跨り、二千四百呎の高處(歐洲諸都府中最高)に在り、之に次くものをバルセロナ

パレンシナ、ヒヴイル、マラガ、マルシヤ、ザラゴザ、グラナダ等とす、
鐵道の延長七千餘哩電信線路一萬五百餘哩あり

(二六) 政体及び風俗は如何

政体を立憲王國とす、現王はシリスタチナなり、陸軍は常備十八萬(中二
萬三千はキユヅア屯在)にして戦時は八十七萬人を得へく、海軍は一萬七
千餘の軍人と甲鐵艦(六艘)螺旋艦螺旋砲艦等六十六艘より成る

國俗或は勤勉剛毅清廉節儉なるものあり(カタロニア人)或は懶惰愚鈍に
して睡眠を貪るものあり(マルシヤ人)勤勉活潑敏捷なるものあり(パレ
ンシア人)頑固執拗のものあり(アラゴン人)又温和能辯にして風采愛す
へきもの(アンダルシヤ人)あるも歌舞を好み、懶惰貧困にして進取の
氣象に乏し、古來鬪牛なるもの各地に行はれ人心をして殘酷に傾かしむ

(二七) 宗教及び教育は如何

國教は舊教なり(新教八千人あり)中小學とも不完全に、大學校十あれど

もまた振はす

(二八) 殖民地を擧げよ

往時は大領地を有したれども、今は面積四十三萬餘哩、人口約千萬を有
するのみ、即ち亞米利加のキユバ、ポルト、リコ、亞細亞のフィリッピ
ン諸島スールー諸島カロリン諸島パラオス、マリアン諸島、亞非利加の
リオ、デ、オロ、アオラル、イフニ(ナン岬近傍)フェルナンドポ、アンノ
ボン、コリスコ、エロペー、サンデユアン是なり

(8) 葡萄牙

(二九) 葡萄牙の形勢を略記せよ

葡萄牙は西班牙の西南大西洋に瀕する一小王國なり、嘗て世界の大探檢
國なりしか今は儉安満足の國となれり、面積はアゾーア及びマデーラの
諸島を合して三萬四千方哩人口凡そ五百萬あり、海岸及び西南部の平地
を除けば全國皆山谷の如き土地なれども、概して耕作に適せざる所なく

玉蜀黍及び葡萄酒の産出夥し、山岳の主要なるものはシエラ、デエスツレラ及びトレドの西部にして、河流はモンテゴ河を第一とす、此河沿岸の地は風光絶佳にして所々に瀑布あり、氣候は四時温暖にして均一に、三月及び九月後に(二度)の春ありて草木芽を發し花を開く

(三〇)部府及び交通は如何

首府リスボン(二十五萬)はテージガス河に跨り外觀は頗る宏麗なれども内
部は狭小陋穢なり、之れに次くものはオポルト、ブラガ、フンシヤン等
なり、鐵道の延長千二百哩電信線路三千二百哩商船七萬八千噸あり

(三一)政治及び陸海軍は如何

立憲王國にして現王はカールス一世なり、議會は上下兩院を有す、常備
兵は僅に一萬八千に過ぎざれども戰時は十二萬を出すを得、海軍は三十
二の漁船(甲鐵艦一艘)より成り軍人三千餘を蓄ふ

(三二)宗教及び人種は如何

宗教は自由なれども國人重に舊教を奉す、人種は主として南北種の混合
なれども、又幾分か亞刺比亞人、バアバア人及び黒人の血統を含有せ
り、國俗丁寧親切にして歌舞を好み、西班牙人を忌むこと甚しく体軀短
少にして肥滿せり、又農夫は勤勉節儉なりとす

(三三)殖民領地及び我國と條約を結ひし年月を擧げよ

亞非利加のケープヴオールド諸島プリンス及びセントトーマス島アヂユ
ダ、アンゴラ、アムブリス、ベンゲラ、モツサメデス、コンゴ、ギニ
ー、亞細亞のゴアダマオ、ヂン、印甸群島、澳門等面積四十萬二千六十
六方哩人口三百五十九萬あり、文久二年三月我邦と條約を結べり

(9)佛蘭西

(三四)佛蘭西の位置境界廣袤及び我國と條約を締結せる年月如何

佛蘭西は歐洲六大強國の一にして世界最富の一に居り北緯の正中に位
す、北は白耳義及び英吉利海峽ドーヴァー海峽に臨み、東は日耳曼瑞西

伊太利に界し、西南は太西洋地中海及び西班牙に接し面積三十萬四千餘方哩(日本の一倍半)あり、安政六年八月我邦と條約を結へり

(二三)地勢及び山嶽を擧げよ

東南部は一般に山多く其の他は概して平坦なり、山嶽の國境をなすものはアルデン、ポージ、ジエラ、アルプス及びピレニースにして中央山脈の主なるものをセバーン(オーベルン高原)とす

(二四)海岸及び島嶼を問ふ

海岸は概して低平にして二千哩に及ふ、岬灣島嶼の主要なるものを擧ぐれば地中海の側に於てリオン灣、グリーンネー、バーフローア、ラボーグ、ポアンサンマツチウ諸岬、エール島、コルシカ島(ナポレオンの生地アジヤシオあり)太西洋岸に於てビスケー灣、ウシアン、ベルイール、リー、オレロンの諸島なり

(二五)川流及び湖水を問ふ

此國川流甚た多く舟航し得へきもの殆んど百に達す、其の最も主要なるものをセーン(四百八十二哩)ロアル(六百九哩)ガローン(デロンド河とも六百十六哩)ローン(ツーン河とも六百二十七哩)等とす湖水甚た少く地中海岸に數小湖あるのみ

(二六)氣候及び農産を問ふ (二七)世界第一の葡萄酒釀造國は何

れなるや

南部は暑氣頗る強けれども、暖帶の中位を占むるを以て氣候極めて秀美に地味又豊饒にして最も果穀に適せり、殊に葡萄國は全地の廿分の一に達し、葡萄酒の釀造世界第一と稱す

(二八)礦物及び製造業は如何

鐵及び石炭を産し毎年八百萬噸の石炭を以て二百五十萬噸の鐵器を製出す、裝飾品及び寶石細工等の美術品に至りては世界に冠たり、又織物職工二百萬を使用し毛氈フランネル及びレース等一年の製造高一億九千二

百萬磅に上る、里昂は絹織物を以て有名なり、其の他毛織物、木綿、麻布等の製造各地に盛なり

(二四)商業及び交通は如何 (二五)海港の主要なるものを問ふ

鐵道三萬三千キロメートル 電信線路八萬八千キロメートル 車道三十三萬哩 河道五千哩 運河三千餘哩ありて商業甚だ盛大なり、海港の主なるものはマルセイユ、ポルドー、ナント、ハブル等にして、内地貿易は又外國貿易より盛大なり

(二六)都府を列擧せよ (二七)巴里の有様は如何

首府巴里(二百五十萬)はセーン河に跨り、最も宏麗なる市府にして歐洲第一の都會なり、周圍は二十二哩の間、堡砦相連り中央にノートルダム大寺巍峩として聳ゆ、之に次くものは里昂、マルセイユ、ポルドー、ルー、ツール、ナント、サンエチン等とす

(二八)住民及び宗教教育は如何

人口三千八百萬(一方哩百八十七人)古來輕浮の稱あり、成功に當て勇敢なれども挫折も亦容易なり、然れども文明都雅、思想言語は高尚明晰に、嗜好優美、辯舌流暢にして世の文學技術の發達を助けたること佛人の如きは殆んど稀なり、又労働者殊に小農夫は勤儉の風あり、國民の大半は舊教を奉し、五十萬人は新教を奉せり、教育は獨逸の盛大に對して現今大に進歩せり

(二九)政治及び區劃は如何

此國は共和政治にして上下兩院の設あり、大統領行政を掌る、千七百八十九年の革命以前は三十四州に分れしが、九十年に至て八十六州(コルシカ入る)となり、千八百六十年に至りてナイス及びサポイを得て八十八州となり、七十年七十一年の戦争によりてアルサス、ロルレーンを失ひ其の數八十七州となれり

(三〇)殖民領地を記せ

亞細亞に於ては佛領印度交趾支那、東京、亞非利加に於てはアルゼリア、
 セネガル及び其の屬地、カブーン及びゴルルドコースト、コンゴ地方
 レウニオン島、メーヨット諸島、ノツシ、ベ島、セントマリエ、オボツク、
 亞米利加に於てはカエーン、グアーニロープ及び其の屬地、マルチニ
 シ、セントピエール及ミケロン、南洋に於てはニューカレドニア、マルチ
 サス諸島、タピチ及びモレア、ラ、チー、ツアアイ及びライヴァリー、タ
 ウモツ及びガムビール諸島、ワリス諸島等面積殆んど八十萬方哩人口二
 千萬に及ぶ、又保護國あり亞非利加のチュニス、マダガスカル、コモロ
 諸島、亞細亞のカムチア、安南等即ち是なり

(10) 白耳義

(一四) 白耳義の形勢及び條約の年月は如何

白耳義は佛蘭西普魯士及び和蘭の間に介りて北海に臨みたる三角形の小
 國(一萬千二百七十三方哩)なり、然れども歐洲中人口最も稠密に(一方哩

五百三十五人合計六百萬)農工商業共に盛大なる所にして千八百三十年
 和蘭より分離せしものなり、その地東南はアルデーヌ高原あるを以て稍
 高(二千呎)しと雖も西北に向て漸下し、海邊に至りては四五十呎の堤防
 を築きて海水の侵入を防ぐ、河流は山地を流るゝミューズ河平野を流る
 ゝシエルト河を主要とす、氣候は寒暑共に稍強く地味肥沃にして無用
 の地は十分一に至らず、我邦と條約を結ひしは慶應三年八月なり

(一四) 製造及び産業は如何 (一四九) 英國に次ぐ石炭産國は何れ

(一五〇) 世界第一の農業國は何れなるや

農業は世界第一にして穀物の年額一千百萬磅に上り國民の需要を充たし
 て尙餘あり、又毎年七百五十萬磅の鶏卵を英國に輸出す、石炭はハイノー
 ルト、ナムール、リージュ地方に生し英國に亞ぐ産額あり、其の三分一は佛
 國に販賣す、石炭に次ぐものを鐵亞鉛大理石(ヂャント黑色大理石)等と
 す、斯く石炭の供給多きを以て製造業甚だ盛にして木綿絹布麻布毛布鐵

器等の産出夥し、商船は五十六艘のみなれども英船を以て商業を行ひ鐵道皆巴里に集るを以て佛國との貿易最も盛なり

(二五)交通は如何

鐵道は國內に縱横し殆んど三千哩に達し賃錢極めて低廉に、列車は之れを聯ぬるときは殆んど二百哩に及ぶといふ、電信線路四千餘哩郵便は一年一人に付十五信の割合に上る、河道又千哩(二分一は運河)に達し一年々五十萬噸の物品を運漕す、其の他の道路亦極めて善良なり

(二五)都府を列記せよ

首府ブルッセル(四十八萬)は國の中央に在り、府廳は世界最美の建築の一に居り小巴里と稱せらる、此國は大都府より成る國と稱せらるゝ丈ありてアントワープ、ゲント、リージュ等最も大に、其他ブルージ、メシリン、ルーベレン、トリルチー、ナムール、オステント(海港)等の小都府甚た多し

(二五)政体及び陸軍は如何

國王及び上下兩院を以て政府を組織す、現王はリオポルド二世なり、常備兵殆んど五萬人戰時は十萬を得へく、海軍及び軍艦の備なし

(二五)宗教及び教育は如何

宗教は自由にして多くは舊教を奉ず、大學四あり中小學も頗る完備せり

(11)和蘭

(二五)和蘭の形勢及風俗を問ふ (二五)我邦と條約の年月は如何

和蘭は白耳義獨逸の間に挟り、歐洲大平野の最低部に位し、西北は一帶北海に面し海岸は最も高く且つ大なる堤坊を以て海水を防ぐ、又ライオン河口に立つを以てマース、シエルトの二河及び千六百九艘の商船を以て内外の貿易に従事し商業最も旺盛の國なり、其の他風力蒸氣力を以て湖底を美土に變し或は海底より新陸地を作り(千八百十五年ウオータール戦争以來殆んど十四萬三千エーカー即ち國土の半を得たり)或は艦隊を

派して各方に殖民地(本國の三十四倍人口六倍)を設く、國俗皆堅忍にして果敢又甚た古奇を好むの風あり、王及び人民の過半は新教を奉し他は皆舊教なり、教育亦能く普及せり、安政七年二月我が國と條約を結へり

(二五七)海岸及び島嶼を擧げよ

灣の主要なるものはザイダルジ(ヘルタル海峽の内)、ローウルジ、ドルラントにして、島嶼の著名なるものはワオルヘレンなり、又群島中最も大なるものをテキセル、及びアルシエリングとす

(二五八)氣候及び産業は如何

氣候は概して温暖なれども、東方は寒氣強く溝渠悉く堅氷を結ふ、土地概して肥沃なれども濕氣多く、耕地は僅に全土の三割に過ぎず、他の二割は澤地を以て蔽はれ其餘は牧草地(牛酪乾酪を産す)たり、漁業は國の一富源にして殆んど一萬人は之れに従事す、石炭の産出甚た少く、粘土は陶器製造に供せられ、其の他の製造業は主として風力を用ひ甚た盛なりと謂ふ可らず

(二五九)都府を記せ

首府はアムステルダム(人口四十二萬)なれども國王の即位式を擧ぐるに留り、宮殿政府及び裁判所はヘーグ(十六萬)に在り、其の他ロツトルダム(廿一萬)ウートレット(八萬)ハーレム、レイデン、ドルト、デルフト等の都府あり

(二六〇)政府及び陸海軍は如何

王及び兩院の議會を以て政府を組織す、陸軍は常備二萬八千餘戰時は五萬の兵士を得へく、海軍は頗る強大にして一萬千五百餘の軍人と戰艦五十五艘(甲艦十九内六艘非常に大なり)あり

(二六一)人口及び殖民領地を記せ

全國の人口は四百萬(一方哩三百五十八)なれども、其の屬領東印度(亞細亞)西印度(亞米利加)等の地は面積七十六萬六千餘方哩人口三千萬を

有せり

(12) 丁抹

(一六三) 丁抹の形勢如何

丁抹は北海とバルチック海との間に突出せる歐洲唯一の北出半島(ジエ
 ットランドと稱す)とジールランド、フーチン、ラーランド、ボーンホル
 ム等との諸島嶼より成り、人口少く(二百萬一方哩百四十五人)貧弱なる
 一小國(一萬四千餘方哩)なり、海岸所々にフィオールドと稱する長さ入江
 (最長なるものをリムフィオールドとす)ありて海岸線の延長五千哩に達す、
 内地は一般に低く所々に凸凹あり、其の最も高さ所をヒンメルビールグ
 (唯五百呎)とす土地狭さを以て河流の長大なるものなく、唯グデナー河
 (九十哩)を最も主要とす、湖沼の小なるもの各地に多し

(一六四) 氣候及び産業を問ふ (一六五) 歐洲中人口の割合に農産物の
 夥多なるは何國なるや

氣候寒冷にして濕氣多く、東方及び島嶼の地は肥沃なれども西方及び北
 方は不毛に屬す、然れども農牧甚た盛にして人口に比して穀物の産出多
 きは歐洲第一たり、製造の盛なるものは陶器にして布帛の類は甚た少く、
 礦物の如きも只少許の鐵を産するのみ、而して輸出の最大なるものは牛
 酪にして牛馬及び豚等之れに次ぐ

(一六六) 都府交通及び條約年月は如何

首府コペンハーゲン(三十八萬)には國中最大の製造所及び大學造兵局等
 あり、之れに次ぐものをオデシーとす、其の他海港の重要なるものはエル
 シノール、アールフース及びアールボルにして、鐵道は千二百五十哩電
 信線路三千七百哩あり、慶應三年九月我が國と條約を締結せり

(一六七) 政体及び教育は如何

此國は立憲王國にして現王はクリスティアン二世なり、國會は元老院及び
 衆議院より成る、教育は甚た盛にして大都府には善美なる神學校技藝學

校あり村落にも善良なる小學校あり

(二六八) 殖民領地を擧げよ

大西洋に於けるアイスランド、フアロー諸島、西印度に於けるセント
ロイツス、セント、トーマス、セントジョン三島及び北氷洋中のグリー
ンランドの海岸に於ける二三の殖民地を有す

(二六九) アイスランドの形勢は如何

アイスランドは本國を距る殆んど千六百哩の海上に在り、面積は本國に
三倍すれども人口は首府の四分一に過ぎず、内地は火山多く殆んど二千
餘坐あり其の最高なるものをオレフジョカル(六千四百十呎)とし、最も
有名なるものをヘッラ(六千呎)とす、ヘッラは千八百七十五年より噴火
を絶てり、又此島の噴泉は其の名世に高く六千呎の高さに噴出するもの
あり、都府の主要なるものをレーキアビック(人口三千)といふ、全島樹
木果穀を産せず、唯馬鈴薯及び蔬菜を生ずるのみ

(13) 瑞典及び那威

(二七〇) 形勢及び條約年月を問ふ

二國各々獨立の一國なれども一王の治下に屬し、スカンチヂビヤと汎稱す
る歐洲中最大最長の半島國にして面積(瑞凡十七萬二千方哩、那凡十二萬
三千方哩合計二十九萬四百八十六方哩)は魯國の次に位すれども人口(瑞
四百五十萬、那二百萬餘)は至て稀少(一方哩瑞二十八人、那十八人)な
り、地勢西北部は山多けれども概して高峻ならず、其の最も高さもの
をスカンヂネピアンアルプス(最高峯ガルドーピック八四〇〇呎)とし、
東南部は一般に低平なり、而して其の低平なる部分は即ちバルチツク海
の沿岸にして、夫れより西するに従ひ漸く高く終に又峭壁直下して太西
洋岸に落ち、更に又出て、近海無數の岩石島となる、故に此半島は二斜面
より成るものにして其の東方濶大の部分を瑞典とし、西方狹小の部分を
那威となす、明治三年十一月我邦と條約を締結せり

(一七) 海岸及び島嶼を擧げよ

海岸は島嶼及びフィオルドの多きを以て有名なり、其の延長は未だ測量を經されとも那威の部に於て海峡の航行し得べきものゝみにて既に一萬二千哩あり、而して島の最も有名なるは那威海岸のロフオデンス、瑞典海岸のゴツスランド、オーランド等とす

(一七) 河流及び湖沼を問ふ

河はグロムメン、ゴター、ダル及びトルニ一等を有名なりとす、皆東南流して數多の湖水を貫けり、湖水は概して南方に在りてウエネル、ウエテル、メーラル(以上瑞典)ミオセン(那威)は其の大なるものなり、此等の湖は皆百日乃至二百日間氷結す

(一七) 氣候及び産物を問ふ

大西洋岸は灣流の作用によりて緯度の高さに係らず甚だ温暖なれども、兩國界の高原之れを遮るを以て瑞典の海岸は頗る乾燥寒冷なり、而して

内地は夏甚だ短く冬甚だ長く、土地の大半は森林を以て蔽はるれども、高原の地は喬木を生せず、耕地は實に僅少なり、故に此國に在りては農業よりも寧ろ航海漁業森林業等を主要とす、又那威には銀銅鐵の少量を産するのみなれども、瑞典は頗る鐵礦に富み其の質甚だ好く又亞鉛銅及び少許の銀を産出す、高原の地には馴鹿群を成し、麋鹿は瑞典に、海鳥は那威に多し

(一七) 交通は如何

鐵道は近時漸く發達し瑞典に四千七百餘哩那威に千餘哩あり、電信線路又瑞典に五千二百二十哩那威に五千六百三十八哩、商船瑞典に四千艘那威に四千三百餘艘に及へり

(一七) 都府を擧げよ

瑞典の首府はストックホルムにしてメーラル湖口に立ち九島に跨り風光絶佳、北方ヴェニスの稱あり、之れに次くをゴツテンブルグ、マルモ、ノ

ルカーピング等とし、那威の首府をクリスチアニアといふ、之れに次くものはベルゲン、トロンジエム、スタバンガー等とす、其のハンメルフェストは歐洲最北の都會なり

(二六) 政体及び政治は如何

二國各獨立にして各、其の議會を有し各、海陸軍を備ふ、但し一王(現王はオスカル二世)の下に立てり、然れども王と雖も唯、此國より彼國に三千の軍卒を送るを得るのみ、而して王は常にストツンホルムに住すれども、憲法の規定に従ひ年々一定の期日間那威に在りて政務を行ふ、陸軍は瑞典に三十五萬餘那威に一萬八千人あり、海軍は瑞典に軍艦二十七艘、軍人三千九百餘人、那威に軍艦十一艘四百八十餘人あり

(二七) 教育及び宗教は如何

二國共にルーテル新教を奉す、而して瑞典は卓越なる公立學校を有し就學兒童百分の九十四に及び、那威は之れに及ばずと雖も人民概して讀書

を能くすといふ、大學校は瑞典に二校那威に一校あり

(14) 英吉利

(二八) 英吉利の形勢を略記せよ

英吉利は歐洲の西北に位する二大島(大不利顛、愛爾蘭)と凡そ五百箇の小島とより成り、曾て英蘭蘇格愛爾蘭の三王國なりしが今は政治上一王(現王はヴィクトリア女王)の統轄に歸して合衆王國たり(本書略して單に英吉利と稱す)之を細説すれば第十一世紀の頃ノルマン人ウイレルム、コンクエロルの征服する所に係り、爾來王統連綿として絶えず、第十二世紀に及んで愛爾蘭を討滅し、十七世紀に紀に及んで蘇格蘭を併せ以て今日に至る、面積十二萬千四百八十一方哩(日本より稍小)人口三千九百萬(二方哩三百三十三人稠密の度和蘭白耳義に次く)あり

(二九) 位置及び氣候を問ふ

此國は世界無比の好位置を占めり、即ち一葦水を隔てて農工商業共に盛

にして且つ人口稠密なる大陸の諸大富國に對し、又通常二日乃至三日間繼續する南西風及び墨西哥灣流は温氣を供給すると共に南北兩米より航海の便を與へ、而も離隔の海島たるを以て直接に大陸の治亂に與かるを要せず、今日の盛大を致す所以のもの豈偶然ならんや、而して氣候は寒暑の差甚た少く氷雪の爲に野外の業を休止するの日稀なり、然れども濃霧常に深く且つ時ありて毎日降雨することあり

(一八〇)地勢の大略を記せ

大不利顛の東南部即ち英蘭の地方は高低起伏の曠原多く、北西部蘇威地方の大半は山岳綿亘せり、又愛爾蘭の中央は平坦なる草蕪の原野にして山岳其の縁邊を圍繞し高峯は其の西と東とに連立す、然れども概して高峻のものなく只プリンリムモン山脈中のスノードン(二五七〇呎)を以て諸島中の最高とす、諸島共に海岸の出入夥しく安便の港灣又多し、而して如何に内地と雖も僅に七十五哩にして海岸に達し得へしといふ

(一八二)河流を列記せよ

此國の河流は皆流勢緩徐にして且つ水深く、上流に至るまで船舶を通すへし(蘇國を除く)愛爾蘭のシャンノン河(二百廿四哩)は二百十三哩間舟筏を通すへく、セバアン(二四〇哩)テームス河(二一五哩)メルセー、ホンバア等又皆然り、故に倫敦を首とし大都府は皆其の河邊に立てり

(一八三)産業及び産物を問ふ (一八四)英國中産業の變遷如何 (一八五)

英國礦業の景況を問ふ

國の三分一は主に山地なれども、他は皆耕地にして開拓殆く森林少し、中世に至るまでは農業及び牧畜最も盛なりしか、其の後石炭及び鐵の産出多きに至りては農業漸く衰頽して今は却て製造業及び商業の全盛を來せり

又礦業は世界中北米合衆國に次ける屈指の國にして、炭田の面積全歐炭田の過半に達し年額二億噸を産出す、其の内三千萬噸は輸出し餘は悉く

内地の製造業に使用す、而して鐵は大抵石炭産地に接近して存し、工業上大に便益を興ふ、其の産額平均千八百萬噸に達すれども尙ほ内地の需要に足らずして外國より許多の輸入を仰ぐ、其の地銅鉛亞鉛錫白銅及び建築石材を産す

製造業の第一は綿毛織物業にして之れに次くは鐵器なり、綿織の中心はマンチエスタアにして其の原料はリバプールより輸入せる米國産綿なり、毛織物の中心はリース及びブラド、フォードの二市にして、鐵器製造の中心はバルミングハムとす、又造船業の盛なるはグラスゴーにして之れに次くはニューカッスルとす

(二八五) 交通及び通商は如何 (二八六) 世界第一の商業國は何れ

内地自然の水利に加ふるに鐵道二萬六千哩、運河二千八百哩、電線路三萬二千哩(條線路二十萬哩)あり、商船は一萬七千五百艘八百萬噸を備へ、世界第一等の商業國たり、毎年輸出入の總額を數ふれば凡そ六七億磅の巨額に達す

巨額に達す

(二八七) 都府を列舉せよ (二八八) 世界第一般富の地は何れ (二八九)

倫敦の繁華を形容せよ (二九〇) 世界第一醜陋の地は何れ

首府倫敦は其の般富世界第一にして、長さ十五哩幅十哩四郡の地に跨りテムス河畔に立つ、沿岸には宏壯の船渠連亘して内外貨物の出入に便し、道路鐵道皆此に集り、世界の大水路皆悉く之に向ふ

又その壯觀を加ふるに二十個の大橋梁ウイストミンスタア寺院宮殿(議事堂此に在り)及びセントポール大寺院を以てし、人口五百萬、毎時間に一家屋建設せられ、三百人以上の一村日々其の八日に加はる、又彼の龍動橋は日々五十萬人の通行あり、鐵道は日々百萬人を乗せ來る、斯く倫敦は世界の通商、金融整理の大中心、大海港、大製造所、大快樂府にして又世界第一の醜陋なる都府を兼ねたり

其の他二十萬以上の人口を有するものはダブリン(愛爾蘭の首府)エヂン

バラ(蘇格蘭の首府)リバプール、グラスゴー(國中最大の造船場なり)マンチェスター、バアミングハム、リーズ、シエフィールド、プリストル、ブラットフォード、ベルハアスト等なり

(一九)人種風俗及び教育は如何

人種は主にチノートニツ種なれども又セルチック種あり、國語は英語なれども威爾斯人及び蘇格蘭高地の人民は古セルチック語を用ふ、元來英蘇愛三國は其の國性を異にするを以て、風俗習慣も従つて別異なれども政治上皆同等の民にして、勇剛堅忍卒先して事を企て獨立の氣象に富むは他邦人の企て及ふ所にあらず、國教は新教にして英蘇の民は皆之れを奉し愛爾蘭は舊教を奉す、普通教育は近年強迫法を發布せしより着々歩を進めり

(二〇)政体海陸軍備及び條約年月は如何

純然たる立憲政治にして世襲の君主之れを統轄し、議會は貴衆兩院より

成る、然れども大權の歸する所は全く公撰(年限七年)せし衆議院にあり、我が國と條約を締結せしは安政六年六月なり

陸軍常備兵は凡そ二十萬なれども、海軍の強盛に於ては世界に冠絶す、甲鐵艦凡そ七十其他の軍艦三百七十三艘、水兵其他の海員九萬七千人にして、最大速力の郵船又數十艘を具へり

(二一)殖民領地を問ふ

領地は東西兩半球赤道の南北到る所に存在し、女王の領内に日の没することなしとは英人の常に誇稱する所なり、而して其の最も大なるものは北米加奈陀、東印度、壕太刺利亞、亞非利加等にて其の他の各地を合算すれば面積凡そ九百二十萬方哩人口大約三億餘なり

第三章 亞非利加洲

(二)亞非利加の形勢は如何

亞非利加は古來暗黒大陸の稱あり、是れ其の地の概して熱帶中に擴布し風土特異に黒人之れに居住して海岸の出入乏しく内地交通の便を得ざるど、大砂漠大森林等の探檢を遮さるありて其の土地の世人に知らるゝこと尠きとを以てなり、然れども尙ほ歴史上に於ては最古の記録を有し、ナイル河邊の如きは人文最も早く開けたる地方にして紀元前四千年前に建築せる碑石等あり、總面積は一千二百萬方哩なれども海岸線は僅に一萬六千哩に過ぎずして、ギニア灣(内にベニン及ピアフラ灣あり)シドラ灣ケーブス灣アデン灣等二三の屈曲あるのみ

(三)地勢及び砂漠は如何 (三)サハラの光景如何

内地は一体の高原にして大山脈海岸に近く之を圍繞し、沿海低平の地は僅に之れを縁附けたるに過ぎず、彼のサハラ及びカラハリの砂漠の如きも亦皆此高地中にあるものなり

サハラは世界第一の大砂漠にして、南北千哩東西二千哩面積二百五十萬

方哩(地中海の三倍)あり、往古は一の大海なりしが今は水なき砂石の大海洋なり、其の地蘇丹より高く間々粘土質の窪地又は山脈あり、降雨も皆無といふにはあらねども(所々に瀦水あり)呼吸を止むるか如き乾燥の熱風時々之れを吹き渡る

北方のシドラ灣とカイロ府との間及びケーブス灣の南に低平の地ありて地中海面より低し、又サハラ中のチヤド湖及びカラハリ砂漠中のニガミ湖は各砂漠中央の漸低地に在り、數多の陸河之れに流入す、其の主なるものをチヤド湖に於てはシャソ河とし、ニガミ湖に於てはチヨージ河とす

(四)河流湖沼及び山脈は如何 (五)河流の最大なるものと最長なるものとを擧げよ (六)山の最高なるものを問ふ

河の最大なるものをコンゴ河(大西洋に注ぐ)とし、最長なるものをナイル河(地中海)とし之に次くものをニール河(ギニア灣)ザンベジ河(印

度洋)等とす、湖沼の大にして且つ多きは北亞米利加を除けば此州を第一とす、即ちピットリアニアンザ、アルベルドニアンザ、マンガニーカ、ニヤツサ及びベンバの五湖は最大なるものにして皆東南地方に在り
 山脈の主要なるものはアトラス山(北方に在り)コング山カメルーン連山
 ウレガ山脈ロキング山(以上西方)ドラケンベルグ山及びアビシニア諸山
 (東南)等にして、最高峯をキリマンジャロ(一八八八一呎)及びケニア(一八〇〇〇呎)とす

(七)氣候及び動植物を問ふ

亞非利加は海岸單一にして出入なく、東北貿易風濕氣を帯ひす、又た周圍の山脈の爲めに濕氣を吸取せらるゝを以て内地は一般に乾燥酷熱なり、然れども南方は土地至て高く又海洋の影響を受くるを以て稍、冷涼を帯ふ、北方の地は橙橄欖椰子等を産し、蘇丹地方は豊饒にしてバオバブ樹カッサバ大薯地荳等の成長に適し、南方には大戟草鹽葦其の他珍奇の

植物あり、動物に至りては象河馬犀の如き巨大なるもの羚羊豹駱駝鳥
 ゴリラチンパンジー獅子鬣狗鰐魚鳩アイビス赤鶴等あり、蛇は亞米利加
 亞細亞に比して多からず、虎と熊とは絶無なり

(八)礦物は如何

鹽は頗る多けれども金屬は至る所皆少なし、鐵銅及び鉛はアトラス山に
 産し、銅は又ナマシワランド及び流域に生じ、金剛石はバール河邊に産
 す

(九)住民及び其の言語宗教は如何

土人に三種あり、西南地方のホツテントット及びブシユメン種、其の北
 方に住するバンチュ種及び蘇丹地方の黒人は是なり、又舊埃及人とセミチ
 ック種なる亞刺比亞人及びアビシニア人とは往古の移住民にして本來の
 土人にあらず、近來又歐洲各國の移住民あり、總計凡そ二億とす、而し
 て蘇丹は人口最稠密(五十人)にチュニス之れに次ぐ、宗教は東部及び北

部に於ては回教を奉し、南部及び西部の蕃民は各種の蕃教を奉じ、歐洲殖民地に在りては新教にして、アビシニアは一種の耶蘇教を信ず

言語は亞刺比亞語を最も多しとす、即ち北部及西部地方に行はる、又サハラにバアバア語あり、南部にバンチュ語あり、ブシユメン地方にホツテントツト語あり

(二〇) 殖民地を問ふ

英國はケープコロニー及び西方數多の地方を領し、東海岸の各地を保護し、埃及亦其の掌中に在り、佛國はアルゼリア、セチガル地方、コンゴ其他の小殖民地を有し、獨逸は東西兩岸の各地を領し、葡萄牙は古來アングラ及びベンゲラを保ち、又東岸に夥多の領地を有す、西班牙はキュータに於て狹少なる土地を有し、伊太利はマツソワよりアツサブに至る紅海沿岸を有ち、土耳其は埃及及びフェザン、トリポリを有し、白耳義はコンゴ自由國の監主たり

(二一) 埃及の形勢を問ふ

埃及はナイル下流に沿うて南方ウエデーハルファより地中海に至る四十萬方哩を包有する一國なり、然れども實際人民(七百萬)の居住するは十一萬方哩にして他は多く砂漠地たり、其の西に在るをリビアの沙漠と稱し、東に在るをヌビアの沙漠とす、國中を上下の二部に分つ、前者は南方の河谷にして後者はナイル河の三角洲なる低平の沃野なり

(二二) 埃及の商業及び交通は如何 (二三) 蘇士運河の景況如何

此國は本洲内地と亞細亞大陸との交通大陸路と東西洋航通の大水路との相交叉する所に位し、商業上好良の地位を占めり、是れ佛國の大土木師レセップ氏の計劃によりて千八百五十九年に着手し六十九年に至つて竣工せし蘇士大運河の惠に依るもの多し

運河はレイ湖口のポルトセイに起り紅海口の蘇士港まで延長一百哩、之れを通過する船舶英國のみにても一年三千艘に及び、通行銀の年額三百

萬磅に上るといふ

蘇士運河の他此國には尙ほ五百哩の運河ナイル河道及び千三百哩の鐵道ありて運漕に便し、電信線又鐵道及び大道に沿ふて架設せられ、近年尙ほアレキサンドリアより赤道近傍まで架設せられたりといふ

(二四) 埃及の農業及び物産を問ふ

上部埃及に在りては數年間一雨を見ざること珍しからずと雖も、下部三角洲の地に在りても尙ほ降雨稀なり、然れども年々ナイル河の汎濫ありて沿岸の地をして肥沃ならしめ農業を以て主要なる産業たらしむ、其の産出の重なるものは棉花砂糖及び蠶豆にして、綿布及び石炭は一ら外國の輸入を仰ぐ

(二五) 埃及の都府を問ふ

首府カイロ(三十七萬五千)はナイル河の東岸に在りて亞非利加第一の大都會なり、各種の人民此に住し、各國の物産輻湊す、此府又亞刺比亞文

學の中心たり、カイロの西方河を隔て、ギゼー府あり、其の近傍に最大なる金字塔三個屹立す、カイロに次く都會をアレキサンドリアといふ、地中海岸に在り、其の他の小都會を擧ぐればダミースク、ザグヂツグ、ロセツタ等あり

(二六) ヌビア及び東方蘇丹の形勢を問ふ (二七) 全都府を記せ

埃及の南境より北緯十度の間に亘る地方をヌビアとし、北緯十度よりアルベルドニアンザ湖に至る地方の總稱を埃及蘇丹といふ、ナイル河の上流其の中央を串流す、初め埃及政府此地方を領せしか先年マーデー(僞聖)の反亂より今は全く其の支配權を失へり、此地方に於て都府の主なるものをカアツーム、センナア、スアキム、マツツア、バアバア、エル、オベード等とす

(二八) 全地方の物産及び通商は如何

物産は象牙を第一とし、麥木綿藍煙草及び諸種の護謨等あり、隊商は此

等の物品を運搬してカイロ若くは紅海岸のヌアキムに往來す

(一九) アビシニアの形勢を記せ

アビシニアはヌビアの東南に位する高原地方にして平均七千呎の高さを有し、數多の谿谷(四千呎の深さ)低窪によりて國內數片に分割せらる、人口殆んど三百萬、方今重なる住民はアラビアの南方より來れるガラ種族なり、此國土壤頗る豊饒にして木綿砂糖及び珈琲を産し一年三回の收穫ある地ありといふ、商業は皆内地に限り外國貿易絶無なり、都府も亦ゴンドル、サマラ及びアダダラ等の小都會あるのみ

(二〇) バルバリー地方の地勢及び氣候は如何

埃及の西方地中海に濱する地方を總稱してバルバリーといふ、中に四國ありモロッコ、アルゼリア、チュニス、トリポリ是なり、大アトラス山脈モロッコの中央を横斷し、餘勢小アトラス山と成りてアルゼリア及チュニ스에連亘す、山脈以北は氣候温和なれども以南はサハラに接して炎熱

頗る甚し

(二一) モロッコの形勢を問ふ

モロッコはバルバリー地方最西の專制國にして面積二十二萬方哩人口大約五百萬あり、西北の海岸凡そ八萬方哩はテル地方と稱し豊饒にして果穀を産しムールヌ人専ら此に住す、山嶽地方はバアバア人の住する所にして其の實際は獨立なり、サハラ地方は獅子豹等の住する所なれば人類の得て住むべきなし、首府はモロッコ(五萬)といひ、フェズ及びメキチズ之れに亞ぎ、モカドル及びタンジールは海港なり

(二二) アルゼリア及びチュニスの形勢は如何

此二國はモロッコの東方にあり、アルゼリア(面積十八萬四千方哩人口四百萬)は大にしてチュニス(人口二百萬)は小なり、而して前者は全く佛國に屬し、後者は其の保護の下に立つ、テル地方は豊饒にして能く果穀を産し、山地以南の沙漠地は境界未だ分明ならざる所あり

アルゼリアに於けるテル地方凡そ四千五百萬エリシルの耕地は大抵皆歐洲人の所有に屬し、佛、西、英、諸國との貿易頗る盛にして鐵道の延長又二千哩に達す、チュニスにも亦殆んど三百哩の鐵道あり

二國共に首府は國と同名にしてアルヂールは人口七萬五千、チュニスは人口十四萬五千あり、アルゼリアには尙ほオーラン、コンスタンチン、ポーン等の都會ありて、皆地中海岸に立てり

(三) トリポリ及びフェザンの形勢を問ふ

トリポリは前二國と埃及との間に位する地中海岸の地にして、フェザンは其の南に位する寂莫荒涼の沙漠地なり、トリポリの名は首府の名より來る所にして、人口殆んど百萬全く土耳其の所轄に屬す、産物の主要なるものを駝鳥羽毛及び小麦とす

(四) ^{スーダン}蘇丹の形勢を記せ

サハラの南に在りてアビシニア以南南緯二十二度邊に至る總稱を東部亞

非利加とす、前面は一帶の低原にして氣候酷熱健康に害あり、背後は高原にして内部と境を分ち其の高地は氣候頗る温和なり、ソマルの東北端ガルダフィー岬より南方デルガト岬に至る間は獨逸人の勢力盛に行はれ、夫より以南デラゴア灣に至る間は葡萄牙人の威力行はる、産物は砂金象牙羽毛等なり

其の主要なる區劃を擧ぐれば(一)アジャン海岸の獨逸保護國(二)ザンジバル(首府全名)三)葡萄牙領地等なり、葡萄牙領は又ソフアラ及びモザンビーク等の九洲に分つ

(五) 西部亞非利加の形勢を記せ

大西洋岸に在りて、南緯十八度より北の方サハラに至る地方を西部亞非利加と總稱す、沿岸は低原相連り内地は高土にしてセネガムピヤ上下ギアナ、コンゴ自由國等に大別す、歐米諸強國各地に貿易場を設け益驥足を内地に延へんとす

今其の主要なるものを擧ぐれば佛國はセントルイス、ゴリー及カブリン并にオゴワイ兩河邊の保護國、英國はガンビア、シルラレオン、ゴールド海岸、獨逸はカメルーン及びフリオ岬よりオレンジ河口に至る海岸、西班牙はフェルナンド、ボー島、米國はリベリヤ、葡萄牙はコンゴ、アンゴラ、ロアンダ、ベングエラ等の地を有し、何れも象牙金羽毛椰子油及び護謨等を貿易す

(二六) コンゴ自由國の形勢を問ふ

此國は西部亞非利加に屬しコンゴ河の大流域の全部を包含する豐饒の地方にして、人口二千七百萬あり萬國亞非利加會の下に立つ、白耳義王實に之れか盟主たり、コンゴ河はスタンレー瀑よりスタンレーコールに至る千哩間航行し得べく、道路又漸く修り、鐵道の開通も近きにあらんとす、現今貿易場合して廿七箇所あり

(二七) 南部亞非利加の形勢如何

南部亞非利加は南緯廿二度以南海角に至るまでの總稱にして、英人及び和蘭人の所有たり、英國殖民地の主要なるものをケープコロニー及びナタルとし、和蘭殖民地の主なるものを南アフリカ共和國、オレンジ自由國及び新共和國等とす

(二八) ケープコロニーの形勢は如何 (二九) 亞非利加の最南端を何

と云ふや

ケープコロニーはオレンジ河以南の海角地二十三萬二千方哩を包有し、海岸線千三百哩あり、最南をアガルハズ岬(亞非利加最南端)とし、其の西方に地理歴史上有名の喜望峯あり、灣はセントヘレナ、サルダンハ、テールブル(以上西方)フォールス、及びアルゴア等を主要とす、國中の最高峯を雪山といひ高さ八千五百呎あり、氣候は夏頗る暑く且つ乾燥なれども健康を害せず、人口は殆んど百廿五萬、其中白人の數三割に過ぎずして他はカフル及びホッテントットの二種族なり

内地の高原は牧畜に適し、羊を牧すること盛にして、羊毛の産出夥し、其の他金剛石羽毛獸皮銅等を産し、鐵道千八百哩電線五千哩あり、都府の大なるものをケープタウン(海港)、キムバルレー及びポートエリザベス(海港)とし、之れに次くものをグラハム、エーストロンドン(海港)等とす

(三〇)英國保護諸州を問ふ

ケープコロニーの東北に位するベチユアナランド、ポンドランド、バストランド及びヒヅールーランドの一部は皆英國の保護國なり

(三一)ナタルの形勢は如何

ケープコロニーの東北に在りて、アムタムフアナ河とツゲラ河との間に介るをナタル殖民地とす、人口五十五萬(内四萬は白人種)あり、氣候酷熱なれども豊饒にして砂糖を産し、牧羊亦盛なり、其の他羽毛及び象牙を出す、首府をピータアマリツツブルグ(一萬六千)といひ、海港をダル

バン(二萬五千)といふ

(三二)オレンジ自由國の形勢如何

此國はザール、オレンジ及びカレドン三河の間に在る小國にして、人口十五萬(内六萬餘は和蘭農夫なり)牧羊及び駱駝の飼養最も盛にして、又金剛石石炭金を産す、首府をブロームフオンタインといひ、電信線ありてケープコロニー及びナタルに連絡す

(三三)南亞非利加共和國の形勢は如何

此國はリンボボ、ザール兩河の間に位する大國にして、人口三十六萬内六萬(其中四萬五千和蘭人)は白人種なり、地味氣候共に農牧に適し、金鐵石炭を出す、都府の大なるものをバルハアトン(七千)とし、首府をプレトリア(五千)とす、電線(五百哩)を通し鐵道又東邊に開通せり、此國、名は獨立なれども實は英國女王の命を奉せり

(三四)新共和國の形勢を記せ

千八百八十四年和蘭不平の農民集りてヅールー地方に一自由國を建設す、即ち新共和國なり、首府をライバイドとす

(三五)ヅールーランドの形勢を示せ

此國はツゲラ河とセントルシア灣との間に在り、住民慄悍にして嘗てセチツヨ一の指揮によりて(千八百七十九年)ナタルを攻め、イサンヅラに英軍を破りしが、ロックスドリフトの大戦争に敗北して分散し、今は専ら農牧に従事す、酋長ありて之れを統轄せり

(三六)本洲諸島嶼の形勢を聞かん (三七)諸島中大西洋航行の要地を何といふや (三八)諸島の所屬を問ふ

亞非利加周圍の諸島嶼中マダカスカル及ヒコモロ諸島を除き他は皆歐洲諸國の隸屬にして其の太西洋に散在するものは皆火山質たり

マダカスカルは本洲最大の島嶼(長千哩)にして、全島多くは山岳重疊し最高のもは九千呎に達せり、東岸の地は東南恒信風の爲めに降雨多く

土地又豊饒にして人民農牧を務め、又良材を産す、全島の人口三百五十萬政体は專制王國たり、住民中ホーヴァ人最も多智にして勢力あるものとす、首府をアンタナ、リボ(十萬)といひ島の中央に在り、東岸に在る要港をママテーヴといひ佛蘭西の領地なり

カナリー諸島(西班牙領)は州の西北岸に在り、最大なるをテチリーフ島とし、之に次くをグランドカナリー島とし、最も西に位するをフアーロ一島とす

アゾール諸島(葡領)は本洲の最西北に在り、セントミケール、フェーヤル等の九島より成る、マデーラ諸島(葡領)はカナリー、アゾール二群島の中間にあり、首府をファンシヤルといひ太西洋航行の漁船碇泊の地なり、ケープベルト諸島(葡領)はベルト岬の西に在り、セントビンセントに良港を有す

モーリシアス(英領)は熱帯中に在る島嶼にして、風景絶佳多量の砂糖を

産す、首府をポルト、ルイといふ、アツセンション(英領)は南緯九度の邊にある火山岩の一塊にして海上三千呎に屹立し、セントヘレナ(英領)は其の東南八百哩にあり、首府をジエームスタオンと稱す

ボルボン島(佛領)の首府をセントデニスとす、輸出物の主要なるものは珈琲及び香料なり、島中に火山二座あり

右の外フェルナンドポー及びアンナポンは西班牙に屬し、プリンス島及びセントトーマスは葡萄牙に屬し、ロドリグス、アミランド諸島及びニコトラ等は英國の所轄に屬す

第二篇 新世界

第四章 北亞米利加洲

(一)北亞米利加の沿革及び形勢は如何

北亞米利加は新世界中パナマ以北の三角形の大陸地にして、面積八百六十萬方哩千四百九十二年閣龍の發見せし所のものなり、然れども閣龍は全九十八年に此大陸を見たりしのみ、土地征略の念は未だ之れ無かりしなり、其の之れあるは西班牙人に始まる、西班牙は首として墨西哥及び二三の西印度諸島を略取せり、千五百三十四年に至り佛人此地に殖民をなし堡砦を設く、次で英人來りて漸次佛人を逐ひ、又千七百七十六年には本國の羈絆を脱して獨立し、十三州を合して合衆國聯邦を建てたり、又墨西哥は千八百三十年西班牙より分離して獨立せり、人口殆んど八千萬にして、其内六千萬は白人種其の他は黑人亞米利加印

匈人及び混合種族なりとす

(三)地勢及び海岸は如何

西にコルチレラ山系あり、東にアツパラチエーン山系あり、其の間は
一帯の平原にして、北は北氷洋に至り南は墨西哥灣に至る、海岸は出入
頗る多く延長二萬四千五百哩(三百五十方哩に付一哩の割)あり、東岸に
於ける主なる出入はバツフィン、ハドソン、セントローレンス、フアン
デー、墨西哥諸灣、カリビアン海及びラプラドル、ノヴァ、スコチア、フ
ロリダ、ユトカマンの四大半島并にレース、コツド、ハツタラス、セー
ブル諸岬にして、西岸に在りてはカリフォルニア灣アラスカ及び下カリ
フォルニア半島、北岸に在りてはブーシヤ灣等なり

(三)島嶼及び海峽地峽を擧げよ

島嶼の主要なるものは東岸に多し、即ちアンチコツチ、プリンスエドワ
ード、ニューファウンドランド、バアムダス諸島及び西印度諸島にして

北岸には廣大なる群島あり其の最大なるものはグリーンランドと云ひ、
西岸最要のものをバンクシア島とす、海峽はハドソン、ダヴィス、バ
アロウ及びベーリング等を重なるものとし、地峽の有名なるものをパナ
マ(三十哩)及びテフアンテベツクとす

(四)山岳河湖は如何

本州最高の地は墨西哥にして殆んど九千呎に達し、アツパラチエーン山系
中最要のものをアレガニー山脈とし、コルチレラ山系の重なるものを
ロッキー山脈とす、洲の四大河とはミシシッピ(南流) マッケンジー
(北流)セントローレンス(東流)及びサスカチエワン(全上)を稱するもの
にして共に中央平原の間に在り、西方太平洋に注ぐものをコロシ及びコ
ロムビアの二川とす、湖水の大にして且つ多きは世界第一に居る、故に
又湖沼大陸の名あり、其の數無慮數百にして大抵は大河の一部をなせり、
其のグレートベア、グレートスレーブ、アサバスカ、ウインニペグ、

スウペリオル、ミシガン、ヒューロン、エリー及びオシタリホ等は最も重要なものにして、最後の五者のみにては面積合して九萬方哩あり、

(五)氣候及び動植物を問ふに、北緯十度に起り八十度以終るを以て、氣候及び動植物の階級種類甚多し、氣候は概して全緯度の歐洲諸國より寒く、西岸より東岸に南方より北方に至るに従ひ寒暑の差漸次に甚しく、温度の變化又極めて急激なり、降雨も亦西及び南に多く東及び北に赴くに従ひて減少す、植物は前各洲の階級に異ちされども動物は聊か記すべきものあり、即ち水牛「カウブー」(馴鹿に對するもの)麋熊海豹海狸等(北方に)多く、哺乳獸の少きこと(袋鼠と稱する有袋獸、蜂雀、響尾蛇等の棲息すること等是なり)

(六)礦物は如何、北米は世界第一の礦產地は何れなるや、其の量の夥しきこと、共に世界に冠絶す、アレガマニ山西のアツパシアン石炭礦は面積七萬

方哩、ミッソリー河邊の炭田は八萬五千方哩(合衆國第一)等合衆國の炭田のみにて凡そ十九萬方哩あり、尙ほ加奈陀よりも許多の産出あり、又合衆國は鐵夥しく金銀銅鉛水銀錫等も所々より産す

(六)グリーンランドの形勢を問ふに、グリーンランドは主としてエスキモト種族の住する所にして、手抹政府の所轄に屬す、其の土地は蓋し群島にして氷雪の之れを蔽ひて相連接するものなるへじ、住民多くは海豹及び鯨の漁獵に従事し、又少許の大麥及び馬鈴薯を産す、西岸に二三の殖民地あり、島の西方にナレ大海あり、船長ナレズ氏(千八百七十六年北緯八十三度廿分に達せり)に依りて名けられたるものなり、又全八十二年には合衆國海軍副提督メリット氏は八十三度廿四分の地に達せり、山の量

(七)加奈陀の形勢を問ふに、加奈陀は北米の北方に位する二百五十萬方哩(歐洲全土と同じ)の大地方

にして、ニューファウンドランドと共に北米の全面積三分一を占め皆英國に屬す、國內を十二州に分ち、議會は年々聯合首府なるオッタワに開く、各州又各其の議會を有し、國の總督は英國女王の代表者たり、山の最も高さものは英領コロンビアの部に在るロッキーマン山の一部にして、河はセントローレンス、マッケンジー、フレージャー、紅河及びサスカチエワン河を大とし、湖はスウペリオル、ヒューロン、エリー、オンタリオ、ウイニペグ、マニトバ及びグレイトベア等を主要とす、氣候は歐洲に比するに大差なく唯、四季乾燥なるを異りとす、人口は五百萬(一方哩一人半の割)なれども、大概はセントローレンス河畔に住し、農林業及び漁獵に従事し合衆國及び英國と大なる貿易を行へり、住民多くは英人蘇人の子孫にして皆英語を用う、然れどもシェベック州には佛語を用うる佛の子孫多し、此國又礦物に富めども、礦業及び製造業は甚だ幼稚なり

(一〇)加奈陀の都府及び交通は如何 (一一)世界第一水利の便ある

國を問ふ

水利の便は世界第一に居る、セントローレンス河口より遡り許多の湖沼を經大陸の中央を貫き、マッケンジー河に入りて北氷洋に至るを得へし、鐵道又一萬三千哩に達し加奈多太平洋線路の如きは東西兩大洋を連絡し、航路九百二十哩を短縮したり、都府の大なるものはモントリール(シェベック州十萬以上)、トロント(オンタリオ州十萬以上)、シェベック、ハミルトン、ハリファックス(ノバスコシヤ州)、オッタワ(オンタリオ州)、セントジョン(ニューブロンズウイツ州)、ウヰンニペック等なり

(三) ニューハアウンドランドの形勢を問ふ

加奈陀の東方に位し、其のリース岬は愛爾蘭のグリーア岬を距る千六百五十哩に過ぎず、海岸の凸凹甚しく、内地は沃野頗る多く又良材を産し、銅石炭其の他の礦物に富み、住民は専ら漁獵に従事す、主要の都府をセントジョン(三萬五千)といひ東海岸に在り、全島英國の所管に屬す

(三)合衆國の形勢及び我邦と條約を締結せし年月如何

合衆國は加奈陀の南方三百五十五萬餘方哩(東西二千八百哩南北千七百哩)の大地方にして、千七百七十六年建國以來農工商業の發達著しく、百年前に在りては人口僅に三百萬に過ぎざりしが、今は七千萬(二千万(廿五人)に垂んとす)地勢西半は山多、東部にはアパラシアン連山連亘するのみにして、其の他は平地なり、又中央の地は所謂ミシシッピの灌域にして南方に傾斜し地味極めて肥沃なり、此國の海岸は概して正整にして深き出入なしと雖も、ミシシッピ河(四千二百哩)及び其の一深流(ミシシッピ川の如きは殆んど水源(ロッキンギ山)まで航行するを得べく(其の他の深流三十餘も)エリー運河は大湖に達してホドソン河に通じ、大湖又サウエルランド其の他の運河によりてセントロドリネス河に航行するを得べし、其の他陸路は甚だ少しと雖も、鐵道の延長殆んど十七萬哩ありて交通の便世界に冠たり、萬延元年四月我邦と條約を結へり

川の尙ほ太西洋に注くものはコロシピア、及びコロラドにして、太平洋に注くものは、ホドソン、デラウエーア、サスシェムナ、ポトマック、シエトムス、サウアンナ等なり、湖の夫なるものは、ミシガン及び大鹽湖にして、大鹽湖は數多の陸河を受くれども吐口なく、鹽分は潮水の十餘倍に達して人体水中に沈まず、且つ四千二百呎の高地にあり

(四)合衆國の氣候及び産業は如何

氣候は土地廣大なるが故に寒暑固より二ならずと雖も、一般に寒暑の度甚しく唯、太平洋斜面の地のみ温和なり、産業は農牧を第一とし、鑛業も漸次發達し製造は、オホイオ河及びポトマック河の北方諸州に於て盛に、海岸の地に於ては漁業漸く進歩す、商業は内外の貿易共に盛なり、輸出の主要なるものは木綿、穀類、石油、金、銀及び煙草とし、輸入は鐵及ひ鐵鑛、織物、葡萄酒、絹、陶器、珈琲、砂糖とす

此國の礦物に富めること實に計るべからず、太西洋諸州及び中央諸州に

於ては無量の石炭を産し、又殆んど鐵鑛より成れる高山數多あり、ロッキン山諸州及び太平洋諸州は金銀を産すること夥し
電線の延長總計五十五萬哩電話局の數三十五萬あり、郵便物の數は一年殆んど八億に達し、商船の數二萬四千艘に及ぶ

(二五)合衆國の住民政体及び軍事は如何

住民は多く英人及び獨逸人の子孫にして英語を用う、黑人種は凡そ八百萬あり、本來の土人は漸次減少し現今三十萬に過ぎず、全國を四十四州五部に分つ、政体は聯邦共和政体にして、立法院をコンGRESSと稱し上下兩院より成る、行政の長官を大統領といふ、又海陸軍の總督たり、陸軍は常備二萬七千六百六十九人に過ぎず、民兵又十一萬五千人あり、海軍は百九十二艘の軍艦より成り、海員一萬二千餘人なり造船所はプリンスリン、チャールスタウン、ボーツマウス等十箇所に散在す

宗教は頗る自由にして、現今新教徒殆んど三千萬舊教徒殆んど千萬人あり

り、教育よく普及し至る處大學校、女學校、高等學校、小學校あり、北部諸州及び新英蘭を以て殊に盛なりとす

(二六)合衆國の都府を問ふ (二七)新世界商工業の中心

首府はワシントンなり、然れども此より盛大なるもの頗る多し、ハドソン河口の紐育(百七十萬)の如きは人口の點に於ては龍動の次に位すれども、商業及び製造業の中心としては新世界第一たり、其の他フィラデルフィア、ブリークリン、シカゴ、ボストン、セントルイ、バルチモール、シンシナチ、桑港、ニューオルリヤン等最も繁盛なるものなり

(二八)墨西哥の形勢及び我邦との修交條約の模様は如何 (二九)世

界第一の銀の産地を問ふ

墨西哥は大地峽の北方に位する一大高原地にして低地は僅に海岸に存し、面積七十四萬方哩、嘗てアツテツクと稱する強大の帝國なりしか、一旦西班牙人の奪ふ所となりて新西班牙の名を得、後其の勢力衰ふるに乗

して獨立の共和國となり、更に地利のマキシミアンに征服せられ、マキシミアン敗死の後再び獨立して聯邦共和國を組織せり、現今廿八州及び下カルフォルニアの一部に分る、此國銀の産出夥しく方今世界第一と稱す、礦山五百六十九ヶ所中五百四十一箇所は皆銀山にして、一年の産出價額六百萬磅(世界産出額の二分の一)に上り、又多量の金及び銅を産す、氣候内地の高原は炎熱甚しからざれども、低地は暑氣強く乾燥降雨の二期あり、健康に適せず、山林地を除くの外は肥沃の地多きを以て人民は礦業に次ぎて農業を務む、製造業は見るべきものなく、森林は良材に富む、高原の主要なるものをアナハツク(平均七千六百呎)と稱し、山脈の重なるものをシーラマドール、コルチレラ、ド、アナハツクといふ、高原の南端に火山十三あり、ポ、カテペトル(一七八八四呎)を最高とす、河流は一も舟航すべきものなし、此國は明治二十一年十一月諸列國に先たちて我國と對等條約を締結せり

(二〇)墨西哥の住民及び都府を問ふ

人口は殆んど二千三百萬、多くは西班牙人の子孫及び混合種にして西班牙語を用ひ、舊教最も廣く行はる、土人は次第に其の數を減せり、首府は國と同名にして人口三十二萬、マサハツク高原の中央に峙ち海上七千五百呎の高所に在り、市の中央の伽藍は金銀珠玉を鑲め新世界中最も壯麗のものなり、メキシコに次ぐ都府をガダラジャラとす、鐵道は延長五千哩餘、首府とウエラクル、メサ、ニコレオルレヤス及び桑港を連絡す

(二一)ユタカンの形勢を問ふ

ユタカンは墨西哥聯邦の一なれども時々獨立を唱ふ、氣候頗る溫和に土壤又豊饒なり、首府をメリダ(三萬八千)といふ、海港はカンピーチーといひ同名の灣頭にあり

(二二)中央亞米利加の形勢を記せ

中央亞米利加は地頸地方に横り、グアテマラ(首府ニウトグアテマラ)サ

ンサルバドル(首府同名)ニカラガ(首府マナガ)ホンチユラス(首府テグシガルバ)コスタリカ(首府サンジヨス)の五共和國、ホンチユラス英殖民地(首府ベライズ)及ヒモスキーシア王國(首府グレータオン)等に大別す、全部豊饒なる高原にして果穀を産し、火山脈多きを以て地震屢々起る、面積合して十八萬六千方哩人口三百萬(一方哩十六人)大抵は西班牙人にして大半は土人なり、宗教は羅馬教とす

ニカラガ運河はパナマ運河の運命と同様全く失敗に歸せり

(三)西印度諸島の形勢を問ふ

フロリダの南端セーブル岬よりオリノコ河の三角洲に至るまでの海上に羅列する無數の島嶼を總稱して西印度諸島といふ、皆熱帯中に横はれどもバハマ諸島を除くの外は海風的作用によりて暑熱強からず、地味頗る肥沃にして良種の砂糖、珈琲、木綿、椰子、煙草等を産し、良港多くして水路能く開けたり

群島中唯小アンチルとバハマ諸島中の東部のものを除けば他は皆山岳多く、山峯皆森林に蔽はれ桃心木等の良材を産す、氣候は一般に乾濕の二季に分れ、降雨季は五月より十一月に至る、小アンチルには火山多し、群島皆獸類少く短耳兔を以て最大の哺乳獸とす、諸島を合して面積九萬五千方哩人口三萬許、皆黑人にあらずんば西班牙移住民の子孫なり、

(二)西班牙領西印度諸島の形勢は如何

キユバ及ヒホルトリコは共に大アンチル諸島の中にして西班牙に屬す、キユバには鐵道千哩あり、人口百五十萬(百萬は白人)砂糖の産出夥し、首府をハヴァンナ(二十萬)といひフロリダ海峽に臨める美麗の都府にして、府内の一寺院に閻龍の遺物あり

(三)英領西印度諸島の形勢を問ふ (二)閻龍の第一發見地

ジャマイカ、バハマ及ヒ小アンチルの大部分は英領なり